



Crossroad

オーナーズマニュアル

クイックガイド

安全なドライブ

計器の見かた

各部の操作

オーディオ

運転

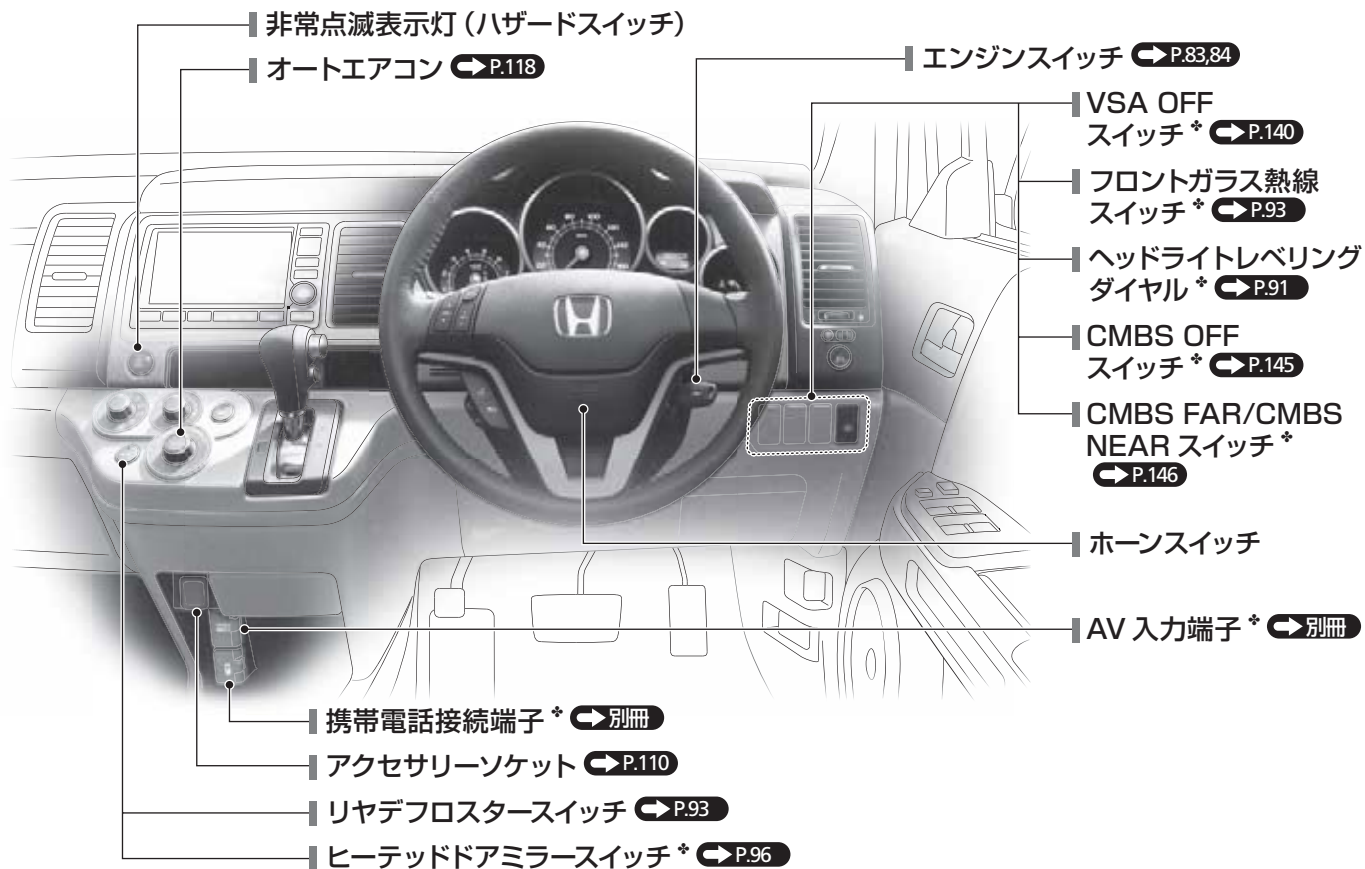
メンテナンス

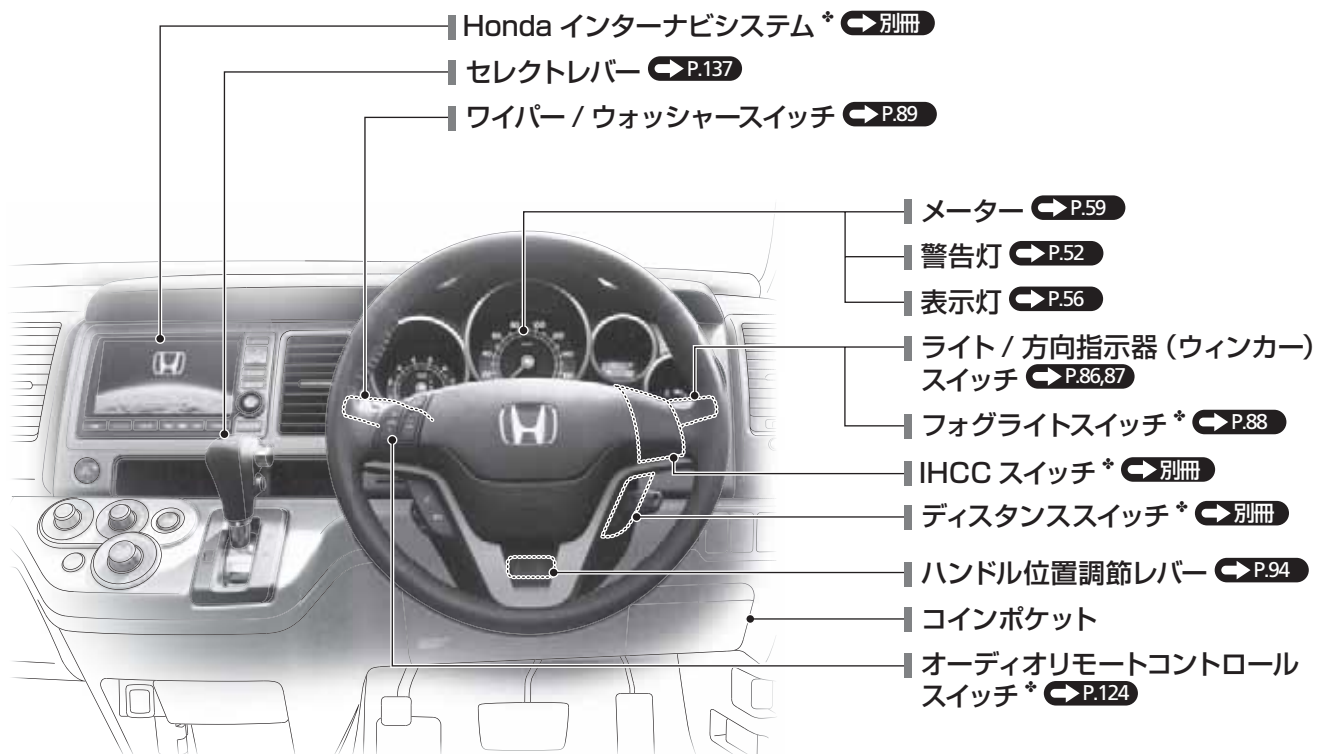
万一の場合には

資料

索引

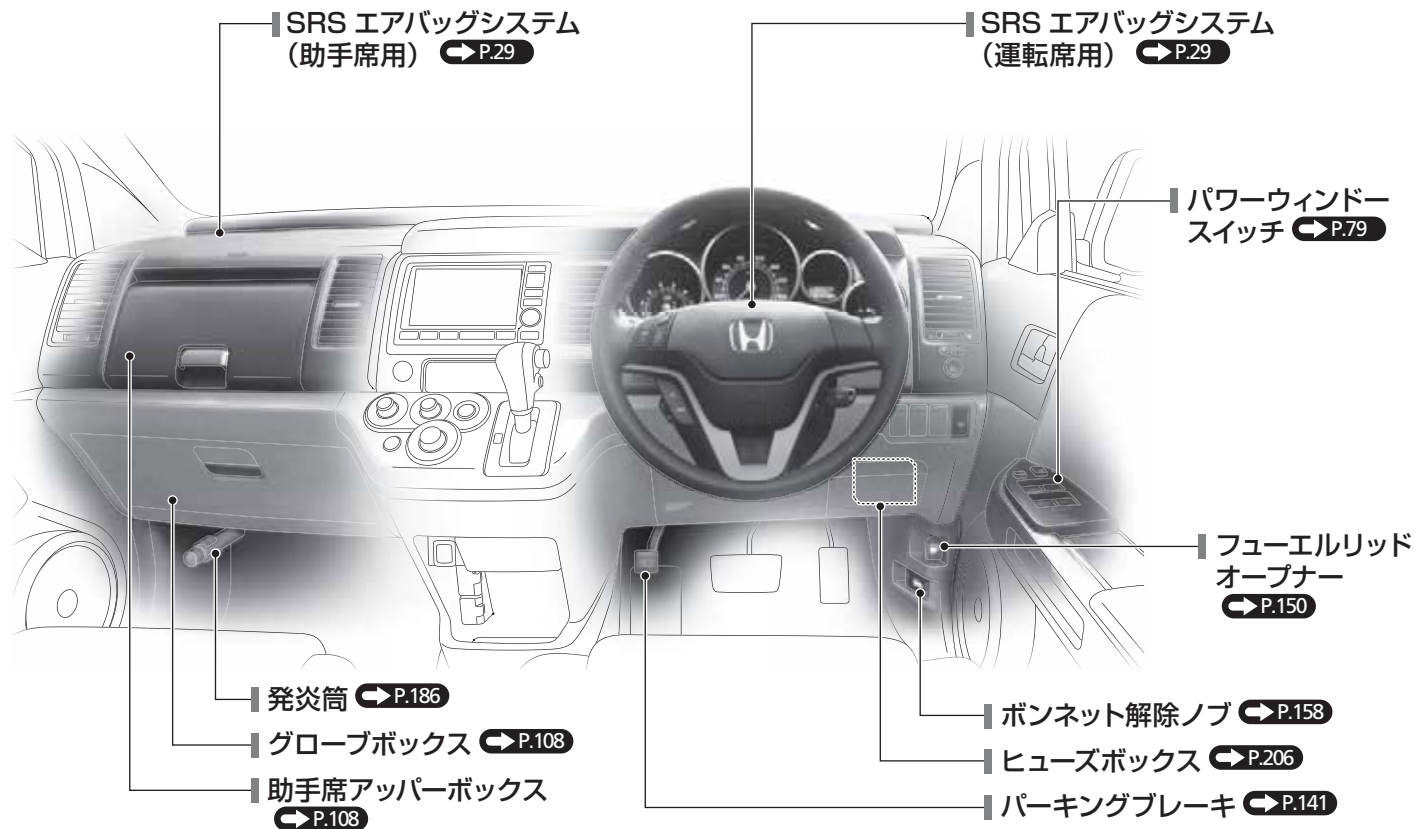
ビジュアル目次

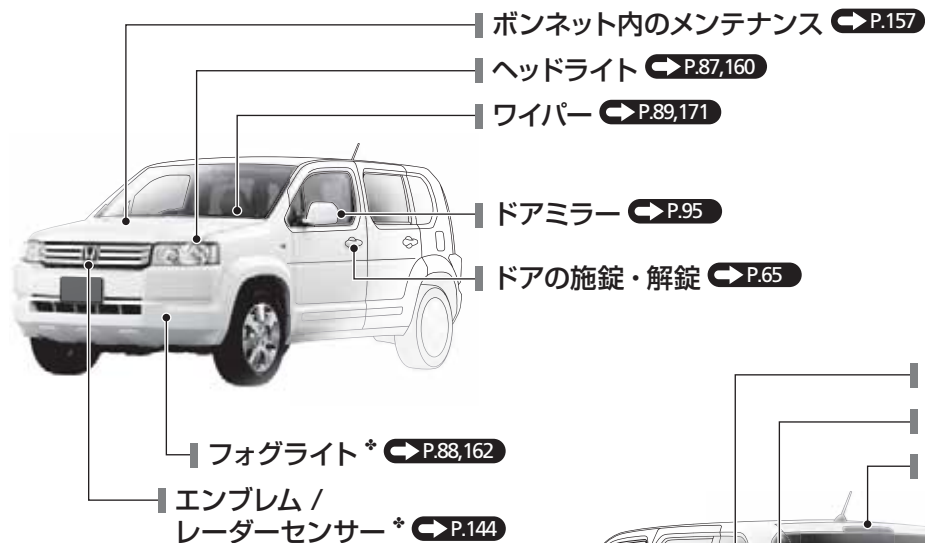




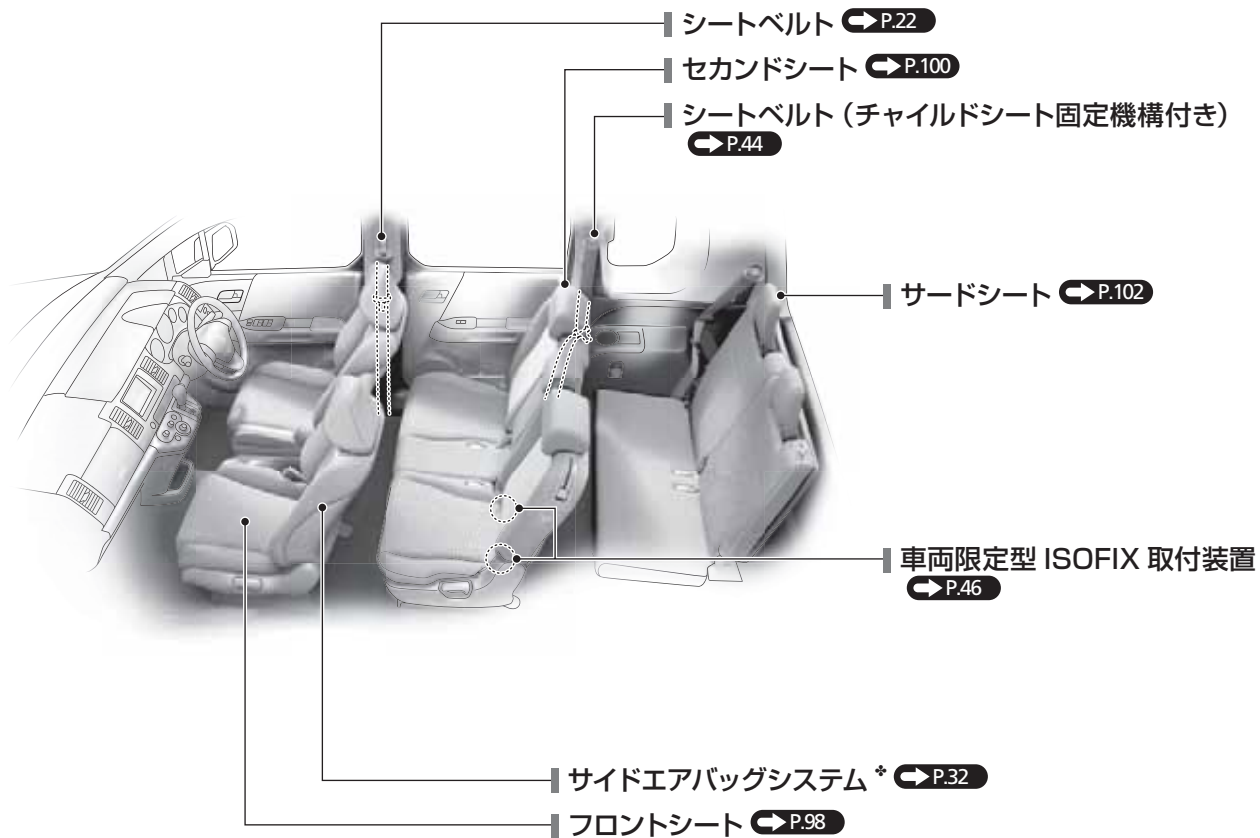
✳: タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

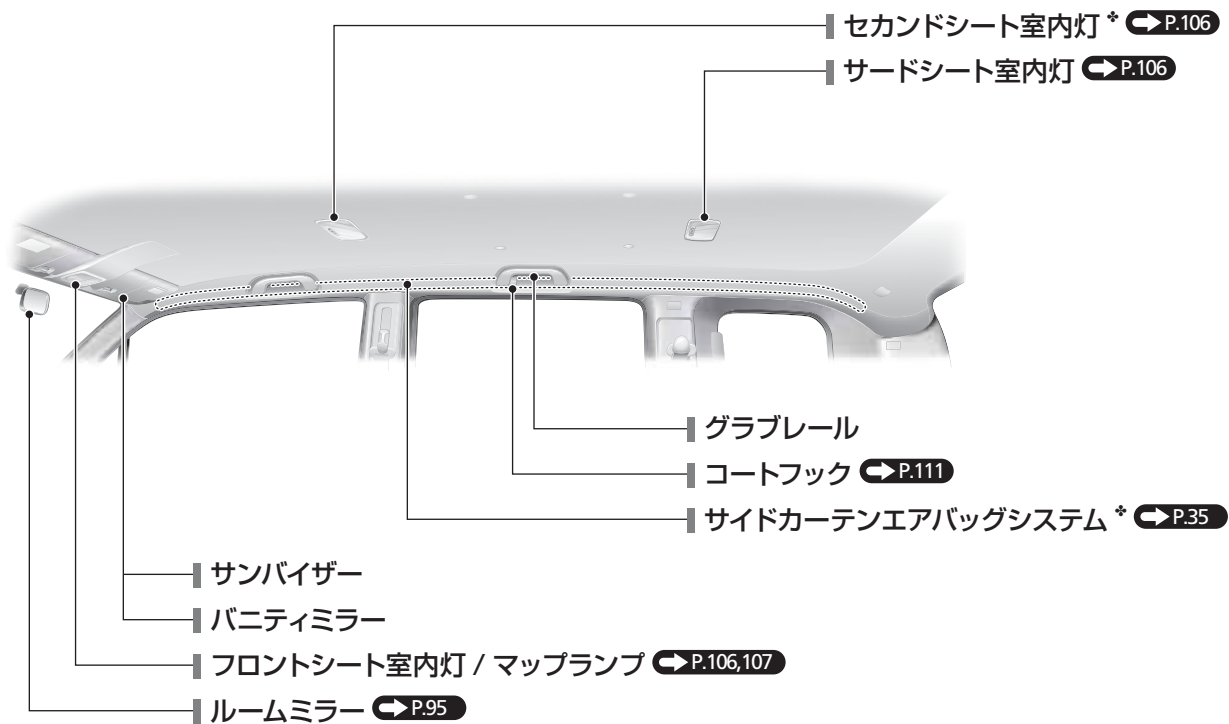
ビジュアル目次





ビジュアル目次





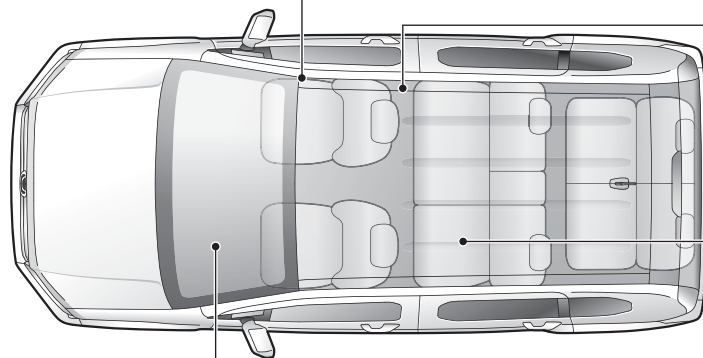
安全なドライブ ➡ P.20

運転を始める前の確認 ➡ P.21

- 運転前にフロントシートの位置、ヘッドレスト、ハンドルの位置、ミラー類の角度を調節します。



- 正しい運転姿勢でシートベルトを着用してください。
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用させます。
- 妊娠中のかたは腹部を圧迫しないようにシートベルトを着用してください。



シートベルト ➡ P.22

排気ガスについて ➡ P.50

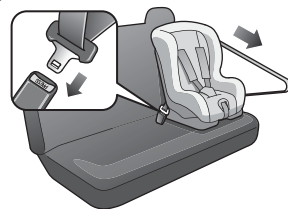
- 車の排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれているため、ガレージなどの密閉された場所ではエンジンをかけないでください。

お子さまの安全 ➡ P.39

- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはセカンドシートに取り付けてください。

エアバッグ ➡ P.29

- 万一の衝突の際に、乗員への衝撃を緩和するために、エアバッグが装備されています。



計器の見かた ➡ P.51

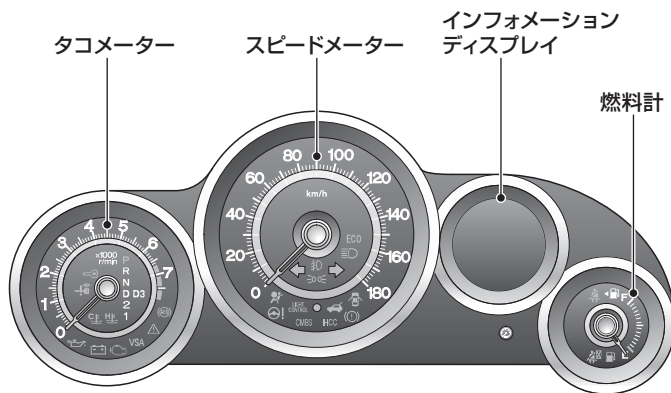
警告灯 ➡ P.52

表示灯 ➡ P.56

メーター ➡ P.59

警告灯 / 表示灯

-  ブレーキ警告灯
-  油圧警告灯
-  PGM-FI 警告灯
-  充電警告灯
- P R N D 2 1**
-  セレクトポジション表示灯
(トランスミッション警告灯)
-  シートベルト非着用警告灯
-  Honda スマートキー
システム警告灯
-  燃料残量警告灯
-  ABS 警告灯
-  エアバッグシステム警告灯



ライト表示灯

-  ハイビーム表示灯
-  フォグライト点灯表示灯
-  ライト点灯表示灯

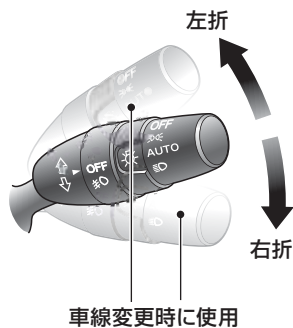
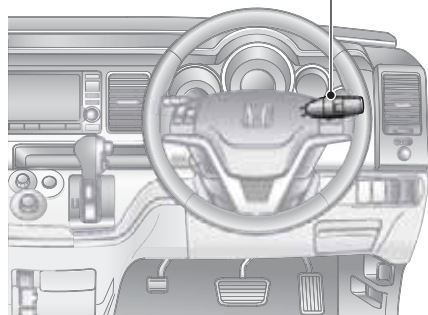
警告灯 / 表示灯

-  ドア開閉警告灯
-  テールゲート開閉警告灯
-  EPS 警告灯
-  高水温警告灯
- CMBS** CMBS 警告灯
- LIGHT CONTROL** オートライトコントロール
警告灯
- IHCC** IHCC 警告灯 / 表示灯
- VSA** VSA 警告灯
-  方向指示器表示灯
-  低水温表示灯
-  サイドエアバッグ
自動停止表示灯
-  イモビライザーシステム
表示灯
-  セキュリティアラームシステム
作動表示灯
- D3** D3 ON 表示灯
-  VSA 作動表示灯
- ECO** ECO (エコ) 表示灯

各部の操作 ➡ P.63

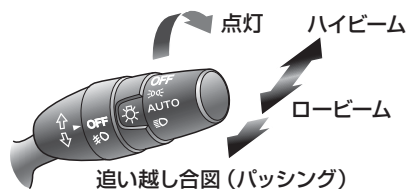
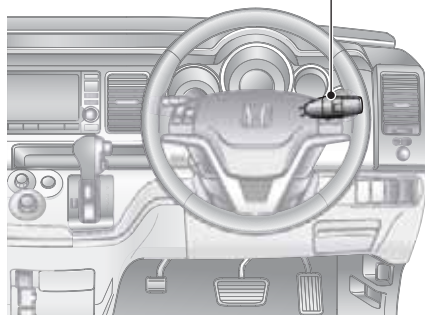
ウィンカー ➡ P.86

方向指示器(ウィンカー) スイッチ



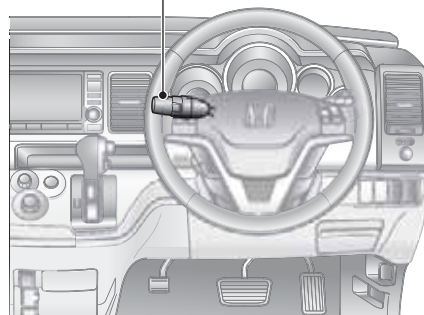
ライト ➡ P.87

ライトスイッチ



ワイパー ➡ P.89

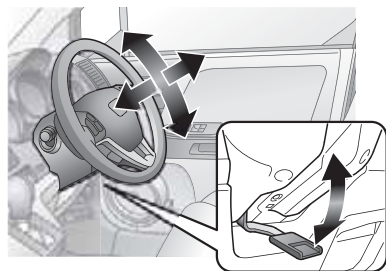
ワイパー/ウォッシャースイッチ



- OFF 停止
- INT 間欠 (雨量が少ないとき)
- LO 低速 (普通の雨量のとき)
- HI 高速 (雨量の多いとき)

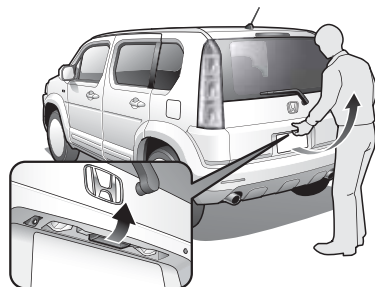
ハンドル位置の調節 ➡ P.94

- ハンドル位置調節レバーを押し下げ、ハンドルの位置を調節します。



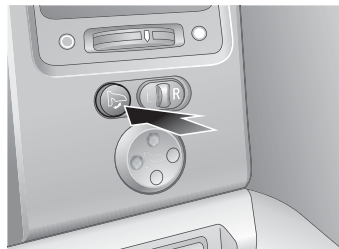
テールゲート ➡ P.75

- テールゲートは、テールゲートハンドルを引いて開きます。



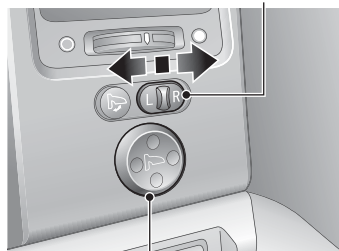
ドアミラー ➡ P.95

- エンジンスイッチが **II** のとき、左右のドアミラーを格納することができます。



- エンジンスイッチが **II** のとき、ドアミラーの角度を調節できます。

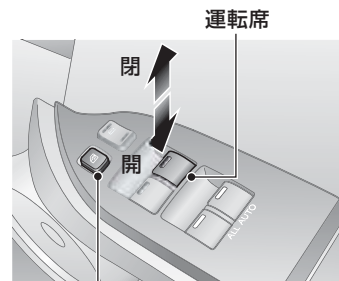
左右切り換えスイッチ



調節スイッチ

パワーウィンドー ➡ P.79

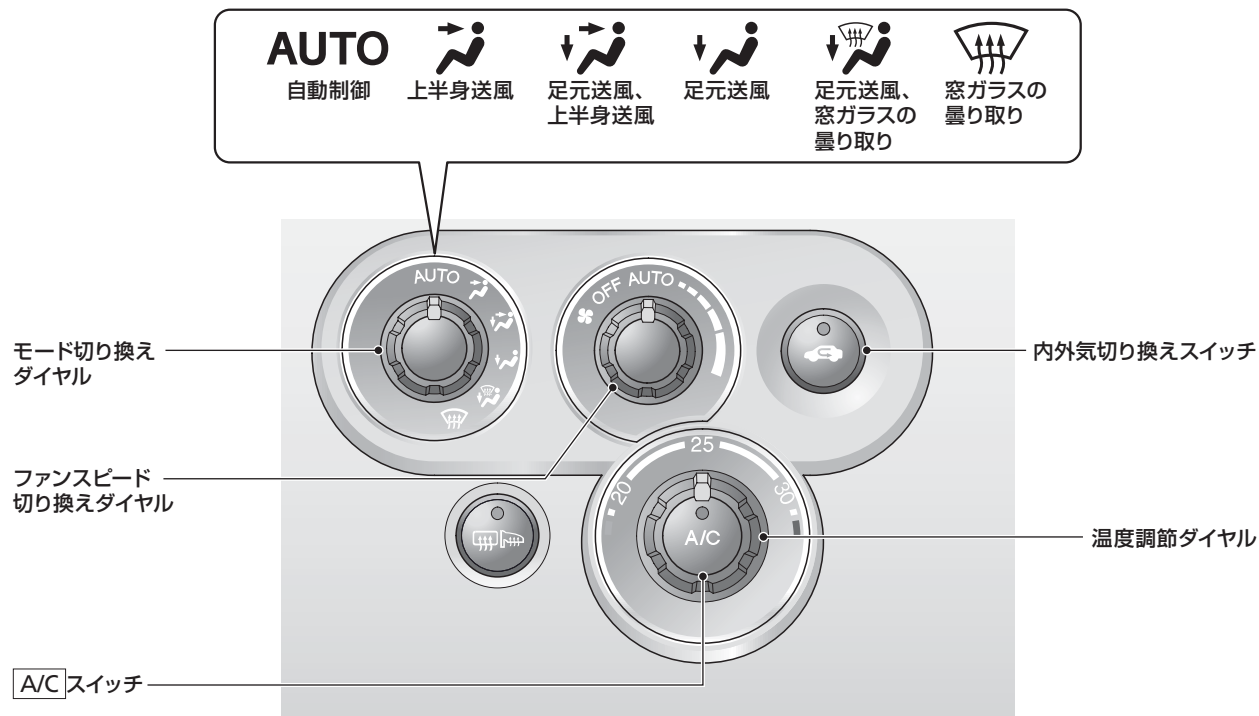
- エンジンスイッチが **II** のとき、ウィンドーの開閉ができます。
- メインスイッチを ON にすると、全てのウィンドーの開閉が行えます。
- メインスイッチを OFF にすると、運転席以外のウィンドーは動かなくなります。



運転席
メインスイッチ

エアコン ▶ P.115

- ファンスピード切り換えダイヤルとモード切り換えダイヤルを **AUTO** にし、温度調節ダイヤルで室内の温度を調節します。
冷房や除湿暖房をするときは、**A/C** を押します。
- **OFF** を押すと、止まります。
- 前面ガラスの曇りを取るには、モード切り換えダイヤルを  にします。



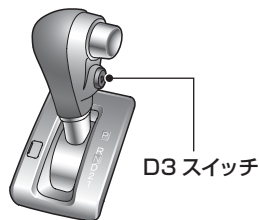
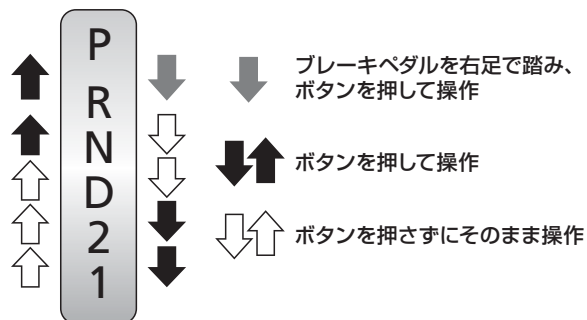
運転 ➡ P.129

オートマチック車 ➡ P.136

●セレクトレバーを[P]に入れ、ブレーキを踏みながらエンジンを始動します。

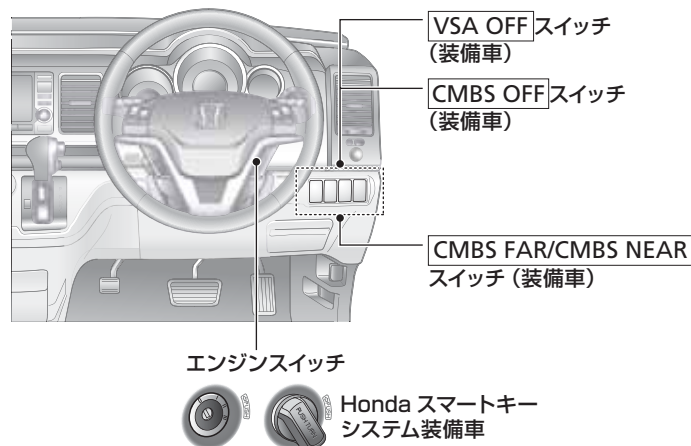
セレクトレバー

セレクトレバーの操作



- P** パーキング
駐車またはエンジンの始動
- R** リバース
車を後退
- N** ニュートラル
アイドリング状態
- D** ドライブ
通常走行

- 2** セカンド
2 速固定
- 1** ロー
1 速固定
- D3** D3 スイッチ
D のときに D3 スイッチを押す
(1 速から 3 速まで自動変速)



CMBS OFF スイッチ*

➡ P.145

- CMBS は、運転者のブレーキ操作を支援し追突の衝撃を軽減する装置です。
- CMBS を停止 (OFF) 状態にするには、CMBS OFF スイッチを「ピーツ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用 (ON) するには CMBS OFF スイッチを「ピーツ」とブザーが鳴るまで押します。

CMBS FAR/CMBS NEAR スイッチ* ➡ P.146

- 道路状況に合わせて CMBS FAR または CMBS NEAR スイッチを押して、追突警報距離を切り換えることができます。
- スイッチを押すとディスプレイに設定が表示されます。

VSA OFF スイッチ*

➡ P.140

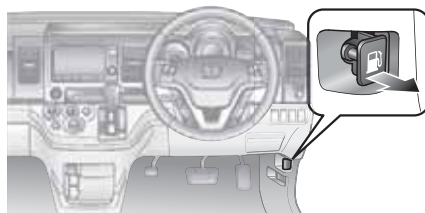
- VSA とは、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。
- エンジンを始動すると自動的に VSA は ON になります。
- VSA を停止 (OFF) 状態にするには、VSA OFF スイッチを「ピツ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用 (ON) するには VSA OFF スイッチを「ピツ」とブザーが鳴るまで押します。

ガソリンを入れる ➡ P.150

指定燃料 : 無鉛レギュラーガソリン
タンク容量 :

2WD車	55リットル
4WD車	50リットル

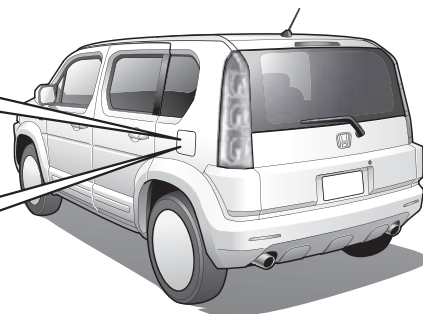
- 1 運転席足元にあるフューエルリッドオープナーを引いてリッドを開ける。



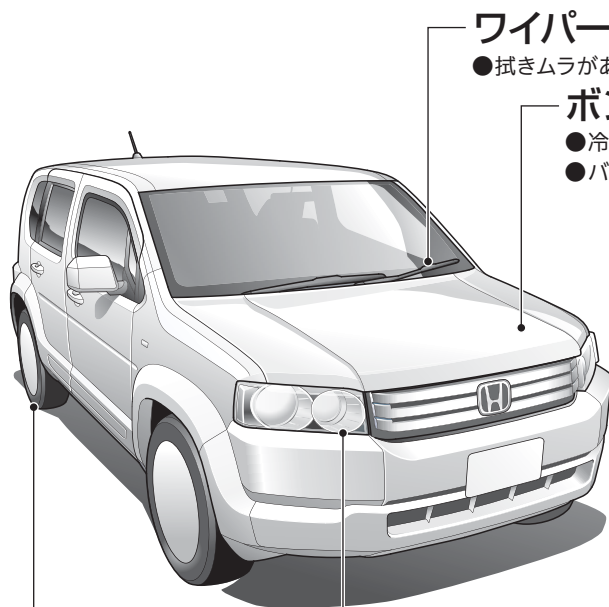
- 2 ツマミをゆっくり回してキャップを開ける。



- 3 キャップをホルダーにかける。



メンテナンス ➡ P.154



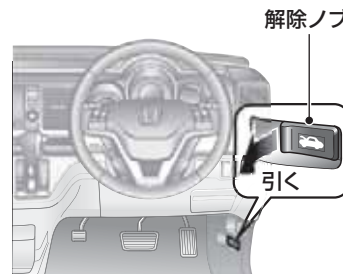
ワイパーブレード ➡ P.171

- 拭きムラがある場合は、ワイパーブレードラバーを交換します。

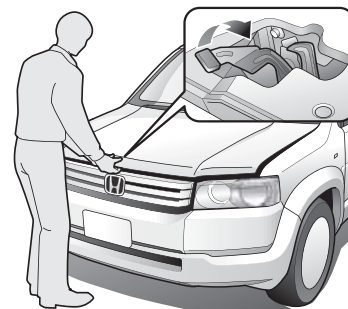
ボンネット ➡ P.158,159,201

- 冷却水、ウォッシャー液の補給を行います。
- バッテリーを点検します。

- 1 運転席足元のボンネット解除ノブを引く。



- 2 レバーを上げボンネットを開ける。



タイヤ ➡ P.174

- タイヤ、ホイールを点検します。
- 降雪地域では、スノータイヤ、タイヤチェーンが必要です。

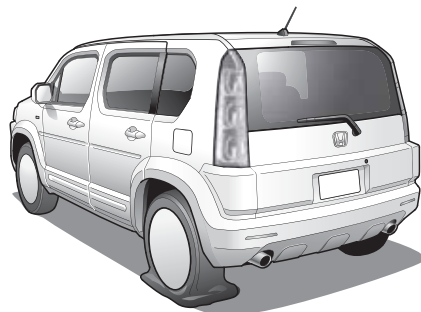
ライト ➡ P.160

- ヘッドライト、フォグライト電球^{*}、テールライト電球などの点検または交換を行います。
- 電球の交換については、「メンテナンス」を参照してください。
- ヒューズの交換については、「万一の場合には」を参照してください。

万一の場合には ➡ P.185

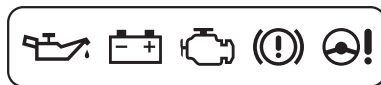
パンクした ➡ P.187

- 安全な場所に停車し、パンク修理キットで応急修理します。



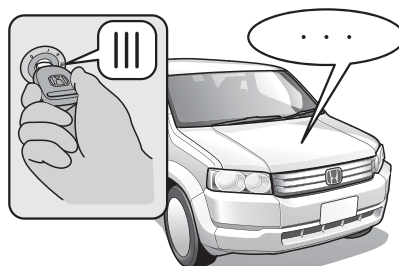
警告灯が点灯した ➡ P.202

- 詳細を確認し、取扱説明書にしたがってください。



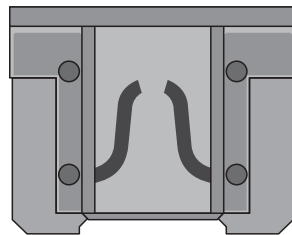
エンジンが始動しない ➡ P.196

- バッテリーあがりと考えられます。救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動します。



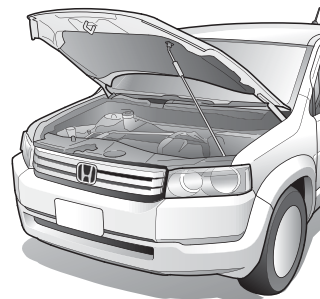
ヒューズが切れた ➡ P.205

- 運転席足元とボンネット内にヒューズボックスがあります。切れているヒューズを取り換えます。



オーバーヒートした ➡ P.201

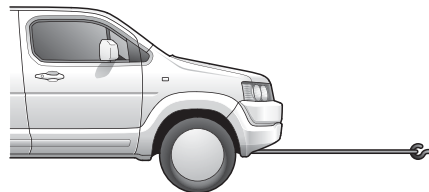
- 安全な場所に停車し、蒸気が出ていなければボンネットを開けてください。



けん引してもらいたい

➡ P.209

- 必ず専門業者に依頼してください。やむをえず4輪を接地したままけん引される場合は、取扱説明書にしたがってください。



こんなときは

Q キーが0から1に回らない

A

- ・ ハンドルがロックされていませんか？
- ・ ハンドルを左右に回しながら、キーを回してください。Honda スマートキー^{*}を使用しているときは、エンジンスイッチノブを回してください。



Q キーが1から0に回らない
(キーが抜けない)

A

- ・ セレクトレバーがP以外の位置になっていませんか？



Q ブレーキペダルを踏んだらガタガタと振動した

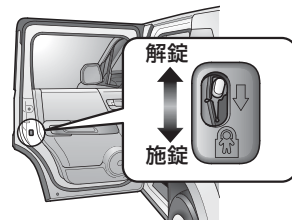
A

- ・ ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

Q 後席ドアが車内から開けられない

A

- ・ チャイルドブルーフが施錠の位置になっていませんか？
後席ドアを外から開け、チャイルドブルーフのツマミを解錠の位置にしてください。



Q キーレスエントリーでドアを解錠したはずなのに施錠されている

A ・キーレスエントリー、Honda スマートキー^{*}で解錠してから、約 30 秒以内にドア、テールゲートを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。



Q 運転席ドアを開けるとブザーが鳴る

A ・「ピピピピ」と鳴るときはキーをエンジンスイッチに差し込んでいませんか？
Honda スマートキー^{*}を使用しているときは、エンジンスイッチノブを **0** (プッシュオフ) 以外にしていますか？
・「ピー」と鳴るときはライトを消し忘れていませんか？



Q 走行するとブザーが鳴る

A ・運転席シートベルトを着用していますか？
・パーキングブレーキを完全に戻していますか？

Q 走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がある

A ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。Honda 販売店で点検を受けてください。

Q レギュラーガソリン仕様車にプレミアム (ハイオク) ガソリンを使用しても大丈夫ですか？

A ・プレミアムガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの



指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいことや、安全のために守っていただきたいこと。

(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、安全のためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なこと。

♣: タイプやオプションなどにより装備が異なります。

サービス診断記録装置について

この車には、システムを制御するためのコンピューターが搭載されており、次の内容をデータとして記録します。

衝突によりセンサーが一定以上の衝撃を感知したとき

- エアバッグシステムの故障診断情報
- エアバッグの作動に関する情報
- 運転席および助手席のシートベルト着用の有無 (E-プリテンショナー装備車)

常時

- 動力伝達機構の状態
- 運転状態

Honda および Honda が委託した第三者は、記録されたデータを技術的な診断や Honda の車両の研究開発のために、取得、利用することがあります。

なお、会話等の音声や映像は記録されません。

データの開示について

Honda および Honda が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示、提供することはありません。

- お車の所有者または使用者の同意がある場合
- 裁判所命令等、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う等、使用者や車が特定できないように加工したデータを、研究機関等に提供する場合

目次

安全なドライブ P.20

安全なドライブのために 21 シートベルト 22 エアバッグ 29 お子さまの安全 39
排気ガスの危険性 50

計器の見かた P.51

警告灯と表示灯 52 メーターとインフォメーションディスプレイ 59

各部の操作 P.63

時刻の設定 64 ドア 65 テールゲート 75 セキュリティシステム 77
ウィンドー 79 サンルーフ 82 ハンドルまわりのスイッチ 83 ミラー類 95
シート 98 室内灯 / 室内装備品 106 エアコン 115

オーディオ P.122

オーディオ装置 123 オーディオリモートコントロールスイッチ 124 リヤカメラシステム 125

運転 P.129

運転の前に 130 運転 132 ブレーキ 141 駐停車 148
給油 150 アクセサリーと改造 153

メンテナンス P.154

メンテナンスの前に 155 ボンネット内 157 電球 160 ワイパー 171
タイヤ 174 キーレスエントリー / Honda スマートキー 178 清掃 181

万ーの場合には P.185

工具、発炎筒 186 パンク 187 ジャッキアップ 194 エンジンが始動しない 196
ジャンプスタート 198 セレクトレバーが動かない 200 オーバーヒート 201
警告灯が点灯 / 点滅した 202 ヒューズ 205 けん引 209 テールゲートが開かない 212

資料 P.213

仕様 : 18L/18X 214 仕様 : 20X/20Xi 215

安全なドライブ P.20

計器の見かた P.51

各部の操作 P.63

オーディオ P.122

運転 P.129

メンテナンス P.154

万ーの場合には P.185

資料 P.213

索引 P.216

安全なドライブ

この章には、安全運転のために必要な重要情報が記載されています。
運転を始める前に、よくお読みいただき運転者と同乗者の安全を
確保してください。

安全なドライブのために	21
シートベルト	
シートベルトについて	22
シートベルトの着用	24
シートベルトの点検	28
エアバッグ	
エアバッグの種類	29
SRSエアバッグ	29
サイドエアバッグ	32
サイドカーテンエアバッグ	35
エアバッグシステム警告灯/表示灯	36
エアバッグのお手入れ	38

お子さまの安全	39
乳幼児の安全	40
大きなお子さまの安全	48
排気ガスの危険性	
一酸化炭素について	50

安全のための確認事項

安全なドライブのために、走行前に下記の項目を確認してください。

- ドア、テールゲートは完全に閉まっているか？
 - ▶ すべてのドア、テールゲートが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認してください。
🔑 **車内での施錠** P.72
- 運転しやすい姿勢にシート位置を調節しているか？
 - ▶ 正しい運転姿勢がとれるよう、シート位置やヘッドレストの調節をしてください。
🔑 **フロントシート** P.98
- 同乗者のシートも、安全が保たれるよう調節しているか？
 - ▶ ダッシュボードからできるだけ離れた位置までシートを下げてください。
🔑 **フロントシート** P.98
- 乗員全員が正しくシートベルトを着用しているか？
 - ▶ 運転者と乗員全員が正しくシートベルトを着用していることを確認してください。
🔑 **シートベルトの着用** P.24
- エアバッグシステム警告灯などが点灯していないか？
 - ▶ エアバッグに関する説明をあらかじめお読みいただき、シートの位置などを調節してください。
🔑 **エアバッグ** P.29
- お子さまの安全を守るために、チャイルドシートやシートベルトを着用しているか？
 - ▶ お子さまが同乗する場合は、お子さまの年齢や身長・体重に応じてチャイルドシートやシートベルトなどで安全を確保するようにしてください。
🔑 **お子さまの安全** P.39
- 坂道で駐車するときは、パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを **P** にしているか？
 - ▶ さらにタイヤに輪止めをすると効果があります。
🔑 **シフト操作** P.137

安全のための確認事項

ドア開閉警告灯が点灯している場合は、完全に閉まっていないドアがあります。

ドアをもう一度正しく閉め直してください。「ドア開閉警告灯」は消灯し、正常な状態に戻ります。

🔑 **ドア開閉警告灯** P.54

テールゲート開閉警告灯が点灯している場合は、テールゲートが完全に閉まっていません。

テールゲートをもう一度正しく閉め直してください。「テールゲート開閉警告灯」は消灯し、正常な状態に戻ります。

🔑 **テールゲート開閉警告灯** P.54

シートベルト

シートベルトについて

シートベルトは、シートに体を固定することで安全を確保するための安全装置です。

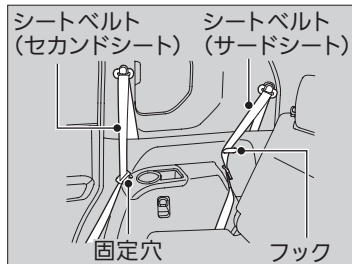
■三点式シートベルト

体の動きに合わせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。フロント、サードシートには三点式シートベルトが、セカンドシートの外側 2 座席にはチャイルドシート固定機構付きの三点式シートベルトが装備されています。

■シートベルトの着用

- 運転者は正しい運転姿勢で、シートベルトを必ず着用
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用
- 1 本のシートベルトを 2 人以上で使用しない
- ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけない

■収納のしかた



■セカンドシート

タングプレートをライニングにある固定穴に差し込みます。

- ▶ セカンドシートのシートベルトを使わないとき、またはサードシートへ乗り降りするときに固定します。

■サードシート

フックにかけておきます。

※ シートベルトについて



警告

シートベルトは乗員全員が必ず正しく着用する。

シートベルトを正しく着用しないと、エアバッグが装備されていても、衝突したときに重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

乗車中は正しい姿勢を保つ。

正しい姿勢ですわらないと、衝突したときに傷害を受ける危険性が高くなります。

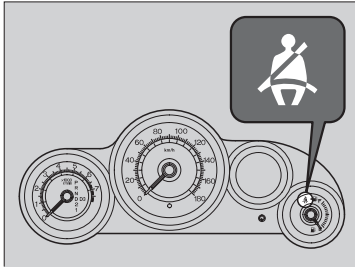
セカンドシートの外側 2 座席にチャイルドシートを取り付けると便利です。

知識

セカンドシート外側 2 座席のシートベルトを着用した状態で、上体を大きく動かすとシートベルトがすべて引き出されチャイルドシート固定機構が作動することがあります。そのときは、チャイルドシート固定機構を解除して再度着用してください。

■チャイルドシート固定機構付きシートベルトでの取り付け P.44

■ シートベルトリマインダー



エンジンスイッチを $\boxed{\text{II}}$ にしたときや走行したとき、運転席のシートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、ブザーと警告灯でお知らせします。

■ シートベルトプリテンショナー

安全性をより高めるために、フロントシートにはシートベルトプリテンショナーを装備しています。

シートベルトプリテンショナーは、一定以上の前方向からの衝撃を受けると自動的にシートベルトを引き込み、拘束効果を高めるための装置です。



▶▶ シートベルトリマインダー

知識

- 運転席シートベルトを着用せずに走行した場合、停車するとブザーは止まります。また、走行している場合でも一定時間を超えるとブザーは止まります。
- セレクトレバーを $\boxed{\text{R}}$ に入れたときは後退位置警報装置のチャイムが鳴るため、シートベルト非着用の警告ブザーは鳴りません。

▶▶ シートベルトプリテンショナー

知識

シートベルトプリテンショナーは、一度作動すると使用できません。

衝突したときは、Honda販売店で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

⚠ 注意

シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしない。

誤作動や故障の原因となります。

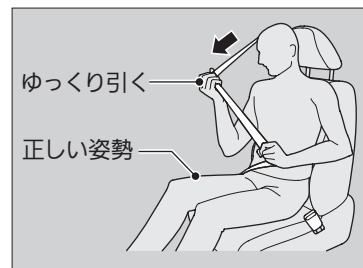
■ E-プリテンショナー *

前方の車両に追突するおそれがあるときに、CMBS と連動して作動しシートベルトを巻き取ります。ブレーキアシストとも連動して作動します。作動後は、巻き取ったシートベルトを元の状態に戻します。



シートベルトの着用

■ 三点式シートベルト



1. 正しい姿勢でシートにすわる。
2. タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出す。

■ E-プリテンショナー

知識

E-プリテンショナーはシートベルトを着用していないと作動しません。

衝突によりシートベルトプリテンショナーが作動した場合は、シートベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。

Honda販売店で交換してください。

E-プリテンショナーのみが作動したときは、交換する必要はありません。

VSA警告灯が点灯しているときは、E-プリテンショナーは作動しません。

■ シートベルトの着用

ベルトが肩に十分かかるよう、ショルダーアンカーの高さを調節してください。

ベルトがくび、あご、顔などに当たる場合は、ショルダーアンカーの高さを調節します。

■ ショルダーアンカーの高さ調節 P.25

⚠ 注意

肩ベルトは腕の下に通したり、首の後ろに回さない。

シートベルトを正しく着用しないと、本来の機能を果たさず衝突時などに、けがをするおそれがあります。

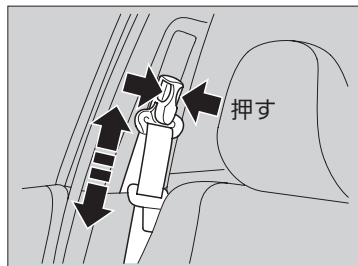


3. タングプレートをバックルに差し込む。
▶ このとき、ベルトにねじれや引っかかりがないように注意します。



4. ベルトを、腰骨のできるだけ低い位置にかかるとに合わせる。
5. ベルトを引っ張り、バックルが固定されていることを確認する。

■ ショルダーアンカーの高さ調節



フロントシートのシートベルトは、座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節してください。

1. ショルダーアンカーの解除ボタンを押しながら、アンカーを上下に動かす。
2. ちょうどよい高さで解除ボタンを離し、ショルダーアンカーを固定する。

次ページに続く

※ シートベルトの着用

シートベルトを外すには、バックルの赤色の **PRESS** を押してください。
そのとき、ベルトが完全に収納されるようベルトに手を添えてください。

シートベルトを十分に機能させるため、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。

※ ショルダーアンカーの高さ調節

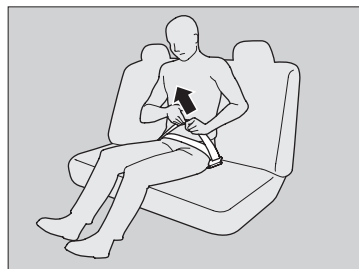
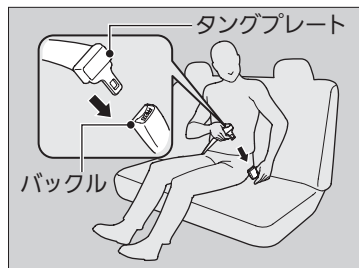
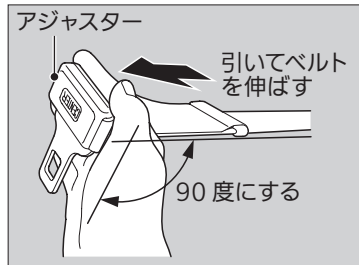
安全性を高めるため、肩ベルトが肩から胸にかかっていることを確認してください。

ベルトが首に当たるときは、下げて調節してください。

⚠ 注意

調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されているか確認する。

■ 二点式シートベルト



1. 正しい姿勢でシートにすわる。
2. アジャスターとベルトを 90 度にし、ベルトを引いて伸ばす。
▶ 必要な長さより少し長めにします。

3. タングプレートをバックルに差し込む。
▶ このとき、ベルトにねじれがないように注意します。

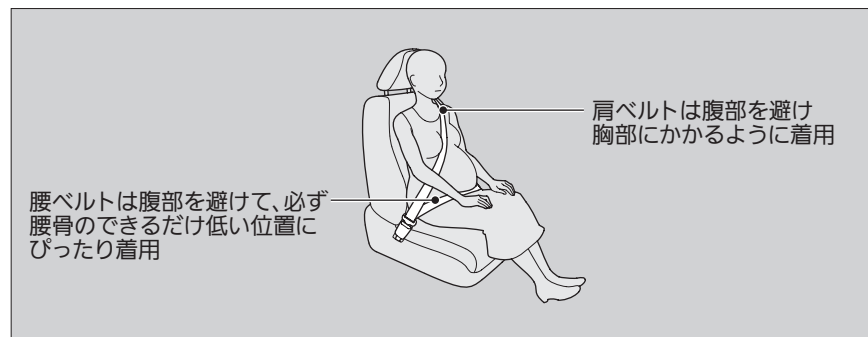
4. ベルトを、腰骨のできるだけ低い位置にかかるように合わせる。
5. ベルトを引っ張り、腰部に密着させる。

※ 二点式シートベルト

シートベルトを外すには、バックルの赤色の **PRESS** を押してください。

■ 妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

妊娠中のかたが運転または同乗するときは、ご自身と赤ちゃんを守るために、常に三点式シートベルトを着用してください。



※ 妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

⚠ 注意

妊娠中のシートベルト着用は、医師に確認する。

万一のとき、腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがあります。

妊娠中のかたは以下の点に注意してください。
万一の衝突時にフロントエアバッグによって、ご自身と赤ちゃんが傷害を受ける危険性が軽減されます。

- 運転するときは上体を起こして、運転に支障のない範囲でシートをなるべく後ろに下げる
- 助手席にすわる場合 も、シートはできるだけ後ろに下げる

シートベルトの点検

シートベルトを安全にお使いいただくために、定期的な点検を行ってください。
点検の確認ポイントは下記のとおりです。

- すべてのベルトをいっぱいまで引き出し、ほつれ、破れ、焼けこげ、すり切れがないか？
- バックルが確実に固定されるか？
- ベルトがスムーズに巻き取られるか？

☒ シートベルトの点検

ベルトがスムーズに巻き取られない場合、ベルトが汚れていないことを確認してください。

ベルトが汚れているとスムーズに巻き取られない場合があります。まず、ベルトに汚れがないか確認してください。汚れを落とすと動きが元に戻ることがあります。

ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

エアバッグの種類

エアバッグは、エンジンスイッチがIIのときに車体が衝突による衝撃を受けると膨らみ、運転者および同乗者の受ける衝撃を緩和させます。

エアバッグには下記の種類があり、衝突の方向や条件などにより作動が異なります。

- **SRS エアバッグ**：フロントシートの前方向エアバッグ
- **サイドエアバッグ***：フロントシートの横方向エアバッグ
- **サイドカーテンエアバッグ***：窓側の天井部両側についてエアバッグ

SRS エアバッグ

運転席と助手席についています。前方向からの衝突により、SRS エアバッグが膨らんで運転者と助手席の同乗者の頭と胸部への衝撃を緩和します。

SRS：サブリメンタルレストレイントシステム (Supplemental Restraint System) の略で、シートベルトの補助拘束の意味。

■ 格納場所

運転席側はハンドルの中央、助手席側はダッシュボードに SRS エアバッグが格納されています。どちらも「SRS AIRBAG」と表示されています。

■ 作動のしくみ

SRS エアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で前方向から衝突したときです。このとき、センサーが衝突による急激な減速を検知し、コントロールユニットのはたらきにより運転席と助手席の SRS エアバッグが膨らみます。

※ エアバッグの種類

エアバッグは非常に速い速度で膨らみます。

エアバッグとの接触により、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。

⚠ 警告

エアバッグ装備車でもシートベルトは必ず使用する。

エアバッグは、衝撃を緩和するためのシステムで、シートベルトの補助拘束具です。エアバッグ装備車であっても、必ず正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しないと、衝突時にエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

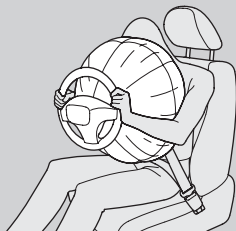
⚠ 注意

エアバッグが膨らんだ直後は、構成部品に触れない。

エアバッグの構成部品が熱くなっているため、やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

SRS エアバッグの作動

作動時



前方向から衝突すると、シートベルトが乗員の下半身と胴体を拘束し、SRS エアバッグが頭と胸部を保護します。

運転者の視界を妨げたり、ハンドル操作の邪魔にならないように、SRS エアバッグは膨らんだあとすぐにしぼみます。

SRS エアバッグは、次のような場合に作動します。

- 20 ～ 30km/h 以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき
 - 車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃を受けたとき
- 衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形するもの）に衝突した場合、作動するときの車速は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

⌘ SRSエアバッグの作動

⚠ 警告

インストルメントパネルに手をついたり頭や胸を近づけた状態で乗車しない。

SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

ハンドルやインストルメントパネル上面に、ステッカーを貼ったり、ものを置いたりしない。

SRS エアバッグが正常に機能しなくなったり、エアバッグが膨らんだときに置いたものが飛んで運転者や同乗者がけがをする原因になります。

知識

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。

この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。

安全を確認後、ただちに車外に出てください。

次のような場合、SRS エアバッグが作動しないことがあります。

- 電柱、立ち木などへの衝突
- トラックなどへの潜り込み
- 部分的な衝突や斜め方向からの衝突

車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小と SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

- 横方向からの衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、SRS エアバッグが作動することがあります。

※ SRSエアバッグの作動

知識

車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。

注意

SRS エアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

サイドエアバッグ *

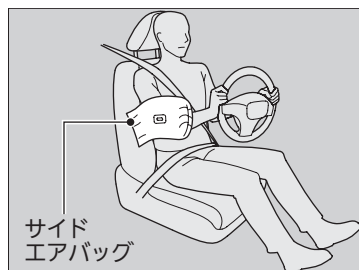
フロントシートの背もたれの外側にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、運転者と助手席の同乗者の胸部への衝撃を緩和します。

■ 格納場所



運転席、助手席ともにシートの背もたれ外側に格納されています。
どちらも「SIDE AIRBAG」と表示されています。

■ 作動のしくみ



サイドエアバッグは、約 30km/h 以上の速度で自車と同等の車が真横から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたときに運転席または助手席のサイドエアバッグが膨らみます。

車両側面に斜めから衝突された場合、サイドエアバッグが作動するときの車速は高くなります。

※ サイドエアバッグ

サイドエアバッグは衝撃を受けた側のみに作動します。

サイドエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみに作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドエアバッグが作動します。

サイドエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。

サイドエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

⚠ 注意

ドアやその周辺にアクセサリなどを取り付けたり、ものを置いたりしない。

正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

サイドエアバッグ収納部に衝撃や無理な力を加えない。

知識

サイドエアバッグがシートカバーによっては、正常に機能できなくなります。

フロントシートへのシートカバー装着にあたってはHonda販売店にご相談ください。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

次のような場合、サイドエアバッグが作動しないことがあります。

- 乗員付近以外の側面への衝突
- 車高の高い車に側面衝突されたとき

サイドエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていすので、車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果が無いので作動しません。

- 正面衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、サイドエアバッグが作動することがあります。

※ サイドエアバッグ

⚠ 注意

**ドアに寄りかからない。
サイドエアバッグの格納部に手や顔を必要
以上に近づけない。
セカンドシート同乗者は、フロントシート
の背もたれを抱えない。**

サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け傷害を受けるおそれがあります。

知識

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。

この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。

安全を確認したら、ただちに車外に出てください。

⚠ 注意

サイドエアバッグの分解、取り外しはしない。

不適切な取り扱いが故障や誤作動の原因となります。

■ サイドエアバッグ自動停止システム

助手席に乗ったお子さまなどを保護する目的で、以下のような状態ではサイドエアバッグ自動停止システムがはたらきます。

- 小さなお子さまや小柄な大人のかたがドアに寄りかかるなどで、サイドエアバッグが膨らむ付近に頭があるようなとき
- 助手席の同乗者がサイドエアバッグの作動範囲に入ったとき
- 大人のかたが前かがみになっていたり、寝そべてドアに寄りかかっているとき
こうした状態になるとセンサーが検知し、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

☒ サイドエアバッグ自動停止表示灯 P.37

■ サイドエアバッグ自動停止表示灯の点灯

サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯したら、同乗者に体を起こすように指示してください。また、小さなお子さまの場合は、セカンドシートに乗せてください。表示灯が消灯すると、サイドエアバッグは自動停止状態を解除し、通常の状態に戻ります。

☒ サイドエアバッグ

各センサーにより乗員の姿勢を検知して、サイドエアバッグの作動を制御します。

ドアにもたれるなどしないように注意してください。



知識

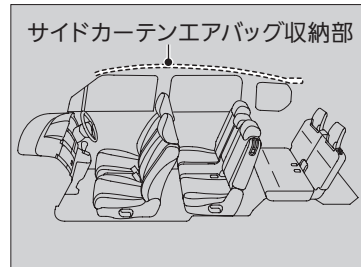
以下のような場合、センサーが正常に作動しないことがあります。

- シートの背もたれがぬれているとき
- 金属など電気を通すものが接しているとき
- シートにクッションなどを置いているとき
- ダウンジャケットなど厚い上着を着ているとき
- 水分を含んだものを助手席に置いているとき

サイドカーテンエアバッグ *

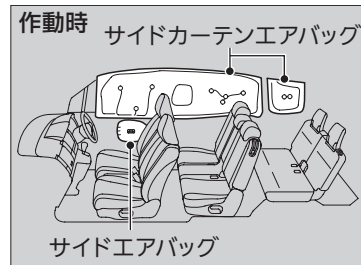
窓側の天井部にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、乗員の頭部への衝撃を緩和します。

格納場所



運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。
どちらも「SIDE CURTAIN AIRBAG」と表示されています。

作動のしくみ



サイドカーテンエアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で側面方向から衝突したときに、運転席側または助手席側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

サイドカーテンエアバッグの作動 / 非作動は、サイドエアバッグと同じ条件です。

※サイドカーテンエアバッグ

サイドカーテンエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。

サイドカーテンエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドカーテンエアバッグが作動します。

サイドカーテンエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。

サイドカーテンエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

⚠ 注意

サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりすることがあるので、以下のことに注意する。

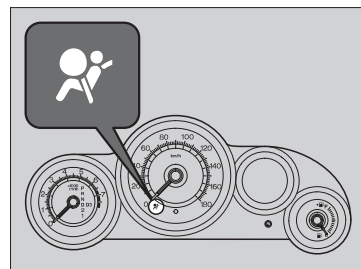
- フロントガラス、ドアガラス、フロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーなどを取り付けない
- グラブレールにもものをかけない
- コートフックに重いものやとがったものをかけない

正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

エアバッグシステム警告灯 / 表示灯

エアバッグやシートベルトプリテンショナーの異常などを、警告灯や表示灯で知らせます。

■ エアバッグシステム警告灯



■ エンジンスイッチをⅡにしたとき

エンジンスイッチをⅡにすると、エアバッグシステム警告灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

■ エアバッグシステム警告灯が点灯状態のとき

この警告灯が点灯している状態は、エアバッグシステムまたはシートベルトシステムに異常があることを示します。

☒ エアバッグシステム警告灯

アドバイス

エアバッグシステム警告灯が点灯状態のときは、Honda販売店で点検を受けてください。

エアバッグシステム警告灯が常時点灯する状態のときは、SRSエアバッグ、サイドエアバッグ*、サイドカーテンエアバッグ*、シートベルトプリテンショナー、E-プリテンショナー*に異常がある可能性があります。ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

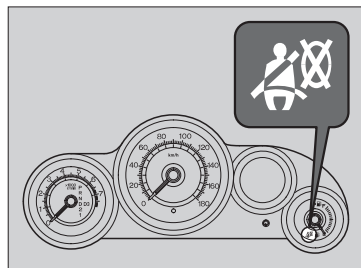
また、エンジンスイッチをⅡにしたときにエアバッグシステム警告灯が点灯しない場合も同様です。

⚠ 警告

エアバッグシステム警告灯を無視しない。

エアバッグシステム警告灯を無視すると、エアバッグシステム、シートベルトプリテンショナー、E-プリテンショナー*が正しく機能せず、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。エアバッグシステム警告灯が点灯する場合は、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

■ サイドエアバッグ自動停止表示灯 *



■ エンジンスイッチをⅡにしたとき
エンジンスイッチをⅡにすると、サイドエアバッグ自動停止表示灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

■ サイドエアバッグ自動停止システムの作動
サイドエアバッグの自動停止システムが作動して、助手席のサイドエアバッグシステムが停止状態になると、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。
この表示灯が点灯していても、異常ではありません。

☑ サイドエアバッグ自動停止システム P.34

☑ サイドエアバッグ自動停止表示灯

アドバイス

以下の状態で点灯する場合、Honda販売店で点検を受けてください。

- 走行中、助手席に誰も乗っていないとき
- 正しい乗車姿勢をとっているとき

エンジンスイッチをⅡにしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないときも、Honda販売店で点検を受けてください。

知識

助手席の同乗者が正しい乗車姿勢をとっている状態で、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯する場合は、下記の項目を確認してください。

- シートの背もたれがぬれていないか？
- 金属など電気を通すものが接していないか？
- 水分を含んだものを助手席に置いていないか？

原因となるものを取り除いても、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯している場合はHonda販売店で点検を受けてください。

エアバッグのお手入れ

エアバッグシステムは、メンテナンスを必要とせず、部品交換の必要也没有せん。
ただし、以下の場合には Honda 販売店で点検を受けてください。

■エアバッグが作動し、膨らんだとき

一度作動したエアバッグは、コントロールユニットやその他の関連部品とともに必ず交換する必要があります。

また、シートベルトプリテンショナーも同様に、一度作動した場合は新品と交換する必要があります。

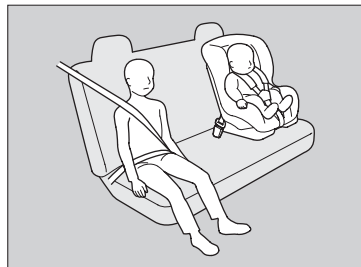
■車に中程度から強度の衝撃が加わったとき

エアバッグが作動していなくても、センサーが正しく作動することを点検する必要があります。

Honda 販売店で点検を受けてください。

お子さまの安全を守るために

お子さまが乗車するときは、下記の注意点を確認し、お子さまの安全を確保してください。



- お子さまはセカンドシートに乗せる
 - ▶ お子さまを助手席に乗せると、不意の動作が気になったり、スイッチ類をいたずらしたりするなど運転の妨げになるおそれがあります。
また、SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃があるため危険です。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる
 - ▶ お子さまを抱えていても、衝突したときに支えることができず危険です。
正しい着用方法でお子さまにもシートベルトをしてください。
- 乳幼児にはチャイルドシートを使用する
 - ▶ 乳幼児に乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用します。
- 窓やサンルーフから手や顔、ものを出さない
 - ▶ 走行中や一時停止時などに、お子さまが窓やサンルーフから手や顔、ものなどを出さないように注意してください。思わぬ障害物により事故のおそれがあり危険です。
- ドア、ウィンドー、シートなどの操作は必ず大人が行う
 - ▶ 思わぬけがの原因となりますので、お子さまにはドア、ウィンドー、シートなどの操作をさせないでください。
- 車を離れるときは、お子さまを連れて出る
 - ▶ お子さまだけを車内に残さないでください。特に、炎天下の車内は高温になり危険です。また、お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

❗ お子さまの安全を守るために

お子さまを助手席に乗せないほうが良い理由は下記の通りです。

- お子さまが助手席のシートに正しく乗車できないと、SRSエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある
- サイドエアバッグシステム装備車は、お子さまの体の一部がサイドエアバッグの作動範囲に入ると、サイドエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある

⚠ 警告

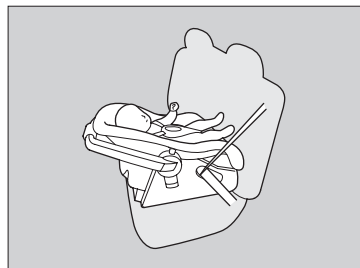
チャイルドシートは後席に設置する。

助手席に設置すると SRS エアバッグが作動したときの衝撃で、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

乳幼児の安全

■ 乳児のチャイルドシート

首のすわっていない乳児は、乳児用のチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■ 後ろ向きのチャイルドシートの設置場所
セカンドシートに設置することができます。
推奨するのは、助手席の真後ろの席への設置
です。その場合、助手席には人を乗せず助
手席のシートをできるだけ前に出してください。

※ 乳児のチャイルドシート

運転席を推奨する位置まで下げられなかったり背もたれの角度を調節できなかったりした場合は、他の席に設置してください。

⚠ 警告

後ろ向きのチャイルドシートを前向きにして使わない。

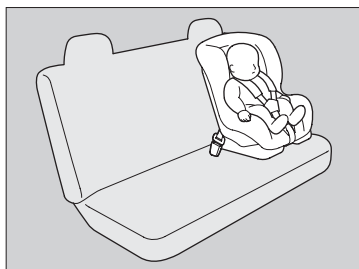
前向きにして使うと前方から衝突したときに、乳児が重大な傷害を負うおそれがあります。

後ろ向きのチャイルドシートは助手席に設置しない。

助手席の SRS エアバッグが膨らんだときに、チャイルドシートの背面にエアバッグが当たり、乳児が重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

■ 幼児のチャイルドシート

チャイルドシートメーカーが指定する範囲内の幼児は、前向きチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■前向きチャイルドシートの設置場所
セカンドシートへの設置を推奨します。

※ 幼児のチャイルドシート

⚠ 警告

助手席に前向きチャイルドシートを設置しない。

助手席に前向きチャイルドシートを設置すると、助手席のシートが前に出すぎたり、衝突したときに幼児の頭が前に投げ出されると SRS エアバッグで強い衝撃を受けるため、重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

やむをえず助手席に前向きチャイルドシートを設置する場合は、助手席のシートをできるだけ後ろに下げて設置してください。

■チャイルドシートの選びかた

チャイルドシートを購入するときは、シートベルト固定タイプチャイルドシートまたは車両限定型 ISOFIX チャイルドシートをお選びください。

シートベルト固定タイプチャイルドシートは、シートベルトを用いて座席に固定します。

車両限定型 ISOFIX チャイルドシートは、セカンドシート外側 2 座席に付属しているロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定するため取り付けが簡単です。

■チャイルドシート選択の条件

チャイルドシートが適切な保護効果を発揮するためには、以下の 3 つの条件を満たしている必要があります。

- チャイルドシートは国土交通省が型式指定、認可したマークがついた製品、またはアメリカやヨーロッパなどの安全基準に合格した製品であること
- チャイルドシートがお子さまに合ったタイプとサイズであること
- チャイルドシートが取り付けの車の座席にあったものであること

▣チャイルドシートの選びかた

車両限定型ISOFIXチャイルドシートは取り付けが簡単です。

車両限定型ISOFIXチャイルドシートは取り付けを簡単にすることで、不適切な取り付けが原因で起きる傷害を減らすために開発されたものです。

■ シートベルトで固定するチャイルドシートについて

この車にはチャイルドシートを固定するために、セカンドシート外側 2 座席のシートベルトにチャイルドシート固定装置が付いています。

様々なタイプのチャイルドシートが利用可能ですが、すべてのタイプが適当であるというわけではありません。

■ 選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年令
乳児用シート	～10	～75	～12か月
幼児用シート	9～18	70～100	9か月～4才
ジュニアシート	15～32	100～135	4才～10才

■ 車両限定型 ISOFIX チャイルドシートについて

この車のセカンドシート外側 2 座席には、車両限定型 ISOFIX チャイルドシートを取り付けるためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを装備しています。

■ 選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年令
乳児用シート	～9	～70	～9か月
幼児用シート	9～18	70～100	9か月～4才

※ シートベルトで固定するチャイルドシートについて

知識

Honda純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

車両限定型ISOFIXチャイルドシート以外のチャイルドシートを使用するときは、シートの種類や取り付けの向きにより固定金具（ロッキングクリップ）が必要になる場合があります。

※ 車両限定型ISOFIXチャイルドシートについて

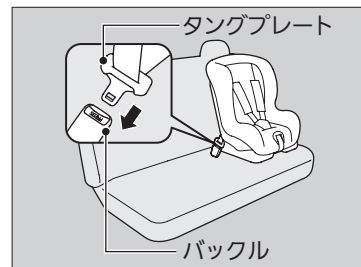
知識

Honda純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

■ チャイルドシート固定機構付きシートベルトでの取り付け

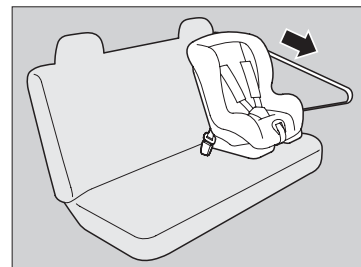


1. チャイルドシートを座席に置く。



2. シートベルトをチャイルドシートに通し、タングプレートをバックルに差し込む。

▶ このとき、バックルが「カチリ」という音がするまできちんと差し込んでください。



3. シートベルトをゆっくりすべて引き出す。

4. シートベルトを少し巻き取らせ、その後ベルトを引き出しても動かないことを確認する。

※チャイルドシート固定機構付きシートベルトでの取り付け

チャイルドシート固定機構は、セカンドシート外側2座席にあります。

知識

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

シートベルトが引き出せる場合、固定機構がはたらいていません。もう一度ベルトをすべて引き出し、巻き取らせてください。

固定機構がはたらくと、それ以上ベルトを引き出すことはできません。

引き出せる場合は、もう一度やり直してください。

⚠ 注意

固定機構を使用するときは、必ずシートベルトが引き出し方向に動かないことを確認する。

固定機構がはたらいていない状態では、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。



5. 肩ベルトのバックル付近をつかみ、上に引っ張って、腰ベルトのゆるみをとる。



6. チャイルドシートに体重をかけて、シートに押しつけながらベルトを巻き取らせ、固定する。
7. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

■ チャイルドシートの取り外し

チャイルドシート固定機構付きシートベルトでチャイルドシートを固定した場合の取り外しは、バックルを外し、シートベルトをチャイルドシートから引き抜きます。

※チャイルドシート固定機構付きシートベルトでの取り付け

⚠ 注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

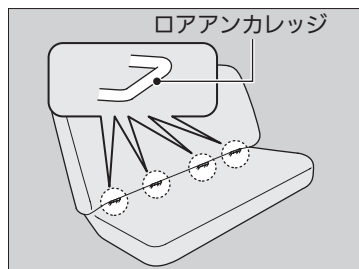
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

※チャイルドシートの取り外し

チャイルドシートから外したシートベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。

■ 車両限定型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

車両限定型 ISOFIX チャイルドシートは、セカンドシート外側 2 座席に設置できます。チャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定します。



1. シートの切れ目からロアアンカレッジを確認する。

2. チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートの取扱説明書にしたがってロアアンカレッジに取り付ける。

▶ 取り付けの際に、異物やシートベルトなどがロアアンカレッジにかみ込まないようにしてください。

※ 車両限定型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

車両限定型 ISOFIX チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

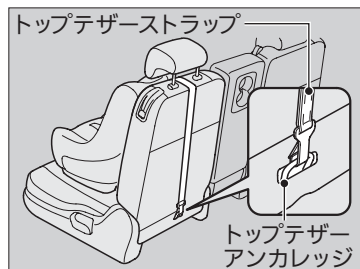
知識

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

⚠ 注意

ロアアンカレッジ周辺に、異物やシートベルトのかみ込みがないか確認する。

異物やシートベルトをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。



3. ヘッドレストを持ち上げ、トップテザーストラップをヘッドレストの下に通す。
▶ このときトップテザーストラップがねじれないように注意してください。
4. トップテザーストラップをトップテザーアンカレッジに引っかけ、ストラップを締める。
5. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

※車両限定型ISO FIXチャイルドシートの取り付け

⚠ 注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

大きなお子さまの安全

■ シートの使用について

幼児用のチャイルドシートの使用条件を超えるお子さまは、セカンドシートに乗せて三点式シートベルトを着用させてください。お子さまをシートに深くすわらせ、以下の確認項目でひとつでも適合しない場合、ジュニアシートの使用が必要です。



■ 確認項目

- お子さまのひざがシートの前端で無理なく曲がっているか？
- 肩ベルトがお子さまの首と腕の間にかかっているか？
- 腰ベルトが低い位置にあり、お子さまの太ももに触れているか？
- 乗車中、無理なくすわっていられるか？

ⓘ 大きなお子さまの安全

⚠ 警告

お子さまは助手席に乗せない。

お子さまを助手席に乗せると、SRS エアバッグが膨らんだときに、重大な傷害を負うおそれがあります。

やむをえず、助手席にお子さまを乗せる場合は、できるだけシートを後方に下げ、必要ならばジュニアシートを使用し、適切にシートベルトを着用してすわらせてください。

やむをえずお子さまを助手席に乗せる場合は、次ページの注意事項を厳守してください。

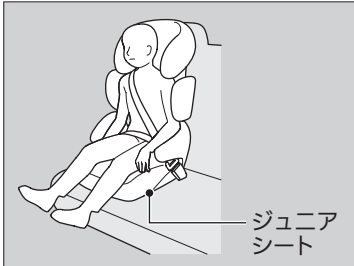
⚠ 警告

お子さまをシートベルトで遊ばせない。

固定装置が作動するとベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を負うおそれがあります。

万一、シートベルトをゆるめることができなくなった場合には、はさみなどでベルトを切断してください。

■ ジュニアシートについて



三点式シートベルトを使用できず、ジュニアシートを用いる必要があるお子さまは、ジュニアシートをセカンドシートに設置して使用してください。

安全のため、お子さまがジュニアシートの使用に適した範囲に入っているか確認してください。

■ やむをえず、お子さまを助手席に乗せる場合

正しい姿勢ですわる、走行中にシートベルトを着用するなどの規則をお子さまが守ることができ、お子さまを助手席に乗せても安全と判断した場合、下記の項目を守ってお子さまを乗車させてください。

- この取扱説明書をよく読み、シートベルトに関する指示と安全に関して十分に理解する
- 助手席を一番後ろまで下げる
- 上体を起こし、シートに深く腰かけ、足をフロアーにつけるよう指示する
- お子さまのシートベルトが正しい位置で、しっかり固定されているか確認する
- お子さまの行動を見守る

▶▶ ジュニアシートについて

知識

ジュニアシートの取り付けについては、ジュニアシートに付属の取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。

ジュニアシートには、座高の高いものと低いものがあります。お子さまが適切にシートベルトを着用できるものを選択してください。

一酸化炭素について

車の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。車をきちんと保守していれば、一酸化炭素が車内に入ることはありません。

以下の場合、排気ガスのもれがないか Honda 販売店で点検を受けてください。

■点検が必要な場合

- 排気音に異常を感じたとき
- 車が衝突し、排気システムが損傷した可能性があるとき

☒一酸化炭素について



警告

一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。

一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。

密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、エンジンをかけたままにしない。

周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。

ガレージなどの密閉された場所は、一酸化炭素が急に充満するおそれがあります。

ガレージのドアを閉めたままエンジンをかけないでください。ドアが開いている場合でも、ガレージから車を出す直前にエンジンをかけるようにしてください。

計器の見かた

この章では、運転中に使用するスイッチや警告灯・表示灯、
メーター類に関する情報を記載しています。

警告灯と表示灯

警告灯 52

表示灯 56

メーターと

インフォメーションディスプレイ

メーター 59

インフォメーションディスプレイ 60

警告灯

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	ブレーキ警告灯	- エンジンスイッチを$\square$にすると数秒点灯したあと、消灯（パーキングブレーキをかけているときは点灯） - ブレーキ液量が低下したときに点灯	- 走行中に点灯したりパーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ブレーキ液を点検し、下限より減っている場合はただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 - ABS 警告灯と同時に点灯した場合も、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ☑ ブレーキ警告灯が点灯した P.203
	油圧警告灯	- エンジンスイッチを$\square$にすると点灯し、エンジン始動で消灯 - エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯	走行中に点灯 = ただちに安全な場所に車を停車し、対処してください。 ☑ 油圧警告灯が点灯した P.202
	PGM-FI 警告灯	- エンジンスイッチを$\square$にすると点灯し、エンジン始動で消灯 エンジンを始動していないときは数十秒後消灯 - エンジンの排気ガス制御システムに異常があると点灯 - エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅	走行中に点灯 = 高速走行を避けてただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 走行中に点滅 = 枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを止めて冷えるのを待ちください。 ☑ PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した P.203
	充電警告灯	- エンジンスイッチを$\square$にすると点灯し、エンジン始動で消灯 - バッテリーが充電されていないと点灯	走行中に点灯 = 電気の消費量を減らすため、エアコンやリヤデフロスターなどを OFF にし、対処してください。 ☑ 充電警告灯が点灯した P.202

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯)	- エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 - トランスミッションが異常のときに点滅	運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
	シートベルト非着用警告灯	- 運転者がシートベルトをしないと点灯 - エンジンスイッチを II にしたときや走行中、運転者がシートベルトを着用していないとブザーが鳴り、ブザーが鳴っている間は警告灯が点滅	- シートベルトを正しく着用するとブザーがやみ、警告灯が消灯します。 - シートベルトを正しく着用していても警告灯が点灯する場合は、センサーの誤検知などの要因が考えられます。 ☑ シートベルトリマインダー P.23
	Honda スマートキーシステム警告灯 [*]	- エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 - Honda スマートキーシステムが異常のときに点灯	- 下記のような場合、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 - 運転中に点灯した - エンジン始動後も消灯しない - エンジンスイッチが 0 のときに数秒間点灯した
	燃料残量警告灯	燃料の残量が少なくなると点灯	点灯したら早めに給油してください。
	ABS (アンチロックブレーキシステム) 警告灯	- エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 - ABS が異常のときに点灯	常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ☑ ABS (アンチロックブレーキシステム) P.143

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	エアバッグシステム 警告灯	- エンジンスイッチを$\boxed{\text{II}}$にすると数秒点灯したあと、消灯 - 下記の異常を検出すると点灯 ・SRS エアバッグシステムの異常 ・サイドエアバッグシステムの異常 ・サイドカーテンエアバッグシステムの異常 ・シートベルトプリテンショナーの異常 ・E-プリテンショナーの異常	常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
	ドア開閉警告灯	- エンジンスイッチを$\boxed{\text{II}}$にすると数秒点灯したあと、消灯 - ドアが完全に閉まっていないとき点灯	ドアを完全に閉めると、警告灯が消灯します。
	テールゲート 開閉警告灯	- エンジンスイッチを$\boxed{\text{II}}$にすると数秒点灯したあと、消灯 - テールゲートが完全に閉まっていないとき点灯	テールゲートを完全に閉めると、警告灯が消灯します。
	EPS(エレクトリック パワーステアリング) 警告灯	- エンジンスイッチを$\boxed{\text{II}}$にすると点灯し、エンジン始動で消灯 - EPS (エレクトリックパワーステアリング) システムの機能に異常があると点灯	- 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ■EPS 警告灯が点灯した P.204
	高水温警告灯	- エンジンスイッチを$\boxed{\text{II}}$にすると数秒点灯したあと、消灯 - エンジンの冷却水の温度が上がると点滅し、さらに上がると点灯	- 走行中に点滅 = ゆっくり走行してください。 - 走行中に点灯 = ただちに安全な場所に車を停車し、エンジンを冷やしてください。 ■オーバーヒート P.201

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
CMBS	CMBS 警告灯*	- エンジンスイッチをIIにすると数秒点灯したあと、消灯 - CMBS を OFF にしているとき点灯 - CMBS に異常があるとき点灯	OFF にしていないのに点灯する場合は、いくつかの理由が考えられます。 CMBS (追突軽減ブレーキ) P.144
LIGHT CONTROL	オートライトコントロール警告灯*	- エンジンスイッチをIIにすると数秒点灯したあと、消灯 - オートライトコントロールシステムが異常のとき点灯	運転中に点灯した場合は、ライトの点灯、消灯は手動で行い、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
IHCC	IHCC (インテリジェントハイウェイクルーズコントロール) 警告灯*	- エンジンスイッチをIIにすると数秒点灯したあと、消灯 - IHCC (インテリジェントハイウェイクルーズコントロール) システムが異常のときに、オレンジ色で点灯	詳細については、別冊の「IHCC」取扱説明書をご覧ください。
VSA	VSA (ビークルスタビリティアシスト) 警告灯*	- エンジンスイッチをIIにすると数秒点灯したあと、消灯 - VSA システムが異常のときに点灯 - ヒルスタートアシストとブレーキアシストが異常のときに点灯	常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 VSA (ビークルスタビリティアシスト) P.139

表示灯

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	方向指示器表示灯	- 方向指示器と対応し、左右どちらかが点滅 - 非常点滅表示灯スイッチを押すと、左右同時に点滅	- 点滅しない / 点滅の周期が速いときは、方向指示器の電球が切れています。ただちに電球を交換してください。 ■電球の交換 P.164、165、166
	ハイビーム表示灯	ヘッドライトを上向きにしたときに点灯	—
	フォグライト点灯表示灯*	フォグライトを点灯させると点灯	—
	ライト点灯表示灯	ライトスイッチがOFF以外のときに点灯 (AUTO*のときは車幅灯点灯時に点灯)	ライトを点灯したままキーを抜く / プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。
	低水温表示灯	エンジン冷却水の温度が低いときに点灯	暖機を十分にした状態で、表示灯が点灯したままのときは、温度センサーなどの異常が考えられます。Honda 販売店で点検を受けてください。
	サイドエアバッグ自動停止表示灯*	- エンジンスイッチをIIにすると数秒点灯したあと、消灯 - 助手席のサイドエアバッグシステムのセンサーが作動し、サイドエアバッグシステムが自動的に停止したときに点灯	- 一瞬の点灯は異常ではありません。 - 点灯したときは、上体を起こしてすわってください。小さいお子さまが助手席に乗っているときは、セカンドシートに乗せてください。 - 助手席に誰も乗っていないのに走行中点灯するときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	イモビライザーシステム表示灯*	- エンジンスイッチを II にすると一瞬点灯し、すぐに消灯 - イモビライザーシステムがキーの情報を認識できないと点滅	- 一瞬の点灯は異常ではありません。 - 点滅しているときは、エンジンを始動することはできません。エンジンスイッチをいったん 0 へ回しキーを抜いてから、もう一度エンジンスイッチに差し込み II にしてください。Honda スマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチを 0 (プッシュオフ) にしてから、もう一度 II にしてください。 - 頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますので Honda 販売店で点検を受けてください。 - エンジンスイッチのそばに、別のキーや金属があるとイモビライザーシステムがキーの情報を読み取れないことがあります。
	セキュリティアラームシステム作動表示灯*	セキュリティアラームシステムがセットされているときに点滅	—
D3	D3 ON表示灯	- エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 - D3スイッチがONのとき点灯	—

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
IHCC	I H C C (インテリジェントハイウェイクルーズコントロール) 表示灯*	I H C C スイッチを押して、I H C C を ON にするとグリーンで点灯	詳細については、別冊の「I H C C」取扱説明書をご覧ください。
	VSA (ビークルスタビリティアシスト) 作動表示灯*	- エンジンスイッチを  にすると数秒点灯したあと、消灯 - VSA を OFF にすると点灯 - VSA 作動中に点滅 - VSA に異常があると VSA 警告灯と同時に点灯	- 数秒の点灯は異常ではありません。 - VSA 警告灯が点灯すると VSA 作動表示灯も同時に点灯します。  VSA (ビークルスタビリティアシスト) P.139
ECO	ECO (エコ) 表示灯	定速走行時や減速運転時のエンジンの燃費の状態が良いときに点灯	停車中や低車速走行中は点灯しません。

メーターとインフォメーションディスプレイ

メーター

メーターには、スピードメーター、燃料計などの種類があります。

■ スピードメーター

走行速度を km/h で表示します。

■ 燃料計

燃料タンクに残っている、燃料の量を表示します。

エンジンスイッチが **II** のとき表示されます。

■ タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を表示します。

※ 燃料計

実際の燃料残量と、メーターに表示される量は異なる場合がありますので、ご注意ください。

アドバイス

燃料計が **E** に近づいたら、早めに給油してください。

燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。

※ タコメーター

エンジンの限界回転数は、下表の通りです。

タイプ	限界回転数
18L、18X	6,800rpm
20X、20X i	6,700rpm

アドバイス

エンジン故障の原因となりますので限界回転数以上（レッドゾーン）に入らないよう運転してください。

特に、高速走行時にシフトダウンするときには、注意してください。

空ぶかしをしたときにエンジン回転数が下記の回転数になると、トランスミッション保護のため燃料供給が停止されます。

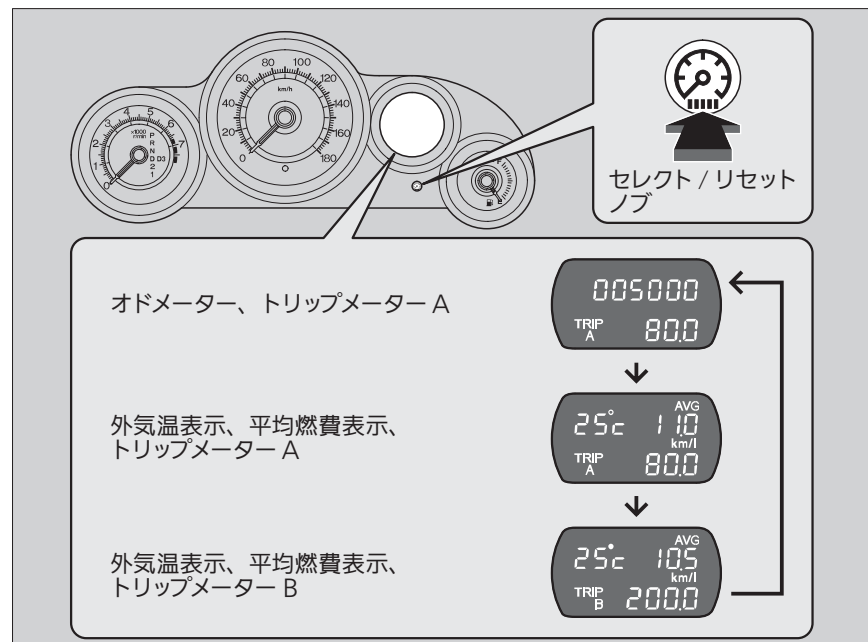
回転数：5,000rpm

インフォメーションディスプレイ

インフォメーションディスプレイには、オドメーター、トリップメーター、外気温表示などが表示されます。

■ 表示の切り換えかた

セレクト / リセットノブを押すごとに、表示が下記のように切り換わります。



■ オドメーター

走行距離の累計を km で表示します。

■ トリップメーター

リセットしてからの走行距離を km で表示します。
トリップ A と、トリップ B があり、それぞれ独立して計測するため 2 つの走行距離を知ることができます。

■ トリップメーターをリセットするには

トリップメーターが表示されている状態で、セレクト / リセットノブを押し続けてください。トリップメーターが 0.0 にリセットされます。

■ 外気温表示

外気温を測定し表示します。

■ 外気温表示を補正するには

外気温とメーターの表示温度に差がある場合、 $\pm 3^{\circ}\text{C}$ の範囲で補正することができます。
補正するには、セレクト / リセットノブを押し続け、設定したい補正值が表示されたらセレクト / リセットノブを離します。

▶ トリップメーター

知識

トリップ A とトリップ B は、セレクト / リセットノブで切り換えられます。
トリップ A とトリップ B の表示を切り換えるには、セレクト / リセットノブを押します。

トリップメーターは走行距離が 9999.9km を超えると、0.0km に戻ります。

▶ 外気温表示

知識

温度センサーはフロントバンパー付近に付いています。

速度がおおよそ 30km/h 以下のときは、表示される温度が、路面の熱、エンジンの熱、周囲の車の排気ガスの影響を受けることがあります。
また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。

■ 平均燃費表示 (AVG)

トリップメーター A、B と連動し、それぞれの平均燃費を一定時間ごとに更新して km/l で表示します。

トリップメーターをリセットすると、平均燃費表示も同時にリセットされます。

▶▶ 平均燃費表示 (AVG)

知識

表示される平均燃費は、実際に走行した燃費とは異なる場合があります。

各部の操作

この章では、運転に必要な各部の操作方法について記載しています。

時刻の設定	64
ドアの施錠と解錠	
キーの種類と機能	65
車外でのドアの施錠/解錠	68
車内での施錠/解錠	72
チャイルドプルーフ	73
オートドアロック/オートドアアンロック	74
テールゲートの開閉	
テールゲート開閉時の注意	75
セキュリティシステム	
イモビライザーシステム	77
セキュリティアラームシステム	77
ウィンドーの開閉	79

サンルーフの開閉	82
ハンドルまわりのスイッチ操作	
エンジンスイッチ	83
Hondaスマートキー装備車の	
エンジンスイッチ	84
方向指示器（ウィンカースイッチ）	86
ライトスイッチ	87
フォグライトスイッチ	88
ワイパー/ウォッシャー	89
ヘッドライトレベリングダイヤル	91
イルミネーションコントロールノブ	92
リヤデフロスタースイッチ	93
フロントガラス熱線スイッチ	93

ハンドルの調節	94
ミラー類の調節	95
シートの調節	98
ヘッドレスト	104
アームレスト	105
室内灯/室内装備品	106
エアコン	
エアコンの吹き出し口	115
エアクリーンフィルター	116
オートエアコンの使いかた	118
エアコンのお手入れ	120

時刻の設定

Honda インターナビシステム装備車

時計は人工衛星からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。

キーの種類と機能

この車には、以下のキーが付いています。キーの組合せは、車両のタイプにより異なります。

■ キー^{*}/キーレスエントリー一体キー^{*}/Honda スマートキー^{*}



エンジンの始動、停止のほかに、すべてのドア、テールゲートの施錠・解錠に使用できます。

■ キーレスエントリー一体キー/Honda スマートキー

キーについているボタンで、すべてのドア、テールゲートの施錠・解錠の操作ができます。

※ キーの種類と機能

キーレスエントリー一体キー/Honda スマートキー
すべてのキーには、イモビライザーシステムが
ついてしています。

イモビライザーシステムは、車両を盗難から守る
ためのシステムです。

■ イモビライザーシステム P.77

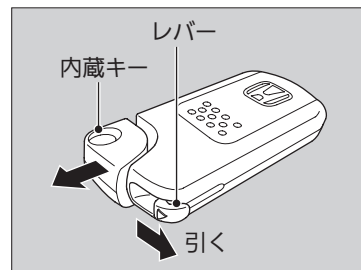
キーレスエントリー一体キー/Honda スマートキー
キーには、精密な電子部品が組み込まれていま
す。

故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に
置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 分解をしない
- 火であぶらない

キーレスエントリー一体キー/Honda スマートキー
キーの電子部品が故障すると、エンジンの始
動やリモート発信が作動しなくなることがあり
ます。

キーが正常に作動しなくなった場合は、Honda
販売店で点検を受けてください。



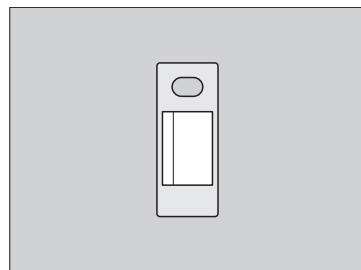
Honda スマートキーの電池が切れたときや車のバッテリーがあがったときは、内蔵キーを使用してください。

内蔵キーは、レバーを引きながら取り出します。

収納するときは、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

Honda スマートキーの電池の消耗や故障したときのことを考慮して、内蔵キーは Honda スマートキーに収納しておいてください。

■ キーナンバータグ



キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。

※ キーナンバータグ

知識

キーナンバータグは、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。

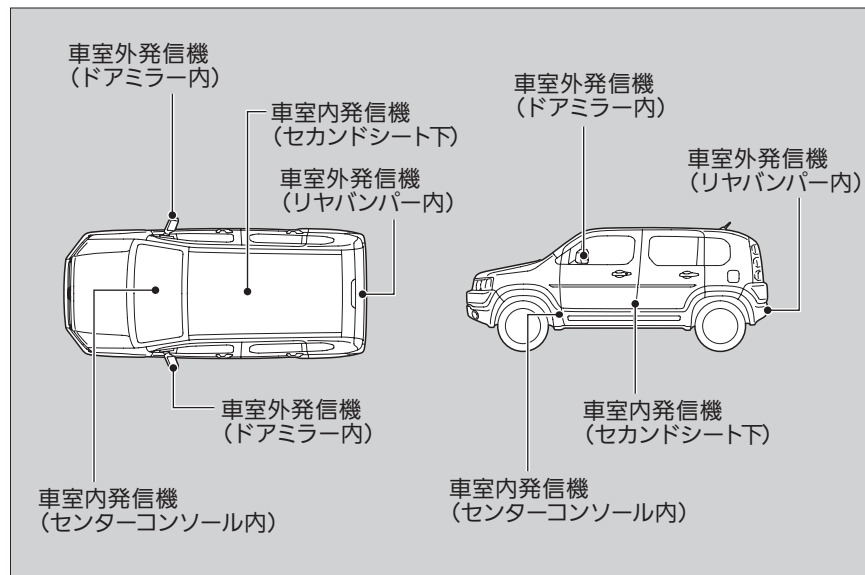
キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。キーと一緒に保管せず、車両以外の場所に大切に保管してください。キーを紛失したときや、追加購入したときは、Honda販売店に依頼してください。

Honda スマートキーの微弱電波

Honda スマートキーを使用してドア、テールゲートの施錠 / 解錠操作をするときやエンジンをかけるとき、Honda スマートキーとの電子照合を行うために車両から電波が発信されます。

そのため、次のような場合正常に作動しなかったり、不安定な動作となったりすることがあります。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンと一緒に Honda スマートキーを携帯しているとき
- Honda スマートキーが金属物に触れていたり覆われていたりするとき



ⓘ Honda スマートキーの微弱電波

⚠ 注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用しているかたは、車両に搭載されている発信機から 22cm 以内に近づかない。

Honda スマートキーシステムで発信されている電波が、機器の作動に影響を与える可能性があります。医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。

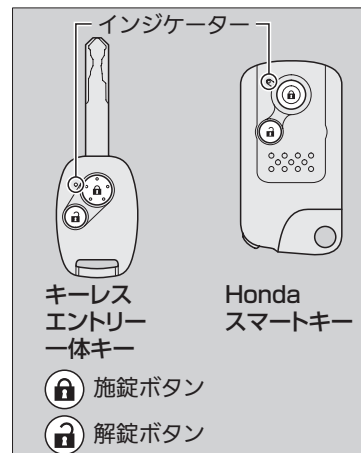
知識

Honda スマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池寿命は、使用状況により異なりますが約2年間です。

また、強い電波を受信し続けると電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

車外でのドアの施錠 / 解錠

■ キーレスエントリーでの施錠 / 解錠



■ 施錠

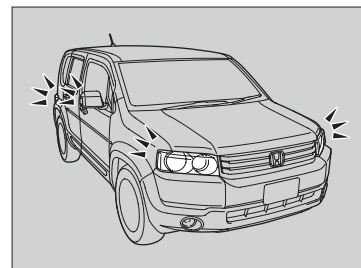
施錠ボタンを押します。

- ▶ 非常点滅表示灯が 1 回点滅し、すべてのドア、テールゲートが施錠されます。

■ 解錠

解錠ボタンを押します。

- ▶ 非常点滅表示灯が 2 回点滅し、すべてのドア、テールゲートが解錠されます。



☒ キーレスエントリーでの施錠 / 解錠

知識

30秒以内にドア、テールゲートを開けてください。

キーレスエントリーで解錠操作をした場合、30秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

解錠ボタンを押すと、室内灯が点灯します。

室内灯のスイッチがドアと連動する位置にあるとき、解錠ボタンを押すと室内灯が点灯します。約30秒点灯し、徐々に暗くなります。30秒以内にキーレスエントリーで施錠すると、室内灯はただちに消灯します。

☒ 室内灯 P.106

キーレスエントリーは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。

次の場合、キーレスエントリーは作動しません。

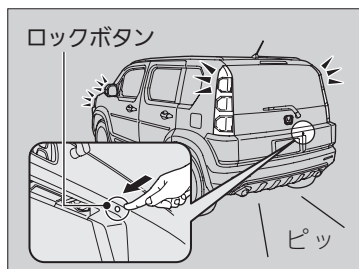
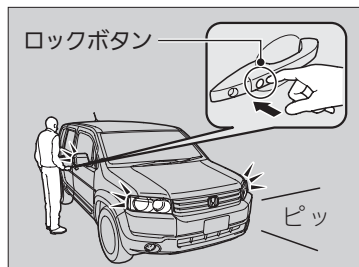
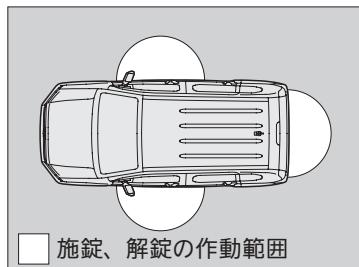
- エンジンスイッチが **0** 以外のとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき
- ドア、テールゲートが開いているとき（施錠時のみ）

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。

ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。

☒ 電池交換のしかた P.179

■ Honda スマートキーでの施錠 / 解錠



Honda スマートキーを携帯し、ロックボタン、ドアハンドル、テールゲートハンドルを操作することでドア、テールゲートの施錠や解錠を操作します。

ドア、テールゲートの施錠 / 解錠が作動するのは、運転席、助手席ドアハンドル、テールゲートハンドルから周囲約 80cm 以内です。

■ 施錠するには

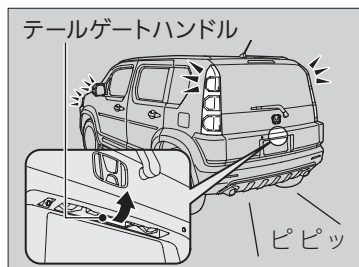
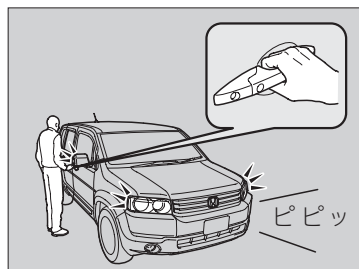
運転席、助手席ドアハンドル、テールゲートのロックボタンを押します。

▶「ピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が 1 回点滅し、すべてのドア、テールゲートが施錠されます。

▶▶ Honda スマートキーでの施錠 / 解錠

知識

- Honda スマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。
- 同じ作動範囲に Honda スマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもロックボタンやドアハンドル、テールゲートハンドルで施錠 / 解錠操作ができます。
- 革製やスキー用の手袋などを着用しているときは、ドアハンドルでの解錠操作が遅れたりできなかつたりすることがあります。
- 作動範囲内に Honda スマートキーがあるときは、大雨や洗車などで大量の水がドアハンドルにかかると、解錠されることがあります。
- 施錠後約 2 秒間は、ドアハンドルを握っても解錠操作はできません。
- ドアハンドルを握った直後に引くと、ドアが開かないことがあります。ドアハンドルを握りなおし、解錠されていることを確認してから引いてください。
- ドアハンドル、テールゲートハンドルより約 80cm 以内の距離でも、Honda スマートキーが地面の近くや高い位置にあるときは作動しないことがあります。
- ドアやドアガラス、テールゲートに近づきすぎていると作動しないことがあります。



■解錠するには

運転席、助手席ドアハンドルを握るか、テールゲートハンドルを引きます。

▶「ピピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が2回点滅し、すべてのドア、テールゲートが解錠されます。

※Hondaスマートキーでの施錠/解錠

知識

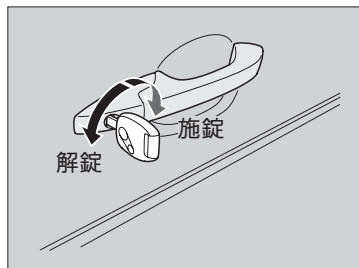
30秒以内にドア、テールゲートを開けてください。

Hondaスマートキーで解錠操作をした場合、30秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

カスタマイズ機能について

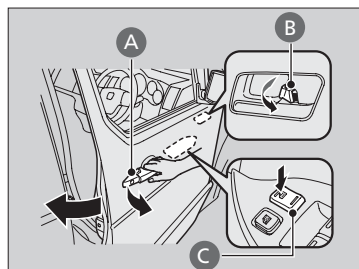
施錠/解錠時に鳴るアンサーバックブザーは、音量を変えたりブザーが鳴らないようにすることができます。カスタマイズ機能の詳細はHonda販売店にご相談ください。

■ キーを差し込んでの施錠 / 解錠



キーを確実に差し込んで回します。
Honda スマートキーの場合は、内蔵キーを取り出して操作してください。

■ キーを使わないでの施錠



■ 運転席のドアの施錠

外側のドアハンドル(A)を引いたまま、ノブ(B)を引き出すかマスタードアロックスイッチ(C)を施錠のほうに押し、ドアハンドルを離してドアを閉めます。

■ 運転席以外のドアの施錠

ノブを引き出し、ドアを閉めます。

■ キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれていると施錠できません。

Honda スマートキー装備車は、Honda スマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。

▶▶ キーを差し込んでの施錠/解錠

知識

運転席ドアでのキー操作

運転席ドアにキーを差し込んで施錠/解錠すると、ほかのすべてのドア、テールゲートも同時に施錠/解錠されます。

▶▶ キーを使わないでの施錠

知識

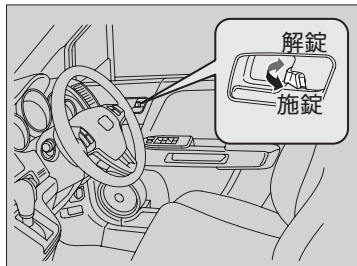
運転席ドアで施錠すると、

ほかのすべてのドア、テールゲートも同時に施錠されます。

キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

車内での施錠 / 解錠

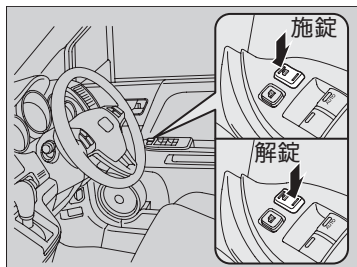
■ ノブでの施錠 / 解錠



■施錠するには
ノブを引きます。

■解錠するには
ノブを押し込みます。

■ マスタードアロックスイッチでの施錠 / 解錠



マスタードアロックスイッチを施錠 / 解錠のほうに押します。

※ ノブでの施錠 / 解錠

知識

運転席ドアのノブで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドア、テールゲートも同時に施錠 / 解錠されます。

※ マスタードアロックスイッチでの施錠 / 解錠

知識

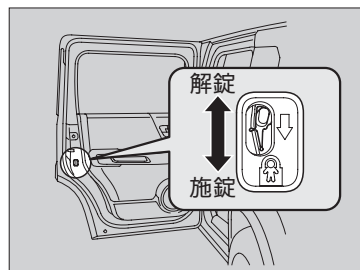
運転席ドアのマスタードアロックスイッチで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドア、テールゲートも同時に施錠 / 解錠されます。

チャイルドプルーフ

チャイルドプルーフとは、走行中などにお子さまが車外に放り出されることを防止するため、ノブの位置に関係なく、後席ドアを車内から開けることができないようにする機能です。

お子さまをセカンドシートに乗せるときなどにお使いください。

■ チャイルドプルーフのセット



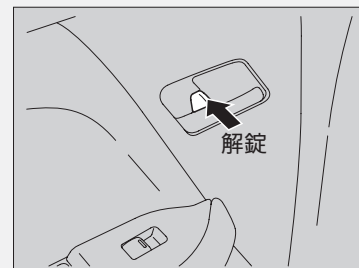
後席ドアについているツマミを、施錠の位置にしてドアを閉めます。

■ ドアを開ける場合
外側のハンドルで開けます。

※ チャイルドプルーフ

知識

チャイルドプルーフセット時に車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。



衝撃感知ドアロック解除システム

車両に衝撃が加わったときに、自動的にすべてのドア、テールゲートを解錠するシステムです。

作動するのは以下の場合です。

- 正面からの衝撃：SRS エアバッグが作動したとき
- 側面からの衝撃：サイドエアバッグ/サイドカーテンエアバッグ装備車の場合で、サイドエアバッグ/サイドカーテンエアバッグが作動したとき
- 後面からの衝撃：衝撃が大きいとき

いずれの場合も、安全性を考慮して衝撃を受けてから約 10 秒後に解錠します。

オートドアロック / オートドアアンロック

■オートドアロック（車速連動）

オートドアロックとは、車速が約 15km/h 以上になるとすべてのドア、テールゲートが自動的に施錠される機能です。

■オートドアアンロック（セレクトレバー連動）

セレクトレバーを **P** に入れると、すべてのドア、テールゲートが自動的に解錠される機能です。

※ 衝撃感知ドアロック解除システム

知識

衝撃の加わりかたや大きさによっては解錠しない場合があります。

テールゲートの開閉

テールゲート開閉時の注意

テールゲート開閉をするときは、下記の点に注意してください。

■テールゲートを開けているとき

- テールゲートは上までしっかりと開ける。
 - ▶ 途中までしか開けていないと、自重で閉まることがあります。
- 風の強い日は、風にあおられて閉まらないように注意する。
- テールゲートを開けたまま走行しない。
 - ▶ 車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

■テールゲートを閉めるとき

- キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーを、カーゴスペース内に置き忘れないように注意する。

※テールゲート開閉時の注意



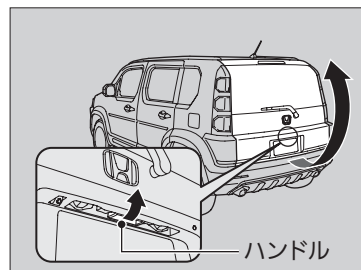
注意

テールゲートを閉めるときは、頭をぶついたり手をはさまないように注意する。

エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないようにする。

やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

テールゲートを開ける



テールゲートの施錠 / 解錠は運転席ドアと連動しています。
解錠されているときに、ハンドルを引いて開けます。

Honda スマートキー 装備車

施錠されているときに Honda スマートキーを携帯してテールゲートハンドルを引くと、解錠されますのでそのまま引き上げます。
テールゲートオープン機能の作動範囲はテールゲートハンドルから周囲約 80cm の範囲です。

☒ テールゲートを開ける

運転席ドアが施錠されているとき

テールゲートを閉めると、テールゲートも施錠されます。

運転席ドアが解錠されているとき

テールゲートを閉めても、施錠されません。

知識

- 作動範囲内に Honda スマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもテールゲートハンドルでテールゲートを開けることができます。
- Honda スマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。
- テールゲートハンドルより約 80cm 以内の距離でも、Honda スマートキーが地面の近くや高い位置にあるときは作動しないことがあります。
- Honda スマートキーを用いて解錠すると、「ビピッ」というアンサーバック音が鳴ります。

カスタマイズ機能について

施錠 / 解錠時に鳴るアンサーバックブザーは、音量を変えたりブザーが鳴らないようにすることができます。カスタマイズ機能の詳細は Honda 販売店にご相談ください。

イモビライザーシステム*

イモビライザーシステムとは、キーに信号を発信する電子部品が組み込まれており、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。

イモビライザーシステムでは、車両とキーの電子照合を行うときに微弱な電波を使用します。エンジンスイッチにキーを差し込むときは、下記の点に注意してください。

- エンジンスイッチの近くに強い電波を発するものを近づけない
- キーを金属に触れさせたり、覆ったりしない
- ほかの車両のイモビライザーシステムのキーを近づけない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けたり、テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

セキュリティアラームシステム*

セキュリティアラームシステムは、キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーを使わずにドア、テールゲート、ボンネットを開けると、警報装置が作動するシステムです。

また、エンジンスイッチを $\square$ にしたときにも作動します。

■作動すると

ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

■停止させるには

キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーで解錠してください。システムが停止し、ホーンと点滅も停止します。

※イモビライザーシステム

アドバイス

システムを改造したりしないでください。

エンジンシステムが故障するおそれがあります。

※セキュリティアラームシステム

知識

警報装置はセキュリティアラームシステムを停止させるまで、最大5分間作動します。

ホーンおよび非常点滅表示灯は、1回の作動につき約30秒間作動し、その警報作動が最大10回行われます。

■セットするには

セキュリティアラームシステムは、以下の条件が整うと自動的にセットされます。

- エンジンスイッチを[0]にして、キーを抜く(Honda スマートキーの場合はプッシュオフにする)
- ボンネットが閉まっている
- キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーですべてのドアとテールゲートが施錠されている

■セットされると

メーター内にある作動表示灯が点滅し、約 15 秒後に点滅間隔が変わり、セキュリティアラームシステムがセットされます。

■セットを解除するには

キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーで解錠すると、セットは解除されます。同時に作動表示灯が消灯します。

※ セキュリティアラームシステム

知識

車内に人が乗っているときやウィンドーが開いているときでも、セキュリティアラームシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐために、人が乗っていたりウィンドーが開いているときには、セキュリティアラームシステムをセットしないでください。

セキュリティアラームシステムをセットした後にバッテリーがあがり、バッテリーの充電、交換をすると、警報装置が作動することがあります。そのときは、キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーでドアを解錠し、セキュリティアラームシステムを解除してください。

ウィンドーの開閉

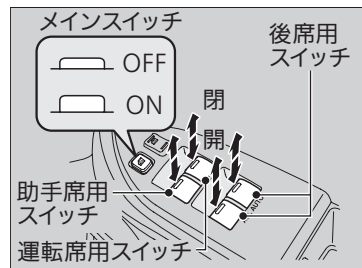
パワーウィンドーの開閉

エンジンスイッチがIIのときに、パワーウィンドーの開閉操作を行うことができます。開閉はそれぞれのドアにあるスイッチで行います。運転席のスイッチでは、すべてのウィンドーの開閉操作を行うことができます。

運転席以外のウィンドーの開閉は、運転席のメインスイッチを ON にしてから行います。

メインスイッチを OFF にしておくと、運転席以外のウィンドーは作動しません。お子さまを乗せているときなどは、メインスイッチを OFF にしておいてください。

自動開閉機能付きのウィンドーの開閉



■手動開閉

開けるとき: スイッチを軽く押す

閉めるとき: スイッチを軽く引き上げる

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

■自動開閉

開けるとき: スイッチを強く押す

閉めるとき: スイッチを強く引き上げる

自動的に全開 / 全閉します。途中で止めるには、スイッチを反対側に軽く上げ / 下げします。

▶パワーウィンドーの開閉

エンジンスイッチをOFFにしても、約10分間はキーオフオペレーションにより自動開閉機能付きのパワーウィンドーを開閉できます。

この場合、運転席のドアを開閉すると、ウィンドーの開閉はできなくなります。

⚠警告

パワーウィンドーを閉めるときは、同乗者が窓から手や顔などを出していないことを確認する。

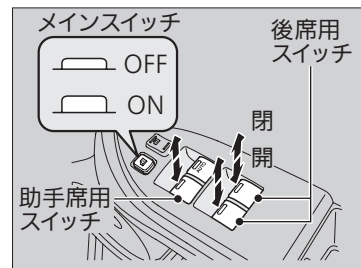
手や顔などをパワーウィンドーにはさむと、重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

自動開閉機能付きのパワーウィンドーを自動で閉めているときに障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりウィンドーの動きが逆転し止まります。

⚠注意

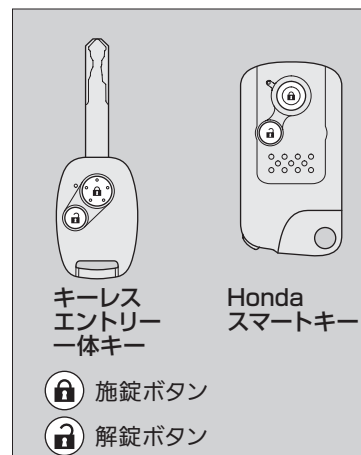
指などをはさみ込まないように注意する。
確実に閉めるため、閉め切る直前の部分に、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

■ 自動開閉機能なしのウィンドーの開閉



開けるとき：スイッチを押す
 閉めるとき：スイッチを引き上げる
 希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

■ キーレスエントリーでのウィンドーの開閉*



全席自動開閉機能付きのパワーウィンドー装備車は、キーレスエントリーを使用してパワーウィンドーの開閉が行えます。

開けるとき：キーレスエントリーで解錠後、10 秒以内に再度、解錠ボタンを押し続ける

閉めるとき：キーレスエントリーで施錠後、10 秒以内に再度、施錠ボタンを押し続ける

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

ウィンドーの開閉中に停止したときは、再度同じ操作を繰り返してください。

▶▶ パワーウィンドーの開閉

知識

故障などではさみ込み防止機構が作動し、自動でウィンドーを閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。

路面や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

お子さまが同乗している場合、ウィンドーを開閉できないよう、メインスイッチをOFFにしてください。

メインスイッチをOFFにすると、それぞれのウィンドーの開閉スイッチでの操作ができなくなります。

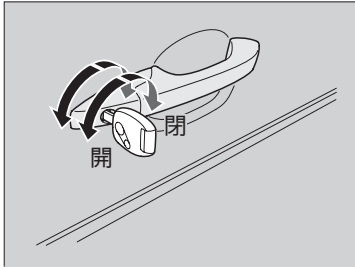
▶▶ キーレスエントリーでのウィンドーの開閉

知識

次の場合、キーレスエントリーを使用してもパワーウィンドー開閉は作動しません。

- エンジンスイッチが「0」（Hondaスマートキーの場合はプッシュオフ）以外のとき
- ドア、テールゲートが開いているとき（閉める時のみ）

■ キーシリンダーでのウィンドーの開閉*



全席自動開閉機能付きパワーウィンドー装備車は、運転席ドアのキーシリンダーを使用してパワーウィンドーの開閉が行えます。

開けるとき：運転席ドアのキーシリンダーにキーを差し込んで解錠後、キーを戻してから10秒以内に再度、解錠側いっぱいまでキーを回したままにする

閉めるとき：運転席ドアのキーシリンダーにキーを差し込んで施錠後、キーを戻してから10秒以内に再度、施錠側いっぱいまでキーを回したままにする

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

ウィンドーの開閉中に停止したときは、再度同じ操作を繰り返してください。

※ キーシリンダーでのウィンドーの開閉

知識

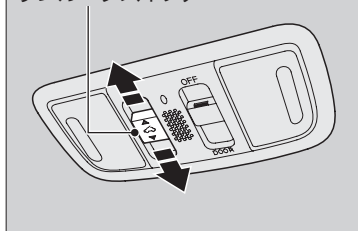
ドアが開いているときは、キーシリンダーを使用してパワーウィンドーを閉めることはできません。

サンルーフの開閉*

開閉

エンジンスイッチがIIのときに、サンルーフの開閉操作を行うことができます。開閉は前席の天井にあるスイッチで行います。

サンルーフスイッチ



■手動開閉

開けるとき: スイッチを後ろ側へ軽く引く

閉めるとき: スイッチを前側へ軽く押す
希望の位置で手を離すことで、サンルーフの開閉を調節します。

■自動開閉

開けるとき: スイッチを後ろ側へ強く引く

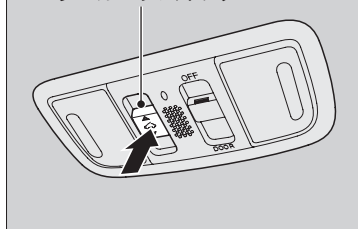
閉めるとき: スイッチを前側へ強く押す
自動的に全開 / 全閉します。途中で止めるには、スイッチを軽く操作します。

■チルトアップ

開けるとき: スイッチを上へ押す

閉めるとき: スイッチを前側へ強く押すと自動で全閉
スイッチを前側へ軽く押したときは離れた位置で停止

サンルーフスイッチ



☒ サンルーフの開閉

エンジンスイッチをOFFにしても、約10分間はキーオフオペレーションによりサンルーフを開閉できます。

この場合、運転席のドアを開閉すると、サンルーフの開閉はできなくなります。

⚠ 警告

サンルーフを開閉するときは、手や顔などをはさまないよう注意する。

サンルーフにはさまれて、重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気を付けてください。

サンルーフを自動開閉中に障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりサンルーフの動きが逆転し止まります。

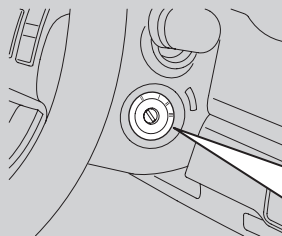
⚠ 注意

サンルーフを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分にはさみ込みを検知しないエリアがあります。指などをはさみ込まないように、注意してください。

走行中や停車中にルーフ開口部から頭や手、ものなどを出さない。

障害物や急ブレーキなどで思わぬ事故につながるおそれがあります。

エンジンスイッチ



- 0 ロック**
キーを抜き差しする位置
- I アクセサリー**
エンジンをかけずに、オーディオシステムなどのアクセサリーを使用するときの位置
- II ON**
運転するときの位置
- III 始動**
エンジン始動位置
始動したら手を離すと、自動的に**II**に戻ります。

エンジンスイッチ

エンジンスイッチが**0**または**I**のときにキーを差し込んだまま運転席ドアを開けると、キー抜き忘れ警告ブザーが鳴ります。

キーを抜いてください。ブザー音が止まります。

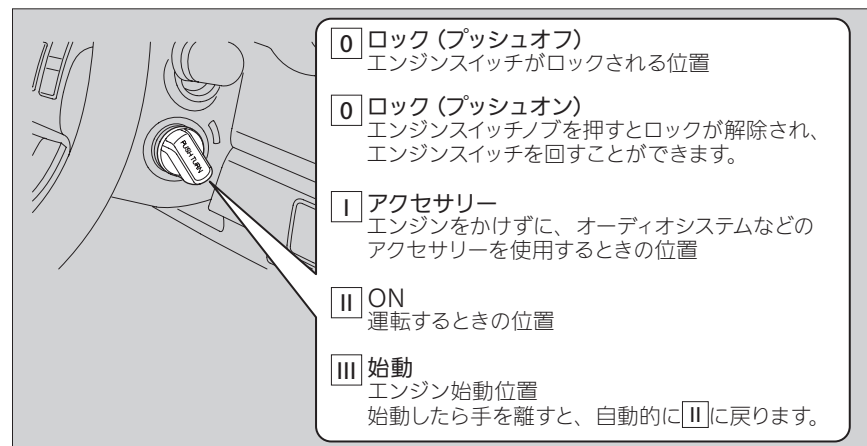
エンジンスイッチが**0**から**I**に回らないときは、ハンドルロックを解除します。

ハンドルを左右に回しながらキーを回してください。ハンドルロックが解除され、キーが回ります。

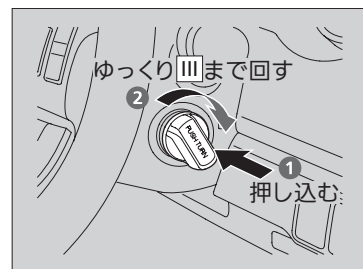
知識

セレクトレバーを**P**に入れないとキーを抜くことができません。

Honda スマートキー装備車のエンジンスイッチ



始動方法



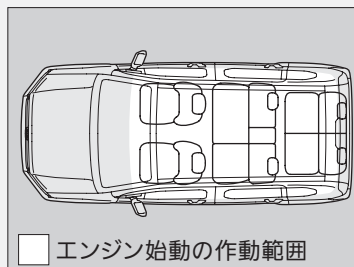
Honda スマートキーの携帯を確認します。

1. エンジンスイッチノブを押す。
▶ エンジンスイッチのロックが解除されると、「ピッ」とブザーが鳴ります。
2. エンジンスイッチを、ゆっくりとIIIの位置まで回す。

始動方法

知識

エンジン始動の機能が作動する範囲は、インストルメントパネル上、カーゴスペースやグローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れを除く車内です。



Hondaスマートキーが車外にあっても、ドアやドアガラスに近づきすぎていると、エンジンの始動ができることがあります。

エンジンスイッチが0からIに回らないときは、ハンドルロックを解除します。

ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチノブを押してください。ハンドルロックが解除され、エンジンスイッチノブが回ります。

Hondaスマートキーが作動不良の場合は、内蔵キーを使って始動します。

内蔵キーの差し込みかた P.197

■ エンジン停止操作の方法

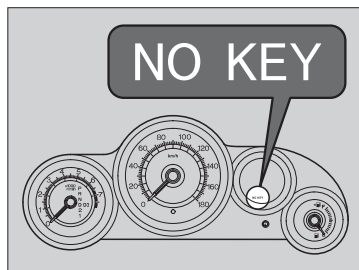
1. セレクトレバーを[P]に入れる。
2. エンジンスイッチノブを、ゆっくりと[0]まで回す。
▶ エンジンスイッチを[0]（プッシュオフ）にすると、ハンドルがロックされます。

■ エンジンスイッチ警告ブザー

次の状態で車を離れようとして運転席ドアを開けた場合、警告ブザーが鳴ります。

- エンジンスイッチが[I]のとき
- エンジンスイッチが[0]で、エンジンスイッチノブを押し込んでいるとき

■ Honda スマートキー持ち去り警告



警告ブザーには、車内警告ブザー（ピーッピーッ）と車外警告ブザー（ピピピピピピ）の2種類があります。

警告状態が続くときは、Honda スマートキーの携帯位置を変更してください。

■ エンジンスイッチが[II]のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、メーター内に警告を表示するとともに、車内警告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。

■ エンジンスイッチが[I]または[0]（プッシュオン）のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、車外警告ブザーが鳴ります。

▶ エンジン停止操作の方法

車から離れるときは、エンジンスイッチを[0]にしてください。

知識

エンジンスイッチが[0]以外では、Honda スマートキーで施錠できません。

▶ Honda スマートキー持ち去り警告

エンジン始動の作動範囲内にHonda スマートキーを戻してドアを閉めると、警告が解除されます。

知識

Honda スマートキーを、インストルメントパネル、グローブボックスなどに置いた場合、電波状態により警告ブザーが鳴ることがあります。

Honda スマートキーを持ち出した状態で、エンジンスイッチを[0]にすると、エンジンスイッチの操作ができなくなります。

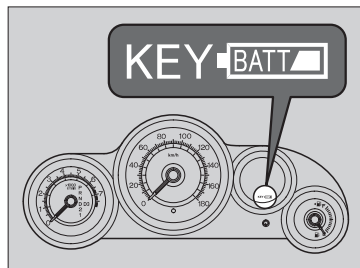
エンジンスイッチを操作するときは、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

窓からの受け渡しでは、Honda スマートキー持ち去り警告は作動しません。

Honda スマートキーがエンジン始動の作動範囲内にあっても、周囲の環境や電波状態によりHonda スマートキー持ち去り警告が行われることがあります。

故障ではありませんので、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

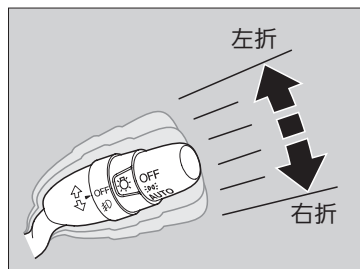
■ Honda スマートキー電池消耗警告



電池残量が少なくなったときに、警告音を鳴らし、メーター内に警告を表示します。
早めに電池交換を行ってください。

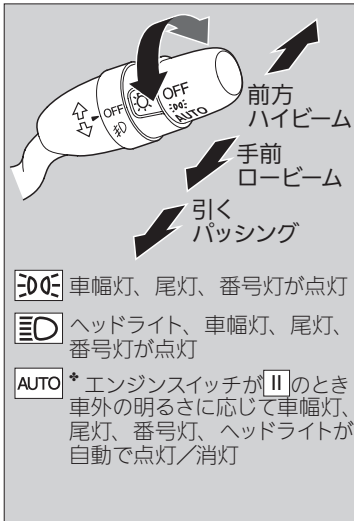
🔧電池交換のしかた P.180

方向指示器（ウィンカースイッチ）



エンジンスイッチがⅡのときに使用できます。

ライトスイッチ



スイッチを回すとエンジンスイッチの位置に関係なく、点灯・消灯します。

■ハイビーム

「カチッ」と音がするまでレバーを前方に押しします。

■ロービーム

ハイビームのときは、レバーを手前に引きます。

■追越合図 (パッシング)

レバーを手前に引き、離します。

※ライトスイッチ

ライトを点灯したままキーを抜く/プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

表示灯 P.56

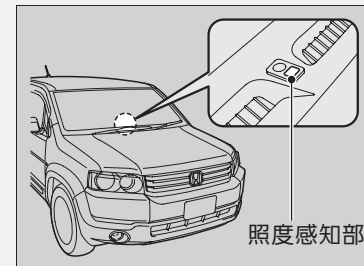
知識

ディスチャージヘッドライト*の電球は、点灯、消灯を繰り返すと電球の寿命が短くなる特性があります。

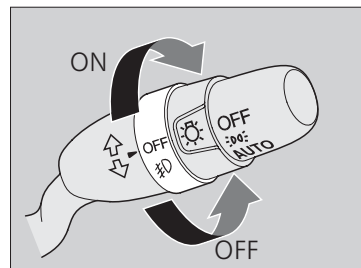
エンジンが止まっているときにライト類を点灯したままにしていると、バッテリーあがりの原因となります。

オートライトコントロール装備車

照度感知部は、図の位置にあります。感知部の上にものを置かないでください。



フォグライトスイッチ*



ライトスイッチが OFF 以外のとき (AUTO のときは、車幅灯が点灯しているとき) に、フォグライトスイッチを回して点灯することができます。

※ フォグライトスイッチ

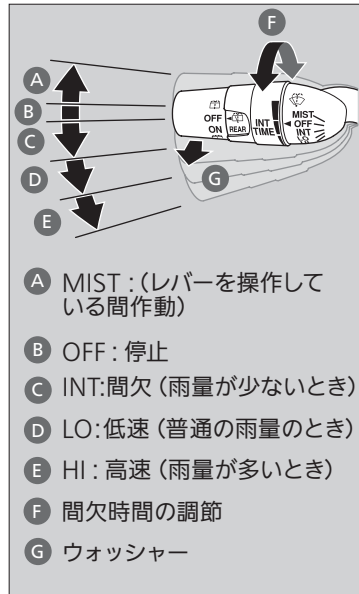
フォグライトが点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

■表示灯 P.56

ワイパー / ウォッシャー

エンジンスイッチがIIのときに使用できます。

■ フロントワイパー / ウォッシャー



■ MIST

レバーを押し上げている間、作動します。
霧や小雨のときに使用します。

■ ワイパースイッチ (OFF、INT、LO、HI)

■ 間欠時間の調節*

リングを回して、ワイパーの間欠時間を調節します。



間欠間隔が長い

間欠間隔が短い

■ ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

※ ワイパー/ウォッシャー

■ 間欠時間調節ワイパー装備車

間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より数秒短くなります。また、発進時にワイパーが1回作動します。

間欠時間を短いほうにいっぱい回している状態で車速が速くなると、ワイパーが間欠から低速作動に切り換わります。

⚠ 注意

寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射させない。

ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ アドバイス

ワイパーを乾拭きさせないでください。

ガラスが傷付いたりブレードラバーを傷めたりします。

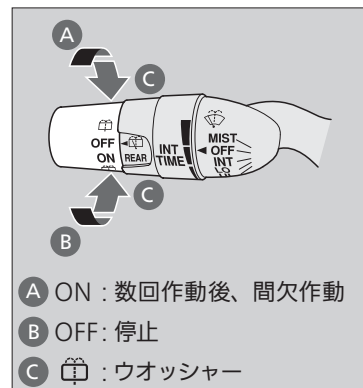
ウォッシャー液が出ないときは、スイッチを切ってください。

ポンプ故障の原因となります。

寒冷時、凍結によりワイパーブレードがガラスに張りつくことがあります。

ワイパー故障の原因となりますので、デフロスターやフロントガラス熱線*でフロントガラスを暖めてから、ワイパーを作動させてください。

■ リヤワイパー / ウォッシャー *



■ リヤワイパースイッチ

エンジンスイッチがⅡのときに使用できます。

■ ウォッシャースイッチ

スイッチを  まで回すと、ウォッシャー液が噴射します。

スイッチを回している間はワイパーが作動し、スイッチを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

■ リバース連動モード

フロントワイパー作動中にセレクトレバーを **R** に入れるとリヤワイパーが作動します。

フロントワイパーのレバー位置と作動モード	リヤワイパーの作動モード
INT (間欠)	間欠作動
LO (低速)	連続作動
HI (高速)	

※ リヤワイパー / ウォッシャー

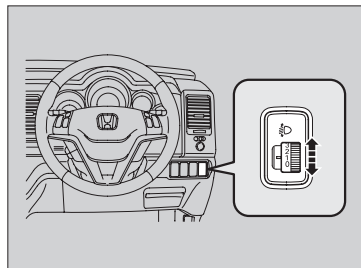
知識

ワイパー作動中に雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してください。ワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチを **I** または **0** にしてから、ワイパーが作動できるように障害物を取り除いてください。

ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。

ワイパーモーターの負荷が大きい状態が続いたときなどは、ブレーカーが作動し一時的にワイパーが停止することがあります。数分経過すると、ブレーカーが復帰し、通常通り使用できるようになります。

ヘッドライトレベリングダイヤル*



エンジンスイッチがⅡのとき、ヘッドライトの照らす方向（光軸）を下向きに調節することができます。

ダイヤルの数字が大きいほど光軸は下向きになります。

■ダイヤル位置の目安

乗員の人数や荷物の量に応じて、下表を目安にダイヤル位置を選択してください。

乗員やカーゴスペースの積載状況	ダイヤル位置
運転席のみ乗車時	0
運転席と助手席に乗車時	
運転席、助手席とサードシート（2 座席）に乗車時 7 名乗車時	1
7 名乗車時でカーゴスペース満載時	2
運転席のみ乗車でカーゴスペース満載時	3

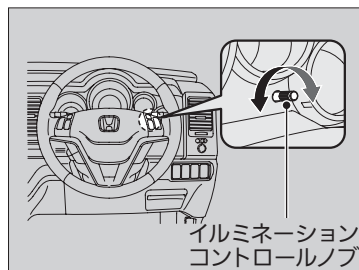
※ヘッドライトレベリングダイヤル

車検などで光軸調節をするときは、ダイヤルを 0 の位置に戻してから行ってください。

ディスチャージヘッドライト装備車

重い荷物の積載時など、車両の姿勢の変化に応じてヘッドライト光軸の上下方向を自動的に調整するオートレベリング機能が付いています。ヘッドライト光軸の異常を感じたときはHonda 販売店で点検を受けてください。

イルミネーションコントロール



インストルメントパネル照明の明るさを、車幅灯点灯時に調節することができます。

明るくする: ノブを右に回す

暗くする: ノブを左に回す

明るさが最大 / 最小になると電子音が鳴ります。

また、明るさの調節後、数秒経過するとディスプレイが元の表示に戻ります。

■明るさ調節表示

イルミネーションコントロールノブを回すとディスプレイが明るさ調節表示に切り換わります。

 が右に増えていくほど、インストルメントパネル照明が明るくなります。



☒ イルミネーションコントロール

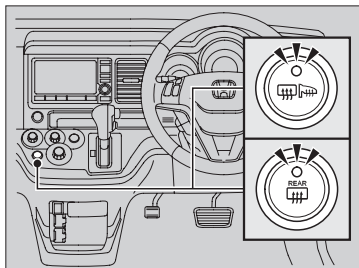
ヘッドライトが点灯しているときと消灯しているときでは、インストルメントパネル照明の明るさは異なります。

ライトスイッチを  または  にすると、まぶしさを軽減するためにインストルメントパネル照明が暗くなります。

知識

- 明るさ調節中にノブを押すと、ディスプレイは元の表示になります。
- 車幅灯点灯時に  が全て表示されるまでノブを右に回すと、「ピッ」という音がして車幅灯点灯時の減光が解除されます。

リヤデフロスタースイッチ

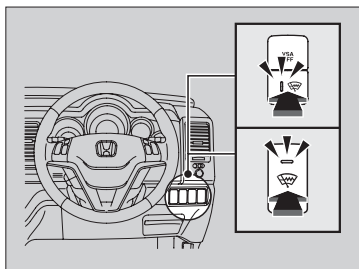


エンジンスイッチがⅡのときに、リヤガラスを暖め、曇りをとりたいときに使用します。

スイッチを押すとリヤデフロスターが ON になります。

外気温に応じて約 3 ～ 30 分経過すると、リヤデフロスターは自動的に停止します。ただし、外気温が 0℃ 以下のときは自動的に停止しません。

フロントガラス熱線スイッチ*



エンジンスイッチがⅡのときに、フロントガラスの下端を暖め、雪の固着や凍結によるワイパーブレードラバーの損傷を防ぐことができます。

スイッチを押すと、フロントガラス熱線が ON になります。

約 15 分経過後、自動的に停止します。

※ リヤデフロスタースイッチ

知識

リヤガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷付けられないよう注意してください。

必ず、デフロスターの電熱線とアンテナ線に沿って左右方向に拭いてください。

この装置は消費電力が大きいので、曇りが取れたら OFF にしてください。

また、エンジンの回転数が低いときに長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

※ フロントガラス熱線スイッチ

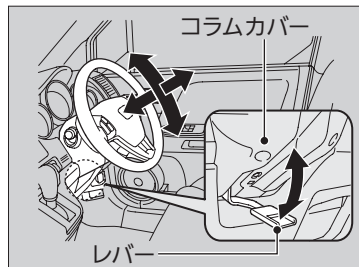
知識

この装置は消費電力が大きいので、長時間使わないでください。

また、エンジンの回転数が低いときに長時間使用するとバッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

ハンドルの調節

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドルの位置を調節することができます。



1. ハンドル位置調節レバーを押し下げる。
▶ ハンドル位置調節レバーは、コラムカバーの下にあります。
2. ハンドルの高さや前後位置を調節する。
▶ 調節した位置で、メーターや表示灯が見えることを確認してください。
3. ハンドル位置調節レバーを引き上げ、ハンドルを固定する。

☒ ハンドルの調節

⚠ 注意

走行中にハンドル位置を調節しない。

走行中に調節すると、ハンドル位置が動き、正確なハンドル操作ができないことがあります。衝突して重大な傷害を負うおそれがあります。ハンドルの調節は、必ず停車中に行ってください。

位置調節後、ハンドルに上下前後方向の力を加え、ハンドルがしっかり固定されていることを確認してください。

ミラー類の調節

ルームミラー

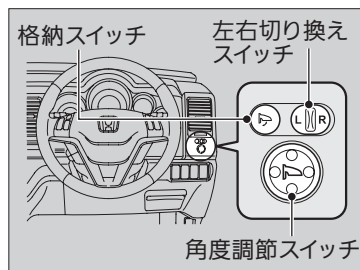


ルームミラーの角度は、正しい運転姿勢ですわった位置でミラーを調節してください。

■防眩式ルームミラー

ルームミラーは夜間走行時、後続車のヘッドライトの反射を弱くするための切り換えができます。

ドアミラー



エンジンスイッチが $\boxed{\text{II}}$ のときに、ドアミラーの操作を行うことができます。

■角度調節

左右切り換えスイッチ: 右か左を選択するスイッチです。角度調節後、中央の位置に戻します。

角度調節スイッチ: 上下左右に鏡面を動かすスイッチです。

■格納

格納スイッチを押すごとに ON と OFF が切り換わります。

	格納スイッチ の状態	ミラーの 状態
ON		
OFF		

▶ ミラー類の調節

知識

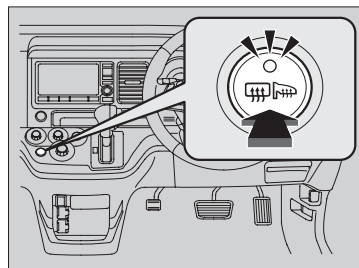
ミラー類の調節は走行前に行ってください。

▶ ドアミラー

鏡面は、手で調節することもできます。
直接鏡面を動かして、調節します。

エンジンスイッチが $\boxed{0}$ または $\boxed{\text{I}}$ のときは、手動で格納、開放をすることもできます。

■ ヒーテッドドアミラー*



エンジンスイッチがⅡのときに使用できます。スイッチを押すとドアミラーが暖められ曇りが取れます。

■ アクアクリーンミラー*

雨天時の視認性向上のため、ミラー表面に付着した雨滴を膜のように広げる親水効果を持つコーティングを施しています。

■ 親水効果の回復

ミラー表面に汚れなどが付着して親水効果が低くなったときは、以下の手順を行うことにより効果が回復します。

1. ミラー表面を水洗いし、汚れを落とす。
2. 水を含ませたきれいな布で拭き取る。
 - ▶ 汚れが落ちない場合は純正ガラスクリーナーや家庭用中性洗剤を使用して洗浄後、十分な水で洗い流してください。
3. 5 ～ 9 時間ほどミラー表面に太陽光を当てる。

※ ヒーテッドドアミラー

ヒーテッドドアミラーはリヤガラスの曇り取りと同時に作動します。

※ リヤデフロスター P.93

エンジンの回転が低いときに長時間使わないでください。

この装置は消費電力が大きいため、エンジンの回転が低い状態で長時間使用するとバッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

※ アクアクリーンミラー

アドバイス

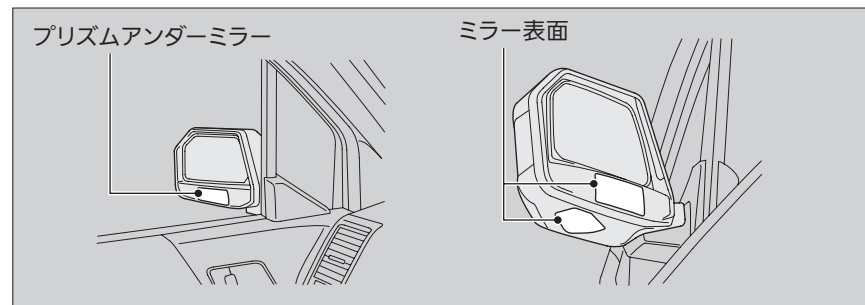
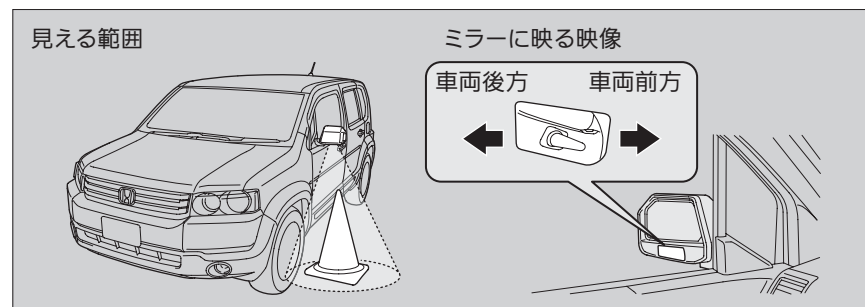
ミラーの親水効果が失われますので、以下の点にご注意ください。

- ミラー表面に撥水剤やワックスを付着させない
- 砂の付いた布や油膜取り剤(コンパウンドなど)でミラー表面をこすらない

■ プリズムアンダーミラー

助手席側ドアミラーの下部に付いています。

駐停車時や発進前などに助手席側を確認するときに役立ちます。



▶▶ プリズムアンダーミラー

知識

- 車両後方の確認は直接確認するか、ルームミラーやドアミラーなどで十分に行ってください。
- プリズムアンダーミラーの角度調節はできません。
- 汚れや水滴を拭き取るときは、きれいな布で拭き取ってください。
- 水洗いでミラーの汚れが落ちない場合は、家庭用中性洗剤を使って柔らかい布でミラー表面を拭き取ってください。
- 誤ってワックスを塗布してしまった場合は、家庭用中性洗剤を使って柔らかい布でミラー表面を拭き取ってください。

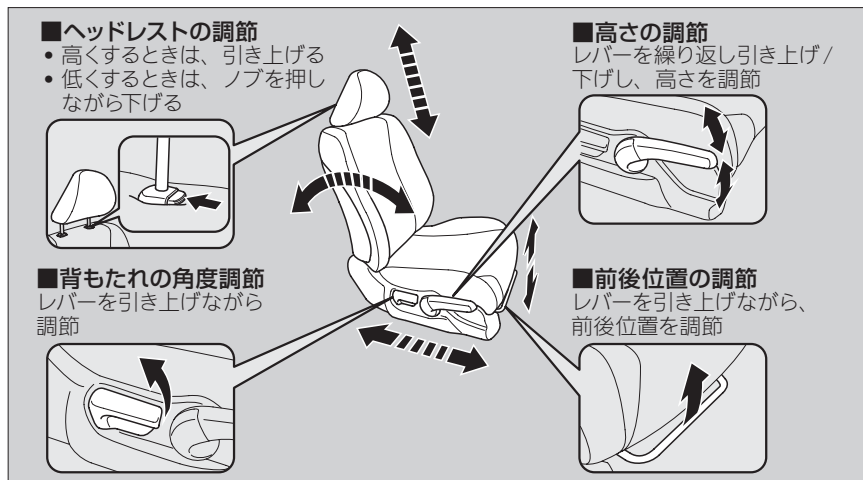
シートの調節

フロントシート

運転者は、正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドル操作が楽にできる姿勢をいいます。

■ フロントシート / ヘッドレストの動かし方



※ フロントシート/ヘッドレストの動かし方

知識

フロントシートは、エアバッグからなるべく離れた位置に調節してください。

同乗者もシートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

⚠ 注意

走行中にシートの調節はしない。

走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

フロントシートの下に物を置かない。

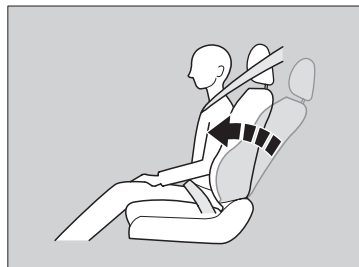
物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ フロントシートの調節



■ シート位置の調節

運転者とハンドルとの間に十分な距離をとれるように、シートをできるだけ後ろに下げます。助手席の同乗者のシートも同様に、ダッシュボードのSRSエアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げます。シートの位置を調節したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。



■ 背もたれ角度の調節

シートに深く腰かけ、楽な姿勢ですわれるように背もたれを起こし調節します。助手席の同乗者のシートも同様に、楽な姿勢ですわれるように背もたれ角度を調節します。

※ フロントシートの調節

⚠ 警告

SRS エアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げる。

ハンドルやダッシュボードに近づきすぎると、フロントエアバッグが膨らむ際に重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

背もたれを必要以上に倒さない。

背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

⚠ 注意

背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。

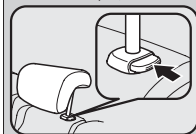
正しい運転姿勢がとれません。また、シートベルトなどの効果が十分に発揮されません。

セカンドシート

■ セカンドシート / ヘッドレストの動かしかた

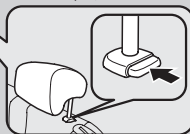
■ ヘッドレストの位置変更

- 高くするときは、引き上げる
- 低くするときは、ノブを押しながら下げる



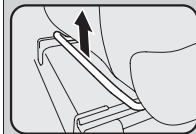
■ ヘッドレストの調節

- 高くするときは、引き上げる
- 低くするときは、ノブを押しながら下げる



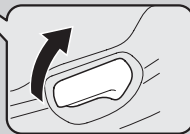
■ 前後位置の調節

- レバーを引き上げながら、前後位置を調節



■ 背もたれの角度調節

- レバーを引き上げながら調節



☒ セカンドシート

⚠ 警告

背もたれを必要以上に倒さない。

背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

⚠ 注意

走行中にシートの調節はしない。

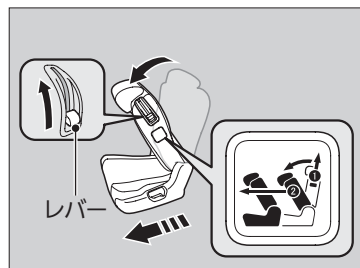
走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

セカンドシートの下に物を置かない。

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ サードシートへの乗り降り

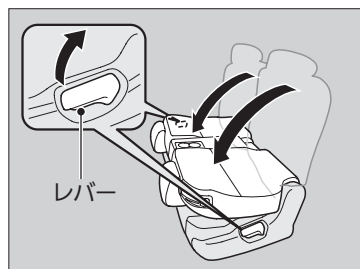


左右どちらからでも乗り降りできます。

1. 背もたれ横にあるレバーを引き上げて、背もたれを前に倒す。
2. そのままシートを前に押して移動させる。

シートを元に戻したら、シートを前後にゆすり、固定されていることを確認します。

■ 背もたれの倒しかた



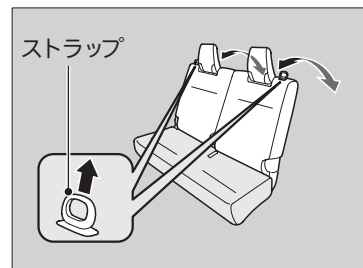
背もたれは、左右別々に倒すことができます。ヘッドレストがフロントシートに当たるときは、シートの位置を調節してください。

1. 背もたれ調節レバーを引いて、背もたれを前に倒す。

シートを元に戻したら、シートを前後にゆすり、固定されていることを確認します。

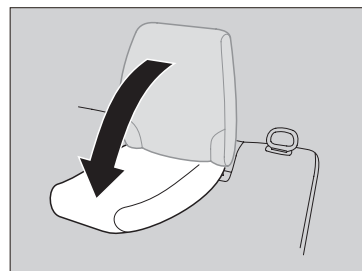
サードシート

■ 背もたれの調節



背もたれは、左右別々に倒すことができます。ストラップを引いて、背もたれの角度を調節します。

■ 背もたれの倒しかた



■ 倒しかた

1. ヘッドレストを前方に倒す。

※ サードシート

⚠ 警告

背もたれを必要以上に倒さない。

背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

ヘッドレストを外した状態、または倒した状態で走行しない。

衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

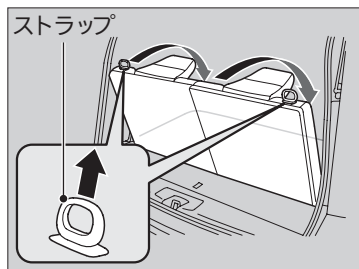
ヘッドレストを固定できる高さを超えて使用しない。

走行前に必ず正しい位置に調節してください。

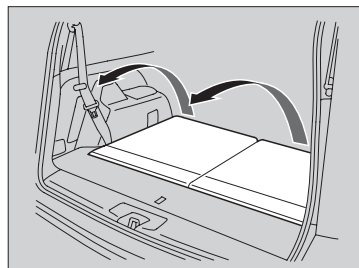
⚠ 注意

走行中にシートの調節はしない。

走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。



2. 背もたれのストラップを引き、前方に倒す。



■戻しかた

1. 背もたれを起こす。

シートを元に戻したら、シートを前後にゆすり、固定されていることを確認します。

2. ヘッドレストを元に戻す。

※背もたれの倒しかた

⚠ 注意

エンジンをかけた状態でシートを操作するときは、排気管の後方に立たない。
やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

ヘッドレスト

■ フロントシート、セカンドシート（左右）ヘッドレストの調節

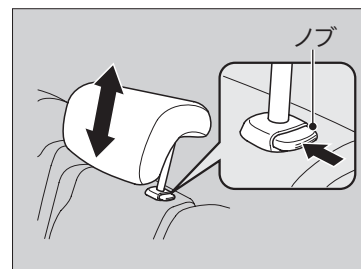


後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調整します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。

低くするとき：ノブを押しながら下げます。

■ セカンドシート（中央）* の位置変更



乗車するときは、走行する前にヘッドレストを引き上げて、確実に固定します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。

低くするとき：ノブを押しながら下げます。

⌘ ヘッドレスト

⚠ 警告

ヘッドレストは必ず正しい位置に調節する。

ヘッドレストの高さが適切でないと、ヘッドレストの効果が低くなり、衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

ヘッドレストを外した状態で走行しない。

衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⌘ セカンドシート(中央)の位置変更

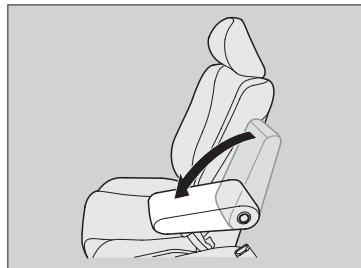
⚠ 警告

ヘッドレストを下げた状態で走行しない。

衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

アームレスト

■ フロントシートアームレストの操作*



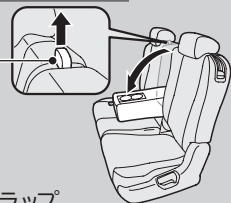
前に倒して使います。

■ セカンドシートアームレストの操作

ストラップ非装備車



ストラップ装備車



ストラップ

前に倒して使います。

ストラップ装備車は、ストラップを引いて前に倒して使います。

※ アームレスト

⚠ 注意

シートベルト着用時にアームレストに引っかけない。

万一のときにシートベルトの機能が発揮できないことがあります。

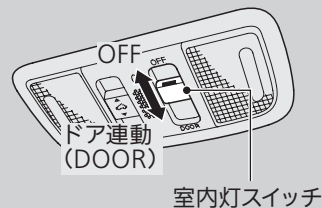
室内灯

室内灯スイッチ

サンルーフ非装備車



サンルーフ装備車



■ ON (サンルーフ非装備車)

ドアの開閉に関係なく室内灯を点灯。

■ ドア連動

以下のときに室内灯を点灯。

- いずれかのドアを開けたとき
- キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーで運転席ドアを解錠したとき
- エンジンスイッチからキーを抜いたとき
- Honda スマートキー装備車は、エンジンスイッチを **0** (プッシュオフ) にしたとき

■ OFF

ドアの開閉に関係なく室内灯を消灯。

室内灯

ドア連動で室内灯が点灯している場合は、ドアを閉めると約30秒後に減光しながら消灯します。

以下の場合も30秒後に消灯します。

- 運転席ドアを解錠してドアを開けなかったとき
- キーを抜いてドアを開けなかったとき
- Honda スマートキー装備車はエンジンスイッチを **0** (プッシュオフ) にしてドアを開けなかったとき

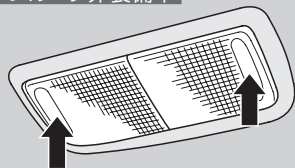
また、以下の操作を行うと室内灯はすぐに消灯します。

- 運転席のドアを施錠したとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたとき
- Honda スマートキーを使っているときは、エンジンスイッチが **0** (プッシュオフ) 以外の状態でドアを閉めたとき
- エンジンスイッチを **II** にしたとき

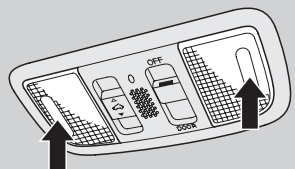
キーが差し込まれていない状態、Honda スマートキー装備車の場合はエンジンスイッチが **0** (プッシュオフ) のときにいずれかのドアを開けたままにすると、約3分後に消灯します。

■ マップランプ

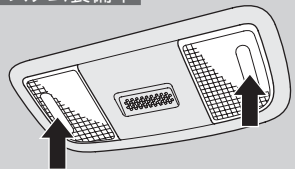
Honda インターナビシステム /
サンルーフ非装備車



サンルーフ装備車



Honda インターナビ
システム装備車



夜間、車を停めて地図を見るときなどに使用するライトです。

レンズを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

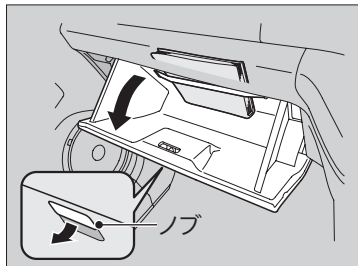
▶ マップランプ

知識

サンルーフ装備車は、室内灯スイッチがドア連動のときで、ドアが開いているときはレンズを押しても消灯できません。

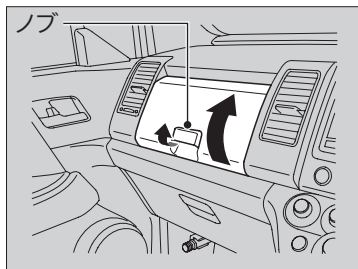
室内装備品

■ グローブボックス



ノブを引くと開きます。
内側に固定バンドがあります。

■ 助手席アッパーボックス



ノブを引き上げると開きます。

☒ グローブボックス

⚠ 警告

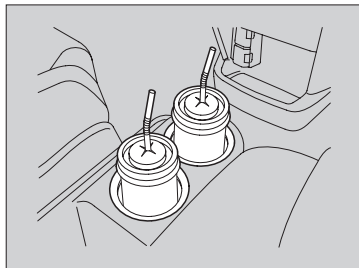
走行中は必ずグローブボックスを閉める。
グローブボックスが開いていると、衝突したときに同乗者が重大な傷害を負うおそれがあります。

☒ 助手席アッパーボックス

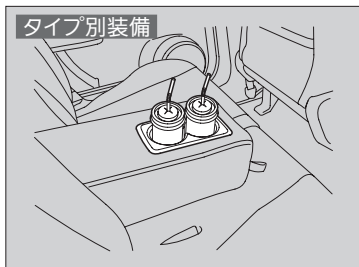
⚠ 警告

走行中は必ず助手席アッパーボックスを閉める。
助手席アッパーボックスが開いていると、衝突したときに同乗者が重大な傷害を負うおそれがあります。

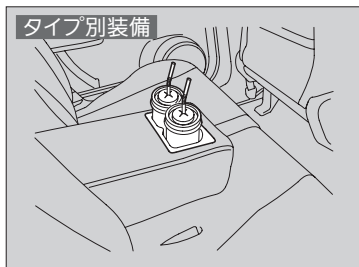
■ カップホルダー



■フロントシート用カップホルダー



■セカンドシート用カップホルダー
アームレストを前に倒して使います。



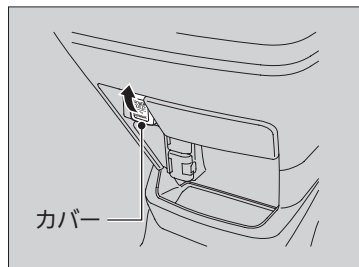
※ カップホルダー

⚠ 注意

飲み物などを電装品にこぼさないように注意する。

スイッチなどの電装品に飲み物がかかると故障の原因となったり車両火災につながったりするおそれがあります。

■ アクセサリーソケット



アクセサリーソケットは、エンジンスイッチが

ⅠまたはⅡのときに使用できます。

カバーを開けて使います。

※ アクセサリーソケット

Honda純正の電気製品の電源を取り出すのに使用します。

消費電力120W (10A) 以下のアクセサリに、直流12Vの電源を供給します。

アドバイス

Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。

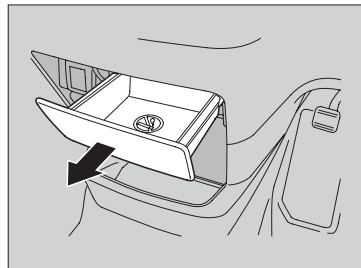
バッテリーあがりやアクセサリーソケットの破損の原因となります。

シガレットライターは差し込まないでください。
発熱するおそれがあります。

知識

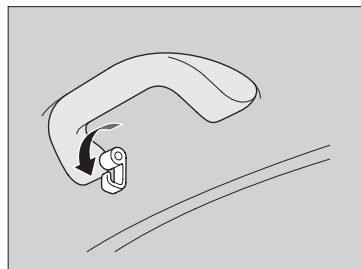
バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。

■ ユーティリティボックス



引き出して使います。

■ コートフック



セカンドシート右側のグラブレールに付いています。
回転させて使います。

※ ユーティリティボックス

⚠ 注意

灰皿として使用しない。

灰皿として使用すると、タバコなどの火により、車両火災につながるおそれがあります。

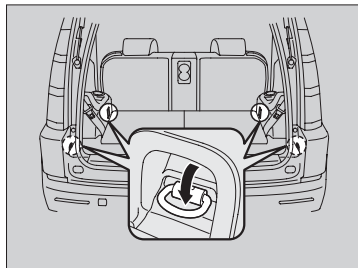
※ コートフック

⚠ 注意

グラブレールにもものをかけたり、コートフックに重いものやとがったものをかけたりしない。

サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりしてけがをするおそれがあります。

■ カーゴフック



荷物を固定するときに使います。

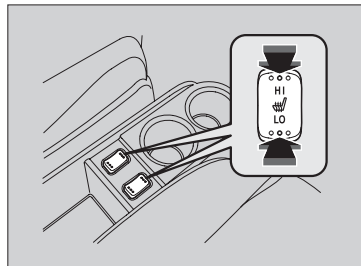
※ カーゴフック

⚠ 注意

走行中は荷物の出し入れはしない。

急ブレーキなどのときに思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ シートヒーター*



エンジンスイッチがⅡのときに使用できます。
運転席、助手席のシートを暖めることができます。

スイッチの HI 側か LO 側を押します。作動中、
押ししている側の表示灯が点灯します。

※ シートヒーター

⚠ 注意

低温やけどに注意する。

次のようなかたは、低温やけどに十分注意してください。

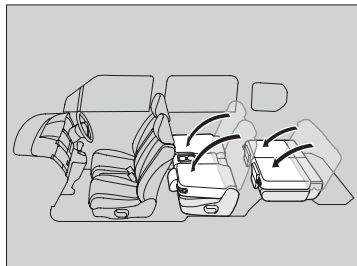
- 乳幼児、お年寄り、体の不自由なかた
- 皮膚の弱いのかた
- 疲労の激しいかた

また、毛布などの保温性の高いものをかけて使用すると低温やけどをすることがあります。

アドバイス

この装置は消費電力が大きいので、エンジンが停止しているときは長時間使わないでください。
バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

■ アッパーボード*



サードシートの背もたれにあるアッパーボードを回転させると、セカンドシートとサードシートのすき間をふさぐことができます。

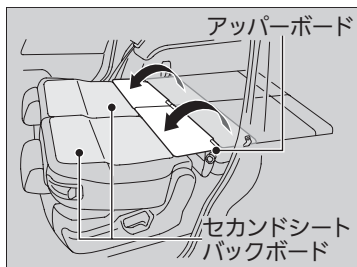
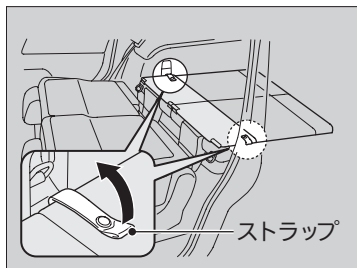
1. セカンドシートの背もたれを倒す。

☞背もたれの倒しかた P.101

2. サードシートの背もたれを倒す。

☞背もたれの倒しかた P.102

3. ストラップを外す。



4. アッパーボードを回転させ、セカンドシートバックボードの上に載せる。

☒ アッパーボード

アドバイス

アッパーボードは必要に応じて片側ずつ独立して回転させることができます。

⚠ 注意

折りたたんだ背もたれやアッパーボードの上、およびカーゴスペースには人を乗せて走行しない。

ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

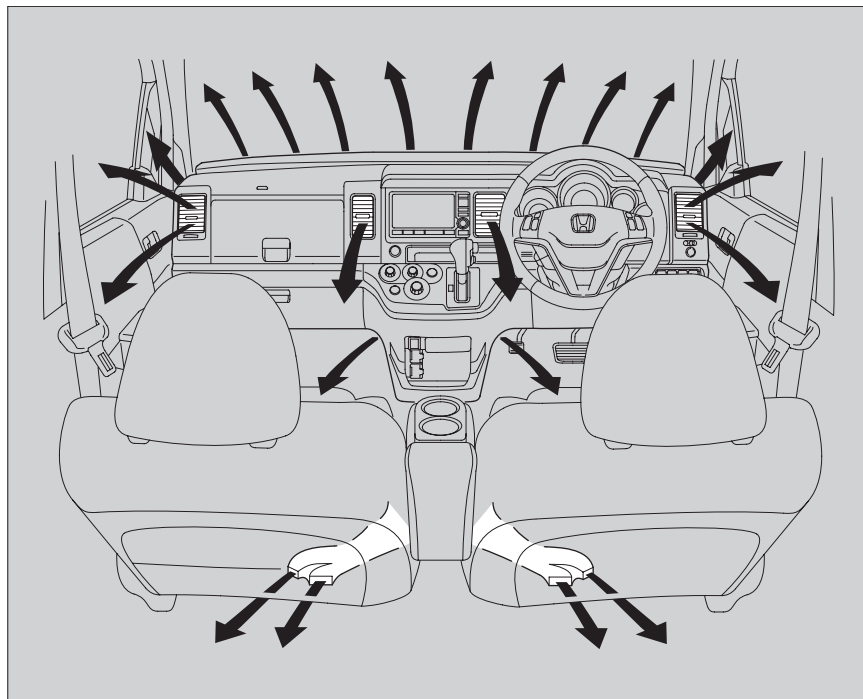
アドバイス

アッパーボードがバックボードから外れないようにシートの位置を調節してください。

アッパーボードがセカンドシートのバックボードの上に確実に載っていないと、アッパーボードが破損するおそれがあります。

エアコン

エアコンの吹き出し口



エアクリーンフィルター

エアクリーンフィルターには、下記のタイプがあります。

■ 高性能脱臭タイプ*

エアコンには、空気中の花粉・ちり・ほこり・粉じんなどを集じんし、ディーゼル排気ガス臭、タバコ臭などに脱臭効果があります。

■ アレルフリータイプ*

エアコンには、空気中の花粉、粉じんを集じんし、アレルゲンを処理、排気ガス臭も低減します。

■ エアクリーンフィルターの交換時期

エアクリーンフィルターは、通常 1 年または 15,000km ごとに交換してください。粉じんなどの多い場所で使用される場合は、早めの交換をおすすめします。

■ エアクリーンフィルターの交換 P.120

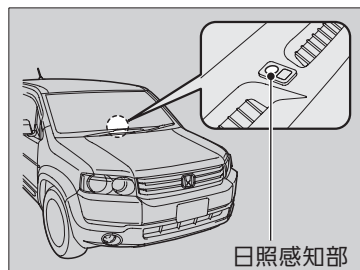
■ エアクリーンフィルター

エアクリーンフィルターの交換時期は、グローブボックスの内側に記載されています。

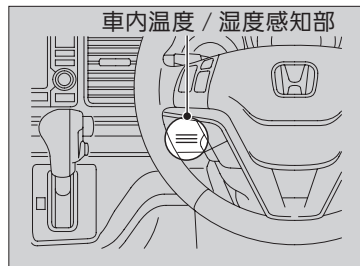
芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなり、脱臭寿命が短くなることがあります。

エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときは、フィルターの目詰まりが考えられます。フィルターを交換してください。

オートエアコンのセンサー



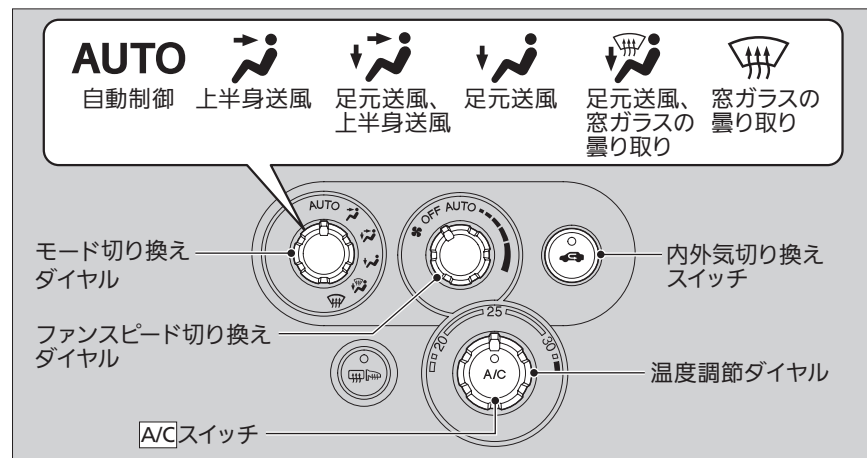
日照感知部



車内温度 / 湿度感知部

オートエアコンには、センサー (日照感知部、車内温度 / 湿度感知部) が付いています。センサーの上にものを置いたり、水をかけたりしないでください。

オートエアコンの使いかた



エンジンをかけた状態で使用します。

1. ファンスピード切り換えダイヤルを **AUTO** にする。
2. 吹き出し口切り換えダイヤルを **AUTO** にする。
3. 温度調節ダイヤルで室内の温度を調節する。
4. 冷房や除湿暖房をするときは、**A/C**を押す。
5. 停止するときはファンスピード切り換えダイヤルを **OFF** にする。

■内気 / 外気の切り換え

状況に合わせて  を押して、内気 / 外気を切り換えます。

- 内気 (表示灯点灯) : トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合
- 外気 (表示灯消灯) : 換気を行う場合

※オートエアコンの使いかた

外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、**AUTO**にしてもすぐにファンが回転しないことがあります。

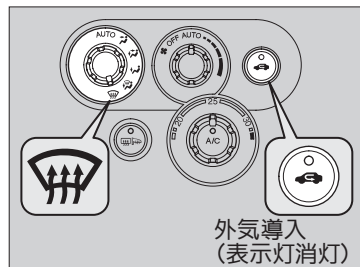
希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに操作しないでください。

設定温度への到達時間が長くなることがあります。

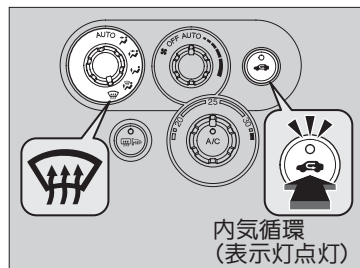
長時間、冷風を体に当てないでください。
冷やしすぎは、健康上良くありません。

炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

■ 前面・側面ガラスの曇り止め（デフロスター）の使いかた



■ 急速に霜を取りたいとき



1. ファンスピード切り換えダイヤルを **AUTO** にする。
2. 吹き出し口切り換えダイヤルを  にする。
▶ 自動的に外気導入に切り換わります。

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを  にする。
2.  を押す。

※ 前面・側面ガラスの曇り止め（デフロスター）の使いかた

設定温度を最大冷房付近にしないでください。
冷風が前面ガラスに当たると、ガラスの外側が曇ることがあります。

側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風が側面ガラスに当たるよう、側面吹き出し口を調節してください。

※ 急速に霜を取りたいとき

霜が取れたら、ただちに外気導入に切り換えてください。

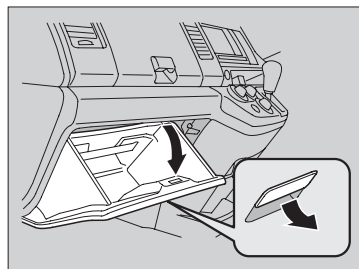
内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

エアコンのお手入れ

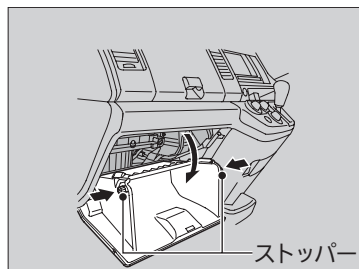
■ エアコンを常用しないとき

装置各部のオイルを切らさないため、ときどきエンジンを低回転させた状態で、数分間冷房または除湿暖房を行ってください。

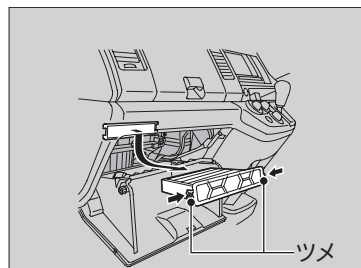
■ エアクリーンフィルターの交換



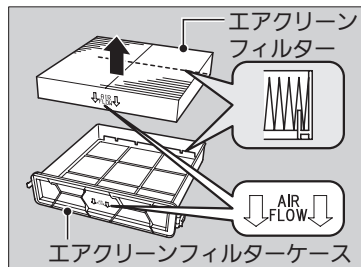
1. グローブボックスを開ける。



2. グローブボックスの両側に付いているストッパーを内側に押し込み、グローブボックスを下ろす。

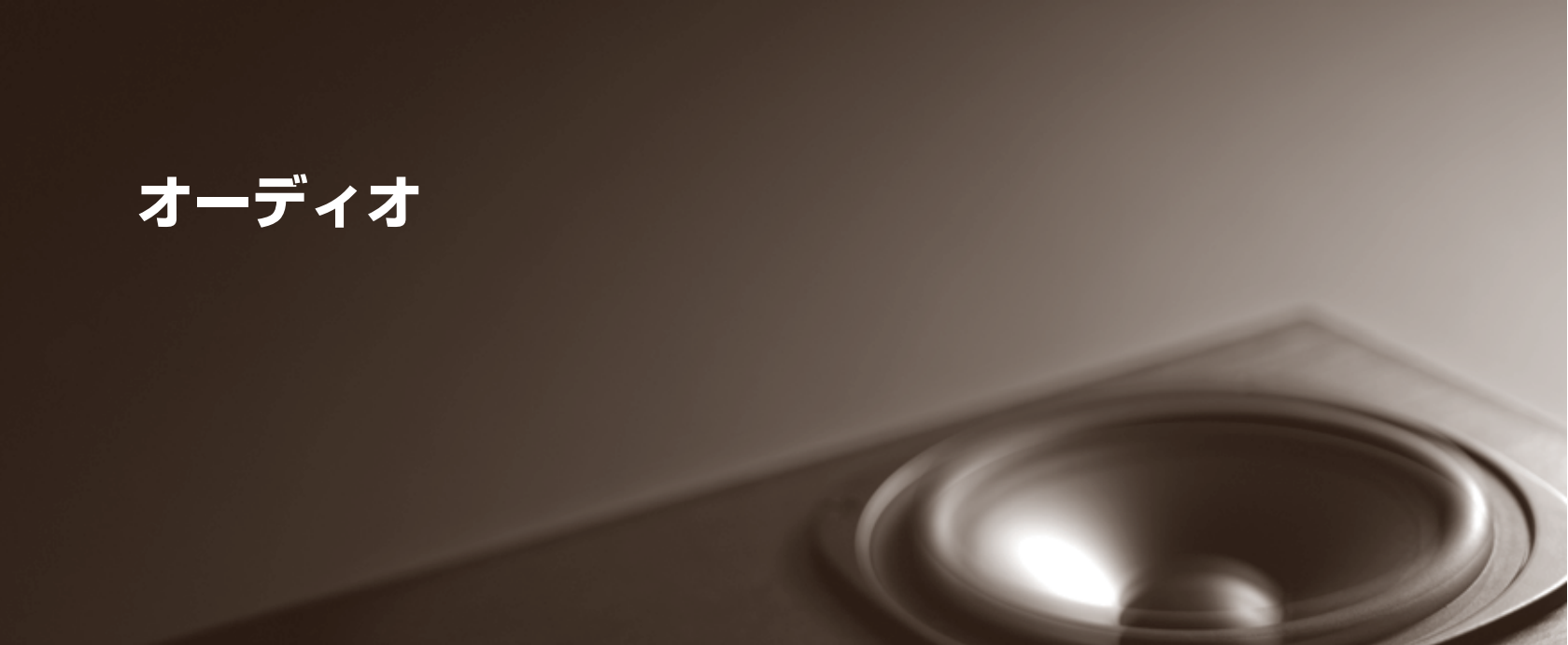


3. 左右にあるツメを押しながら、エアクリーンフィルターケースを引き出す。



4. エアクリーンフィルターケースからエアクリーンフィルターを取り出す。
5. ケースの外わくと仕切りの間に、フィルターの端を差し込むようにして交換する。
- ▶ 「AIR FLOW」マークの矢印が、同じ方向（下向き）になるように取り付けます。

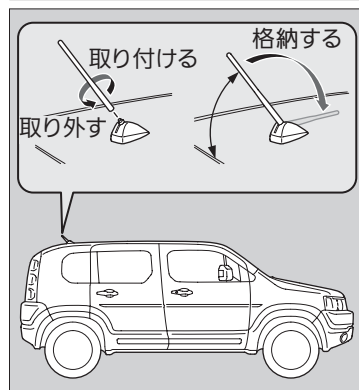
オーディオ



オーディオ装置	123
オーディオリモートコントロール	
スイッチ	124
リヤカメラシステム	
表示変更・調整の方法	126
カメラ画像について	128

オーディオ・テレビ・DVD の取り扱いについては、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

マイクロアンテナ



マイクロアンテナは格納、取り外しができます。ラジオを聞くときは、節度感のあるところまで立ててください。

※ マイクロアンテナ

アドバイス

アンテナの破損を防ぐために、次のような場合は、アンテナを格納してください。

- 駐車場の天井などにアンテナが当たるとき
- ボディーカバーをかけるとき

自動洗車機を使用するときは、アンテナを取り外してください。

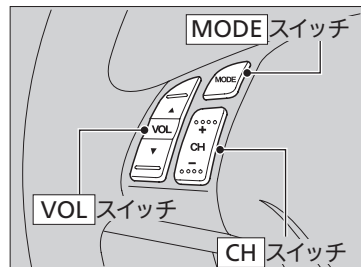
アンテナを格納した状態で自動洗車機を使用すると、アンテナが破損することがあります。また、取り外したアンテナは紛失しないようにしてください。

アンテナの角度を、節度感のあるところまで立ててください。

ラジオを正常に受信できないことがあります。

オーディオリモートコントロールスイッチ*

運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。



MODE スイッチ

スイッチを押すたびに、FM1 → FM2 → AM → CD/DVD → HDD サウンド コンテナ → TV1 → TV2 → ビデオ → FM1 の順に切り換わります。

VOL スイッチ

▲を押す：音量が大きくなります。

▼を押す：音量が小さくなります。

CH スイッチ

• ラジオを聞いているとき。テレビを見ているとき。

＋を押す：プリセットされている次の放送局を選局します。

－を押す：プリセットされている前の放送局を選局します。

• CD、HDD サウンドコンテナを聞いているとき

＋を押す：スキップ（次の曲の頭出し）します。

－を押す：リプレイ（再生中や前の曲の頭出し）します。

• DVD を見ているとき

＋を押す：スキップ（次のチャプターの頭出し）します。

－を押す：リプレイ（再生中や前のチャプターの頭出し）します。

※オーディオリモートコントロールスイッチ

ディスクが挿入されている場合、CD/DVDに切り換わります。

HDDサウンドコンテナ、DVDの詳細については、「Hondaインターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

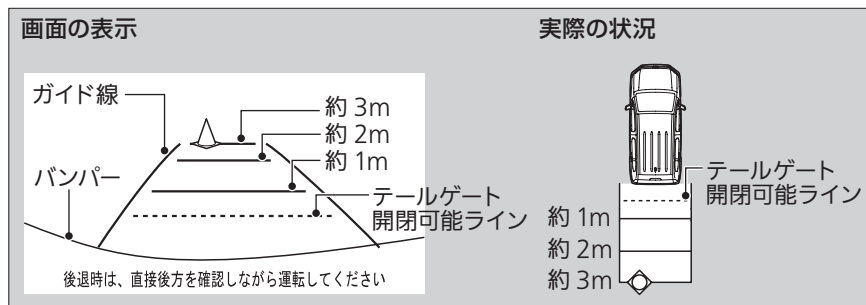
リヤカメラシステム*

リヤカメラシステムについて

リヤカメラシステムは、ナビゲーションシステムの液晶画面に、車両後方の映像を表示させるシステムです。

セレクトレバーを[R]に入れると自動的に画面が切り換わります。

ディスプレイに表示される映像の範囲



リヤカメラシステムのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に表示される映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

画面に表示される映像の範囲には限度があり、バンパーの両コーナー付近やバンパー下にあるものは表示されません。

リヤカメラシステムについて

⚠ 注意

後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転する。

画面を見るときは、必要最小限にする。

画面に表示される映像の範囲には限度があるため、画面だけを見て後退すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- リヤカメラシステムの映像は、ナビゲーション画面よりも優先して表示されます。
- エンジン始動直後は、セレクトレバーを[R]の位置に入れても、ナビゲーションシステムが起動するまでリヤカメラシステムのガイド線は表示されません。

表示変更・調整の方法

リヤカメラシステムは、以下の表示変更が行えます。

- **ガイド表示**：画面に表示されるガイド線の表示、非表示の切り替え
- **色調整**：画面の色合い、色の濃さの調整
- **画面調整**：画面の明るさ、コントラスト、黒の濃さの調整
- **表示 OFF**：画面の表示を消す

操作手順

操作 手順	ガイド表示	色調整	画面調整	表示 OFF
----------	-------	-----	------	--------

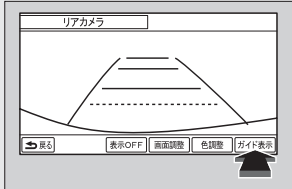
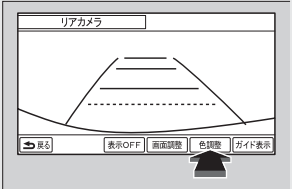
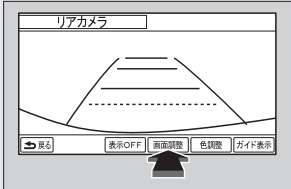
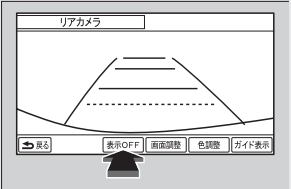
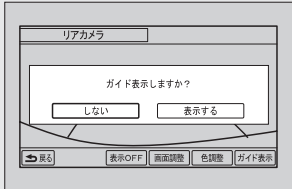
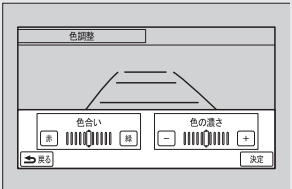
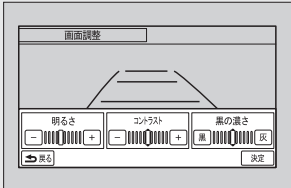
1. **共通操作** エンジン停止を確認する。
2. **共通操作** パーキングブレーキがかかっていることを確認する。
3. **共通操作** エンジンスイッチを **II** の位置まで回す。
4. **共通操作** セレクトレバーを **R** の位置に入れる。
5. **共通操作** 画面を押す。

The diagram illustrates the process of switching to the rear camera view. On the left, the main dashboard screen is shown with a '画面' (Screen) button at the bottom. An arrow points to the right, showing the rear camera screen. The rear camera screen has a title bar 'リアカメラ' and a button '表示OFF' at the bottom left. Below the title bar, there are buttons for '画面調整', '色調整', and 'ガイド表示'.

表示変更・調整の方法

安全のため、エンジンを停止した状態で操作してください。

パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

操作 手順	ガイド表示	色調整	画面調整	表示 OFF
6.	「ガイド表示」にタッチする。 	「色調整」にタッチする。 	「画面調整」にタッチする。 	「表示 OFF」にタッチする。 ▶ 画面の表示が消えます。 
7.	ガイド線を表示しないときは「しない」、表示するときは「表示する」にタッチする。 	色合い ：「赤」または「緑」にタッチする。 色の濃さ ：「－」または「＋」にタッチする。 	明るさ ：「－」または「＋」にタッチする。 コントラスト ：「－」または「＋」にタッチする。 黒の濃さ ：「黒」または「灰」にタッチする。 	—
8.	—	「決定」にタッチする。 ▶ 調整が完了し、元の画面に戻ります。	「決定」にタッチする。 ▶ 調整が完了し、元の画面に戻ります。	—

カメラ画像について

状態	考えられる原因	対処のしかた
カメラの画像が見えにくい	• 夜間や雨の日、および暗い場所 • カメラが高温になっている場合 • 太陽の光など強い光がカメラに直接差し込んでいる場合※1	気象条件などでカメラの画像が見にくいときは、目視やミラーで直接確認してください。
	• カメラのレンズに水滴や虫などが付いている場合 • カメラのレンズが汚れている場合	

※1 : 強い光がカメラに差し込んでいるときに、光源の周囲が白くぼやけるハレーション現象や、上下に光の筋ができるスミア現象が起きることがあります。

運転

この章では、運転操作、給油、アクセサリーなどについて記載しています。

運転の前に.....	130
運転操作	
エンジンの始動.....	132
走行時の注意点.....	135
オートマチックについて.....	136
シフト操作.....	137
VSA（ビークルスタビリティアシスト）.....	139
ブレーキ操作	
ブレーキシステム.....	141
ABS（アンチロックブレーキシステム）.....	143
CMBS（追突軽減ブレーキ）.....	144
駐停車操作.....	148

給油	
指定燃料について.....	150
給油のしかた.....	150
アクセサリーと改造.....	153

運転の準備

運転を始める前に下記の項目を確認してください。

■ 車外での確認項目

- 窓やミラーの視界、灯火器類の光をさえぎるものがないか？
 - ▶ 霜、雪、氷が付着している場合は取り除きます。
 - ▶ 屋根に雪が積もっている場合は、走行時に滑り落ちて視界をさえぎる可能性があるため取り除きます。
氷結しているときは、氷が溶けてから取り除いてください。
 - ▶ 足回りに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないよう注意しながら取り除きます。
- ボンネットは完全に閉まっているか？
 - ▶ 走行中にボンネットが開くと、視界がさえぎられて危険です。
- タイヤは正常か？
 - ▶ 空気圧、亀裂、損傷や異常な摩耗がないか確認します。
❏ **タイヤの点検と整備** P.174
- 車の周囲に子供はいないか？
車の周囲に障害物はないか？
 - ▶ 運転席から見えない死角や、バックミラーでは確認できない死角がありますので、乗車する前に確認します。

■ 車内での確認項目

- 積み込んだ荷物が適切に固定されているか？
 - ▶ 不適切な荷物の積み込みは、タイヤに負担をかけたり走行中のバランスを維持できず危険です。

❏ 車外での確認項目

アドバイス

ドアが凍結しているときは、無理にはがさずお湯をかけて溶かしてください。

無理にはがすと、ドアまわりのゴムがはがれます。お湯をかけた後は、凍結防止のため、水分をよく拭き取ってください。

ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。

凍結すると、キーが差し込めなくなります。

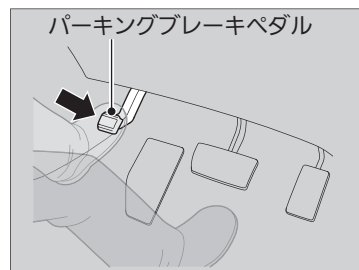
❏ 車内での確認項目

運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

運転者が運転中にハンズフリー以外の携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 荷物はシートの高さを越えていないか？
 - ▶ 後方視界を妨げたり急ブレーキのときに荷物が飛び出したりするおそれがあり危険です。
- フロントシートの足元に物を置いていないか？
フロアマットがペダルに引っかかっているか？
 - ▶ ブレーキやアクセルの操作が確実にできないおそれがあり危険です。
- 動物を乗せるときは、動きまわらないようにしているか？
 - ▶ 運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- シート位置などが適切に調節されているか？
 - ▶ 不適切なシート位置での走行は危険です。
☒ **シートの調節** P.98
- ルームミラー、ドアミラー、ハンドルは適切に調節したか？
 - ▶ 正しい運転姿勢ですわり、それぞれ適切な位置に調節します。
☒ **ミラー類の調節** P.95
☒ **ハンドルの調節** P.94
- すべての乗員がシートベルトを締めているか？
 - ▶ すべての乗員は必ずシートベルトを着用します。
☒ **シートベルトの着用** P.24
- ドア、テールゲートが確実に閉まっているか？
 - ▶ 走行前にすべてのドア、テールゲートが確実に閉まっているか確認します。
☒ **車内での施錠/解錠** P.72
- エンジンかけたとき、メーターに異常を示す警告灯などが点灯していないか？
 - ▶ 異常を示す警告灯の異常を解決してから走行します。
☒ **警告灯** P.52

エンジンの始動



1. パーキングブレーキがかかっていることを確認する。

2. セレクトレバーが[P]であることを確認し、右足でブレーキペダルを踏む。

▶ [N]でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定される[P]で行ってください。

❑エンジンの始動

⚠警告

バッテリー液が不足しているときは、エンジンを始動しない。

バッテリーが破裂するおそれがあります。

⚠注意

エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

知識

寒いときのエンジンの始動は、すべての電気アクセサリをOFFしてから行います。

寒いときのエンジンの始動は、バッテリーの消耗を防ぐためライト類、エアコン、リヤデフロスターなどの電気アクセサリをすべてOFFにしてから行ってください。

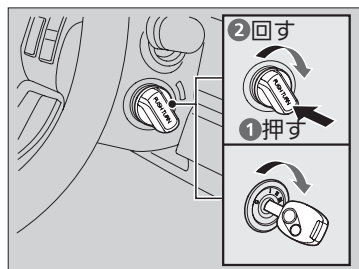
エンジンスイッチを15秒以上[III]にしないでください。

エンジンがかかったらすぐに、手を離してください。自動的に[II]に戻ります。

イモビライザーシステム装備車

車を盗難から守るため、イモビライザーシステムのキーを採用しています。そのため、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができません。

❑イモビライザーシステム P.77



3. アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチを III に回す。
- ▶ エンジンがかかったら、エンジンスイッチを離します。

※ エンジンの始動

知識

エンジンがかからない場合は、10秒以上待ってから操作してください。

エンジンがかからない、かかってもすぐに止まる場合は、10秒以上待ってからアクセルペダルを軽く踏みながら**手順3**を繰り返してください。エンジンがかかったらアクセルペダルを離します。

アドバイス

排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えないときは、排気系や燃料系の異常が考えられます。

Honda販売店で点検を受けてください。

■ 発進時の操作

1. 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを[D]にする。
▶ 後退する場合は[R]にします。
2. パーキングブレーキを解除する。
▶ ブレーキ警告灯が消灯したことを確認してください。
■パーキングブレーキ P.141
3. ブレーキペダルを徐々に離し、アクセルペダルをゆっくりと踏んで発進する。

■ 発進時の操作

坂道での発進時は、必ずパーキングブレーキを併用してください。

車が後退しないよう、パーキングブレーキをかけたまま、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

⚠ 注意

アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しない。

急発進して思わぬ事故の原因となります。

■ 4WD車

セレクトレバーが[P]、[N]以外のおき、ヒルス
タートアシスト（上り坂発進補助機能）により、
急な坂道に停車するとブレーキ力が自動的に
保持されます。

ブレーキペダルから足を離すと約1秒後に解除
されます。

■ アドバイス

VSA警告灯が点灯したおきは、システムは作動
しません。

■VSA警告灯 P.55

走行時の注意点

霧が出たときは

霧が出たときは視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレール、前走車のテールランプなどを目安にして、速度を落として走行してください。

風が強いときは

風が強く車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に落として進路を立て直します。

トンネルの出口、橋、土手の上、山を削った切り通しの走行時や大型トラックの追い越し時などには、特に横風の影響を受けやすいため、十分に注意してください。

雨が降っているときは

雨天時は路面が滑りやすくなっているため、急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け通常より注意深く運転してください。

わだちなどの水のたまりやすい場所ではハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。エンジンの破損や電装品の故障につながるおそれがあります。

その他の注意点

走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

走行時の注意点

走行中はエンジンを止めないでください。

下記のような状態になり危険です。

- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

走行中はセレクトレバーを[N]にしないでください。

エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故の原因となります。

車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。

下り坂を利用した移動などは、思わぬ事故の原因となります。

1,000km走行するまでは、エンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、控えめな運転をしてください。

雨が降っているときは

ハイドロプレーニング現象に注意してください。

ハイドロプレーニング現象とは、路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いてハンドルやブレーキが効かなくなる状態のことをいいます。

オートマチックについて

■ クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーが[P] [N]以外に入っていると動力がつながった状態になり、クリープ現象によりアクセルペダルを踏まなくても、車がゆっくり動き出します。

■ キックダウン

セレクトレバーが[D]で走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に変速比が変わりエンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。

■ クリープ現象

知識

エンジン始動直後は、クリープ現象が強くなります。

エンジン始動直後やエアコン作動時は、自動的にエンジン回転が上がリクリープ現象が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

急な上り坂での停車時、クリープ現象による前進の力よりも、後退しようとする力のほうが大きくなり、車が後退する場合があります。

ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。

■ キックダウン

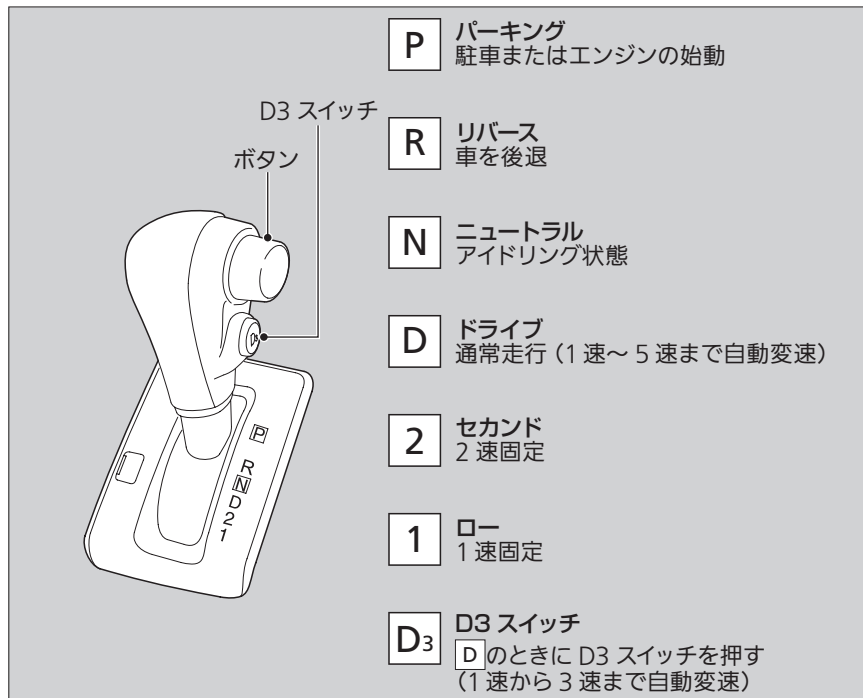
上り坂などでアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより急にエンジン回転が上がリ、速度が出すぎてしまうことがあります。

アクセルペダルは慎重に操作してください。滑りやすい路面やカーブでは、特に注意が必要です。

シフト操作

走行状態に応じてセレクトレバーで切り換えます。

■ セレクトポジションの名称とはたらき



■ シフト操作

セレクトレバーが **P** 以外のときは、エンジンスイッチが **0** まで回らないため、キーを抜くことはできません。

R のポジションのときは、チャイム音が鳴り運転者にセレクトレバーが **R** に入っていることを知らせます。

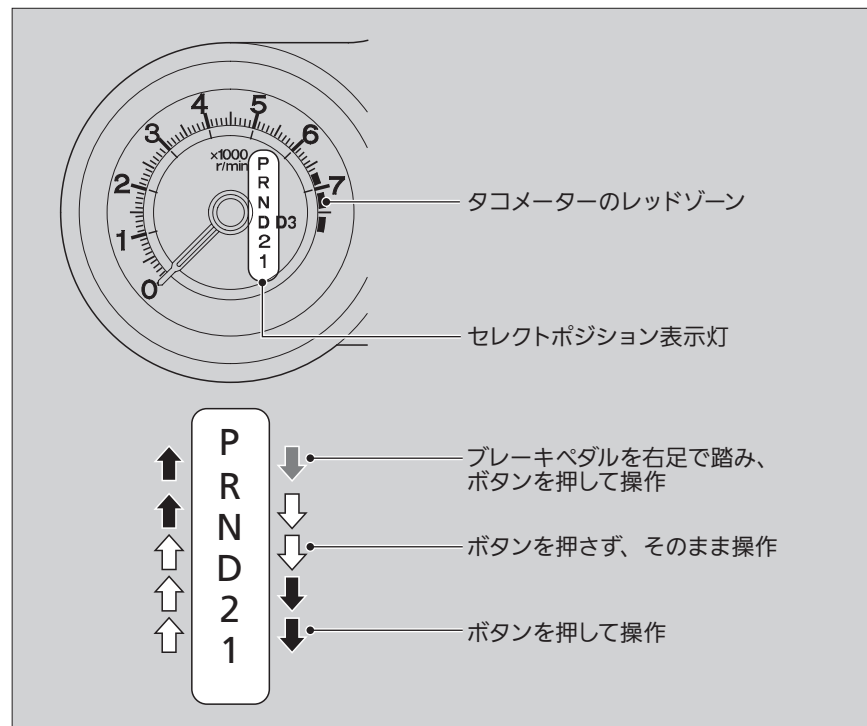
N のポジションのときでも、エンジンが冷えているときはトランスミッションフルードの粘性により、車がわずかに動き出すことがあります。ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

運
転

■ セレクトレバーの操作

セレクトポジションは、メーター部にあるセレクトポジション表示灯と連動し、現在のポジションを表示灯の点灯で表示します。

エンジンスイッチをⅡにすると、**[D]**が数秒点灯します。



☒ セレクトレバーの操作

車を発進させるときは、思い違いによる事故を防ぐためにセレクトポジション表示灯でもセレクトレバーの位置を確認してください。

走行中にセレクトレバーをどのポジションにしても**[D]**の表示灯が点滅しているときは、トランスミッションに異常があります。

急加速を避け、Honda販売店でトランスミッションの点検を受けてください。

セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、セレクトレバーの操作ができないことがあります。

先にブレーキペダルを踏んでください。

アドバイス

前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まっていない状態でレバーを操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります。

VSA（ビークルスタビリティアシスト）*

VSA とは、ABS 機能、TCS 機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

■ ABS（アンチロックブレーキシステム）機能 ■ P.143

■ TCS（トラクションコントロールシステム）機能

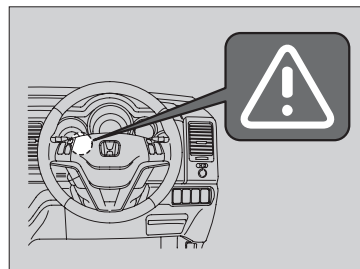
滑りやすい路面などでの駆動輪の無駄な空転を防止し、駆動力、操舵能力を確保しようとする機能です。

■ 横滑り抑制機能

急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。

さらに、緊急制動時に運転者のブレーキ操作を補助するブレーキアシストも装着しています。

■ VSA の作動



TCS 機能または横滑り抑制機能作動中は、VSA 作動表示灯が点滅します。

■ VSA（ビークルスタビリティアシスト）

VSAが作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。

- カーブ手前では十分に速度を落とす
- 雪道、凍結路を走行するときは、スノータイヤまたはタイヤチェーンを装着し控えめな速度で運転する

新雪やぬかるみから脱出したいときに、

VSA OFF スイッチでVSAをOFFにするとエンジントルク抑制機能が停止し、駆動輪が空転しやすくなるので効果的な場合があります。

この際、TCS機能と横滑り抑制機能がOFFになるため、走行には十分に気をつけてください。

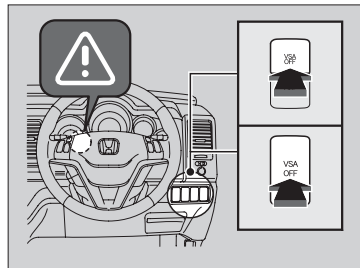
アドバイス

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、VSAが正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

VSA警告灯が運転中に点灯するときや、エンジンスイッチをIIにしても点灯しない場合は、システムの異常が考えられます。

通常の運転には支障はありませんが、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

VSA の ON と OFF



VSA を停止 (OFF) 状態にするには、**VSA OFF** を「ピッ」とブザーが鳴るまで押してください。

VSA が停止状態になり VSA OFF 作動表示灯が点灯します。

再度使用 (ON) するには、**VSA OFF** を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。

4WD（四輪駆動機構）*

4WD（四輪駆動機構）は、積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において、2WD 車（二輪駆動車）に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありませんので以下の点に注意してください。

- アクセル、ハンドル、ブレーキ操作は一般の車と同じく慎重に行う
- 砂地、ぬかるみなど、前輪が空転しやすい場所での連続走行はしない
- 渡河などの水中走行はしない
- ブレーキ性能は 2WD 車と比べてほとんど差がないため、滑りやすい路面では十分に車間距離をとって走行する

※VSA（ビークルスタビリティアシスト）

知識

前回の走行時に OFF にした場合でも、再度エンジンを始動させると自動的に ON になります。

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

※4WD（四輪駆動機構）

アドバイス

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、4WD が正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

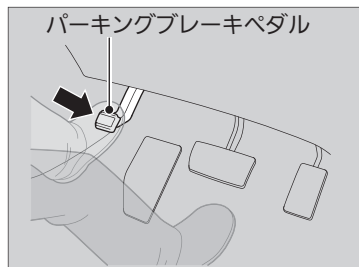
知識

4WD の状態で走行中に車輪の空転が続いてシステム内の油温が上がると、システム保護のため 4WD から 2WD に切り換わることがあります。しばらくして油温が下がると、4WD に復帰します。

ブレーキシステム

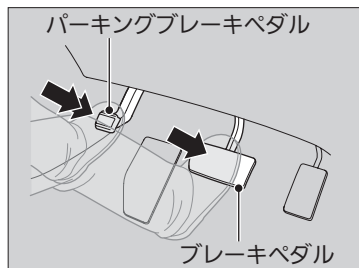
■ パーキングブレーキ

主に停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキペダルにより操作します。



■ パーキングブレーキをかける

左足でパーキングブレーキペダルをいっぱい踏み込みます。



■ パーキングブレーキを解除する

1. 右足でブレーキペダルを踏む。
2. 左足でパーキングブレーキペダルを踏み、ゆっくりと戻す。

※ パーキングブレーキ

アドバイス

パーキングブレーキをかけたまま走行すると、リヤブレーキと車軸が損傷するおそれがあります。パーキングブレーキは完全に解除した状態で、走行してください。

知識

パーキングブレーキが完全に解除されていない状態で走行すると、「パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザー」が鳴ります。

完全に解除すると、ブザーは止まります。停車したときも、ブザーは止まります。

パーキングブレーキを解除するときは、いったん停車してから操作してください。

駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時は、凍結を防ぐためパーキングブレーキをかけないでください。

セレクトレバーを[P]にして、石などで輪止めをしておきます。

■ フットブレーキ

車の減速や停止をするためのメインのブレーキです。ブレーキペダルで操作します。緊急制動時により大きな制動力を発生させるブレーキアシストが装備されています。ブレーキのロックを防止する ABS（アンチロックブレーキシステム）で、安全性の向上を図っています。

❏ABS（アンチロックブレーキシステム） P.143

❏ フットブレーキ

ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

水たまりを走行したときは、ブレーキの効き具合を確認してください。

効きが悪いときは、効き具合が戻るまでブレーキペダルを何回か軽く踏んでください。

ブレーキを踏んでいる間、絶えず金属的な摩擦音が聞こえる場合はブレーキパッドを交換する必要があります。

Honda販売店で点検を受けてください。また、きしむような音がときどき聞こえるのは、異常ではありません。

知識

長い下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、ブレーキの効が悪くなり危険です。そのため、長い下り坂などではエンジンブレーキを使用します。

アクセルペダルから足を離し、ギヤを低速にシフトすると、エンジンの回転抵抗で速度が落ちます。

ABS (アンチロックブレーキシステム)

■ ABS とは

ABS (アンチロックブレーキシステム) とは、急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを保ちようとするための装置です。

■ ABS の作動と警告灯

ブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルが小刻みに動くことがあります。これは ABS の正常な動作です。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。なお、低速 (車速約 10km/h 以下) では ABS は作動せず、通常のブレーキと同じ作動となります。



ABS 警告灯

エンジンスイッチを **II** にすると数秒間点灯し消灯するのが正常な状態。

※ ABS (アンチロックブレーキシステム)

ABS 警告灯が運転中に点灯するときや、エンジンスイッチを **II にしても点灯しない場合は、システムの異常が考えられます。**

通常のブレーキ操作には支障はありませんが、ABS が作動していない可能性があります。ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

ABS は、制動距離を短くするためのものではありません。

ABS を装備していない車両と同様に、路面が滑りやすいほど長い制動距離が必要になります。ABS が作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、過信せず安全運転に心がけてください。また、次のような場合、ABS の装着されていない車両に比べ、制動距離が長くなることがあります。

- 砂利道、深い新雪、凸凹路などの悪路
- 舗装の継ぎ目やマンホールなどの段差
- タイヤチェーン装着時

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

アドバイス

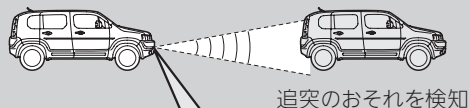
種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、ABS が正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

CMBS (追突軽減ブレーキ)*

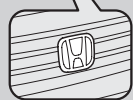
自車が前方の車両のほぼ真後ろから追突のおそれがあるとき、運転者のブレーキ操作を支援し、追突するときの衝撃を軽減する装置です。

こんなときに

前方の車両と比べて時速差が
15km/h 以上速い場合



エンブレムの奥に、
CMBS のレーダーセンサーを装備



作動

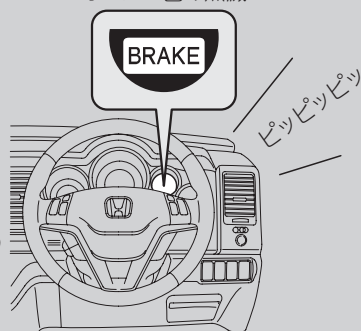
追突警報

- ディスプレイに警告表示
- 警告ブザーが鳴る

追突軽減ブレーキが作動します。

- 弱いブレーキで注意をうながす
- E-プリテンショナーが作動
同時に、運転席と助手席のシートベルトを巻き取り、拘束効果を高めます。
- 続いて、追突するときの衝撃を軽減するためのブレーキが作動
- CMBS によるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

オレンジ色の点滅



CMBS が作動しないのは、下記の場合です。

- 前方の車両との車間距離が極端に短いとき
- 交差点などで、自車の前方に車が飛び出したとき
- 歩行者や動物に対して

CMBS (追突軽減ブレーキ)

警告

CMBS (追突軽減ブレーキ)は、追突を自動的に回避したり、車を自動的に停止することはできません。

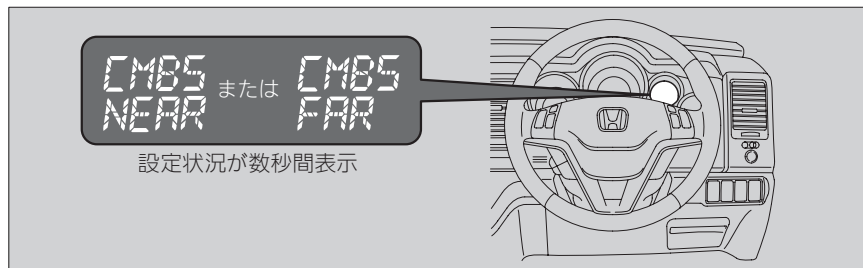
正しく運転しないと追突などの事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

次のような場合には、前方の車両を正しく検知できず、CMBSが作動しない場合があります。

- 自車の前方に別の車両が割り込み、急な減速を行ったとき
- 急加速を行い、前方の車両に接近しているとき
- 雨、霧、雪などの悪天候で、レーダーが検知しにくいとき
- カーブなどの道路状況により、レーダーで前方の車両を正しく検知できないとき
- 自転車や二輪車など、レーダーが検知しにくいとき
- フロントグリルのエンブレムが汚れているとき
- 衝突を回避しようとして、運転者がブレーキやハンドルを操作した場合

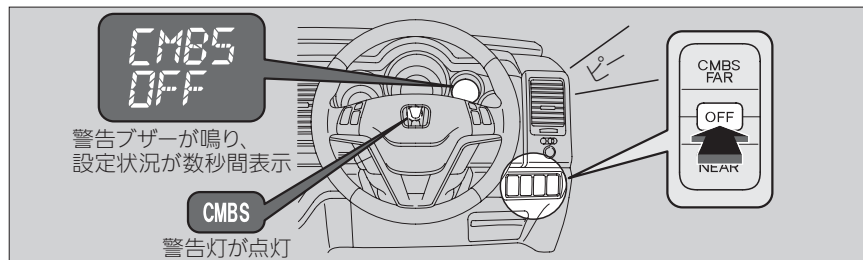
■ CMBS を使用 (ON) する

エンジンスイッチを **II** にすると、設定状況が数秒間表示され CMBS は ON になります。



■ CMBS を停止 (OFF) する

CMBS を停止 (OFF) 状態にするには、ハンドル右横の **OFF** スイッチを「ピーツ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用 (ON) するには **OFF** スイッチを「ピーツ」とブザーが鳴るまで押します。



■ CMBS (追突軽減ブレーキ)

以下のような場合、CMBSが自動停止し、CMBS警告灯が点灯します。

CMBS

- タイヤの異常を検出したとき
- 山岳路や悪路を長時間走行したとき
- パーキングブレーキをかけたまま走行したとき
- 雨、霧、雪などの悪天候となったとき
- フロントグリルのエンブレムが汚れたとき

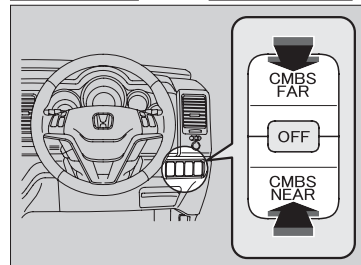
CMBSが作動できる状態になると、CMBSは自動復帰します。

CMBSを停止 (OFF) にした状態でエンジンを切ると、再始動時にCMBSは停止 (OFF) となっています。

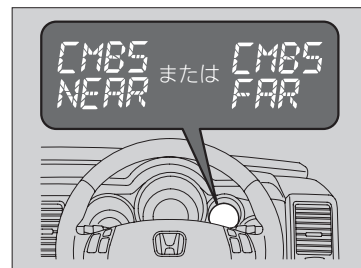
エンジンスイッチを **II** にするときは、車を静止させてください。駐車場のターンテーブル上など、車両が動いているときにエンジンスイッチを **II** にすると、ヨーレートセンサーが正しく機能しなくなり、走行中に前方の車両を正しく検知できないことがあります。

■ 追突警報距離の切り換え

追突警報を開始する車間距離を切り換えることができます。切り換え操作は、**CMBS FAR** または **CMBS NEAR** スイッチを押して行います。



CMBS FAR : 追突警報距離が遠くなります。
CMBS NEAR : 追突警報距離が近くなります。

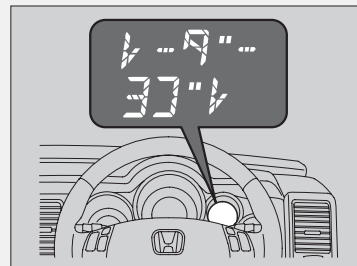


スイッチを押すとディスプレイに設定が表示されます。

☒ CMBS (追突軽減ブレーキ)

NEAR、FARどちらの場合も、ブレーキ作動開始は変わりません。

- エンブレムが汚れてレーダーセンサーが前の車両を検知しにくい場合、警報がディスプレイ上に表示されます。
- 雨、霧、雪などの悪天候のときにも、下記の表示が出ることがあります。



汚れの場合は、安全な場所でエンブレムの汚れを拭き取ってください。

エンブレムの汚れを拭き取ったあとに、エンジンを再始動しなかったときでもシステムは復帰しますが、状況により復帰に時間がかかることがあります。

■ 追突以外での作動について

次のような場合、CMBS が作動することがあります。車間距離を確保し、適切な速度で走行してください。

- 追い越しや交差点などで前方の車両や対向車に接近して走行するとき
- 低いゲートや狭いゲートなどを規制速度を超えるような速度で通過しようとするとき

道路や自車の状況により、一時的にとなりの車線の車や周囲の設置物、道路の段差、落下物を検知して CMBS が作動することがあります。

■ CMBS（追突軽減ブレーキ）

システムを正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。

- エンブレムは常にきれいにしておく
- エンブレムのお手入れにベンジン、シンナー類、クレンザーなどの磨き粉類を使わない
- エンブレムにステッカーを貼らない
- エンブレムを交換しない

次の場合は、Honda販売店にご相談ください。

- レーダーセンサーに衝撃が加わったとき
- フロントグリル周辺の修理を行うとき

サスペンションの改造はしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

次のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- カーゴスペース、セカンドシート、サードシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- タイヤが指定空気圧に調節されていないとき

停車する

1. セレクトレバーは[D]のまま、ブレーキペダルをしっかりと踏む。
▶ 停車時間が長い場合は[N]にします。
2. 急な上り坂などでは、必要に応じてパーキングブレーキをかける。

⚠駐停車操作

枯れ草や紙、油、木材など燃えやすい物があるところには駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。

植え込みなどの近くに駐停車するときは、排気ガスが植え込みに当たらないように車の向きを決めてください。

⚠停車する

⚠注意

停車中の空ぶかしはしない。

万一、セレクトレバーが[P] [N]以外に入っていた場合、思わぬ急発進のもとになります。

アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。また、上り坂で[P] [N]以外に入れた状態で、アクセルを調節しながら車を停車させたりしないでください。

トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

駐車する

1. セレクトレバーは[D]のまま、ブレーキペダルをしっかりと踏む。
2. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
3. セレクトレバーを[P]に入れる。
4. エンジン切る。
 - ▶ 車から離れるときは必ず施錠してください。

ⓧ 駐車する

⚠ 注意

駐車時はエンジンを止める。

万一、セレクトレバーが[P] [N]以外に入っていた場合、クリープ現象により車が動き出したり、乗り込む際に誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

アドバイス

車が完全に止まらないうちに[P]に入れないでください。

トランスミッション破損の原因となります。

仮眠するときは、エンジンを止めてください。

無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

車内の見えるところに貴重品などを置かないでください。

車内にライターや炭酸飲料缶を放置しないでください。

車内温度上昇によりライターなどの可燃物が自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。

積雪時は、ワイパーアームを起こしてください。

雪の重みでアームの取り付け部が破損することがあります。

指定燃料について

■指定燃料

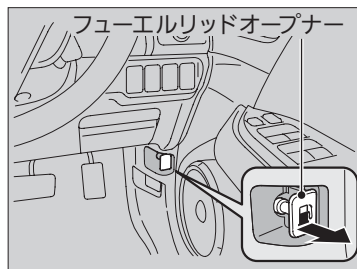
無鉛レギュラーガソリン

■タンク容量

2WD車 55 リットル

4WD車 50 リットル

給油のしかた



1. 助手席側にガソリンスタンドの給油機がくるように車を停める。
2. エンジンを停止させる。
3. 運転席足元のフューエルリッドオープナーを引く。
▶ 車の外側のフューエルリッドが開きます。

☒指定燃料について

指定燃料以外の燃料（有鉛ガソリン、粗悪ガソリン、軽油、灯油、高濃度アルコール含有燃料）を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しないでください。

以下のような状態になるおそれがあります。

- 触媒装置などの損傷
- エンジンや燃料系などの損傷
- エンジンなどへの悪影響

☒給油のしかた



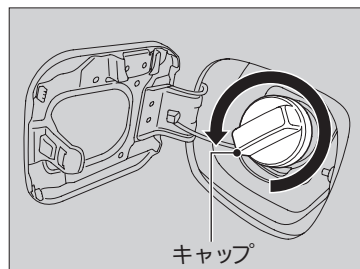
警告

燃料補給時は火気厳禁。

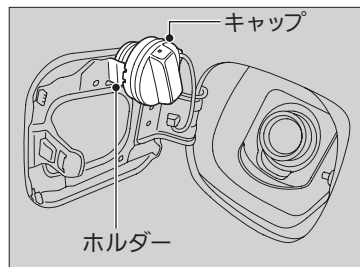
燃料や燃料蒸気は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。燃料を扱っているときは下記の項目を厳守してください。

- エンジンは常に止める
- 炎、火花を近づけない
- たばこを吸わない
- 燃料の取り扱いは屋外で行う
- こぼれた燃料はすみやかに拭き取る

ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。



キャップ



ホルダー

4. ツマミをゆっくり回し、フューエルキャップを開ける。

5. キャップをホルダーにかける。

6. 給油ノズルを奥まで差し込み、給油する。
▶ 満タンになると、給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

給油のしかた

⚠ 警告

燃料補給作業は、フューエルキャップを開ける前に車体などの金属に触れて身体の静電気を除去してから行う。

静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

知識

燃料補給は、静電気を放電した人のみで行ってください。

燃料補給中に車内に戻ると、再び帯電することがあります。再度、静電気を放電してください。

⚠ 注意

キャップはゆっくり開ける。

急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

「シュー」という音がする場合は、その音が止まってからゆっくり開けてください。

燃料蒸気を吸わないでください。

燃料成分には有害物質を含んでいる場合があります。

7. 給油後、「カチッ」という音が1回以上するまでキャップを締め付ける。

▶ フューエルリッドは、手で押さえ付けて閉めます。

給油のしかた

 注意

給油ノズルの自動停止後は、追加補給しない。

気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

キャップが確実に閉まっていることを確認する。

閉まっていないと燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

Honda純正以外のキャップを使わないでください。

純正品を使用しないと、火災などを起こすおそれがあります。

知識

気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

自動停止後に追加補給をすると、燃料が満タン容量以上に入ることがあります。

アクセサリー

アクセサリーを取り付ける場合は、下記の項目を確認してください。

- アクセサリーをフロントガラスに取り付けていないか？
 - ▶ アクセサリーの揺れる動きが車外の状況認識を遅らせることがあります。また、吸盤がレンズのはたらきをして、火災につながるおそれがあります。
- フロントガラス、ドアガラスやフロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーを取り付けていないか？
 - ▶ サイドカーテンエアバッグの作動の妨げになるので、上記の場所にはアクセサリーを取り付けしないでください。

車の改造

Honda 純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

- 適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりします。
- Honda が国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- 車の改造はしないでください。不正改造は、法律に触れることはもちろん、思わぬ事故を起こす場合があります。

車の改造

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品には下記のマークが付いています。



お求め、装着に際しては、Honda販売店にご相談ください。

メンテナンス

この章では、基本的なメンテナンスについて記載しています。



メンテナンスの前に

点検整備について.....	155
メンテナンスを安全に行うために.....	156
メンテナンスに関する注意事項.....	156

ボンネット内のメンテナンス

ボンネット内のメンテナンス項目.....	157
ボンネットを開ける.....	158
推奨エンジンオイル.....	159
ウインドウォッシャー液の補給.....	159

電球の交換.....

ワイパーブレードラバーの点検と整備.....

タイヤの点検と整備

タイヤの点検.....	174
タイヤのローテーション.....	176
冬期のタイヤ.....	177

キーレスエントリー一体キー/

Hondaスマートキー

キーレスエントリー一体キー/ Hondaスマートキーの取り扱いと 電池交換.....	178
--	-----

清掃

日常のお手入れ.....	181
車内の清掃.....	181
車外の清掃.....	182

点検整備について

道路運送車両法により、法定点検と日常点検が義務づけられています。正しい点検整備で、車を安全・快適にお使いください。

普段と違う点（音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っているなど）に気づいたら、Honda 販売店で点検を受けてください。

点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートも併せてご覧ください。

■点検整備の種類

■日常点検

長距離走行前や洗車・給油時などに、お客様自身の判断で行う点検です。

■定期点検

12 か月および 24 か月ごとに実施する点検です。法律で定められているものと、Honda が指定するものがあります。

■その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

メンテナンスを安全に行うために

メンテナンスを行う際は、メンテナンスノートと下記の安全に関する注意事項をよくお読みのうえ、安全を確保して行ってください。

お客さま自身でメンテナンスを実施したときは、メンテナンス点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

■ メンテナンスを行う場所や備品についての安全事項

- 火災や爆発防止のため、タバコの火、火花、炎を引火性の液体やガスから遠ざける。

■ 車についての安全事項

- エンジンの排気ガスに含まれる一酸化炭素の毒作用に注意する。
 - ▶ エンジンをかけるときは必ず十分な換気を行ってください。
- 熱くなった部品によるやけどに注意する。
 - ▶ 部品に触れる前に、エンジンと排気システムを十分に冷やしてください。
- 可動部品によるけがに注意する。
 - ▶ 指示されたとき以外は、エンジンをかけないでください。

メンテナンスに関する注意事項

■ メンテナンスサービスで使用する部品やオイル

メンテナンスサービスを受けるときは、Honda 純正部品やオイル類を使用することをおすすめします。Honda 純正部品は、車で使われている部品と同じ高品質の基準に基づいて製造されているため、性能と耐久性の面で安心です。

■ メンテナンスを安全に行うために



警告

適切なメンテナンスを行い、走行前に故障がないようにする。

走行時に故障がある状態や、適切なメンテナンスがなされていないと、重大な傷害や死亡に至る事故を引き起こす可能性があります。

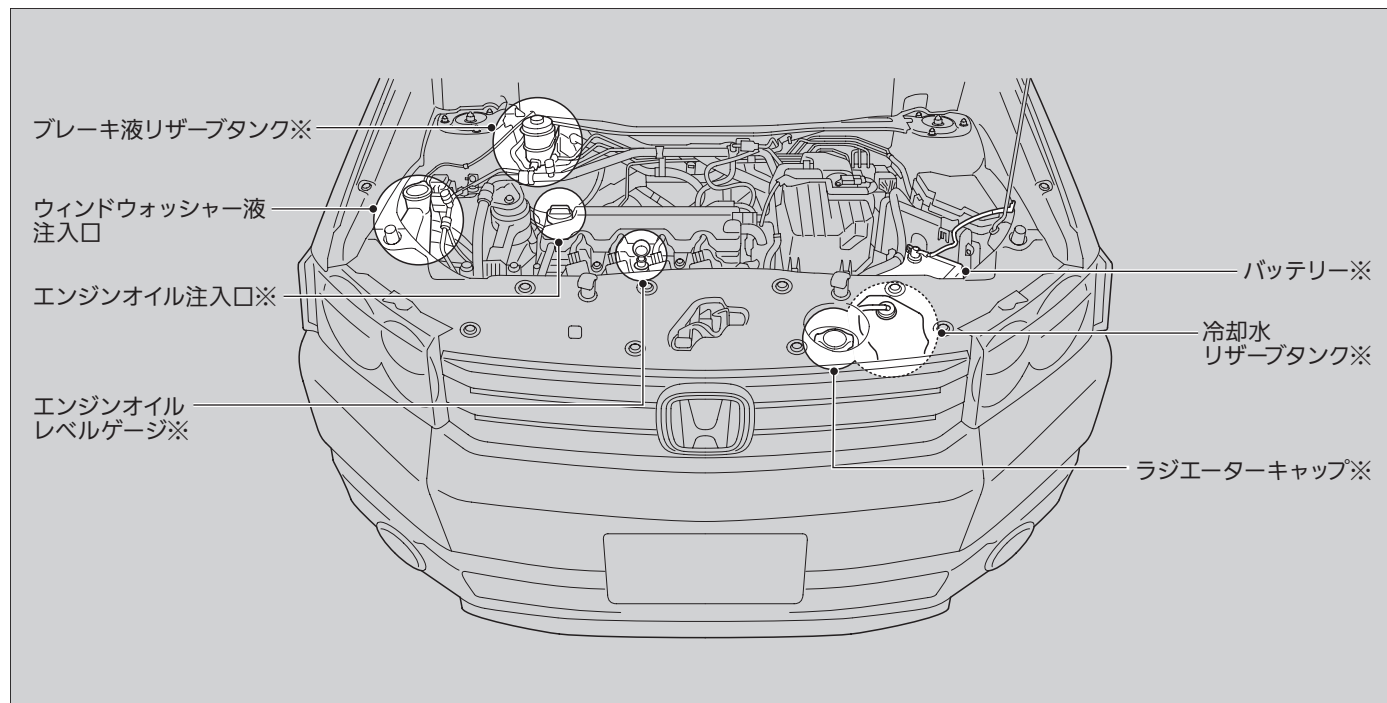
必ず、この取扱説明書に記載されている点検とメンテナンスに関する注意事項や別冊のメンテナンスノートに記載の点検時期を守ってください。

メンテナンスは、指示と注意事項を守って行う。

メンテナンスの指示と注意事項を守らないと重大な傷害や死亡のおそれがあります。必ず、この取扱説明書に記載されている手順と注意事項を守ってください。

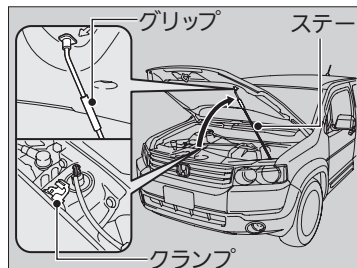
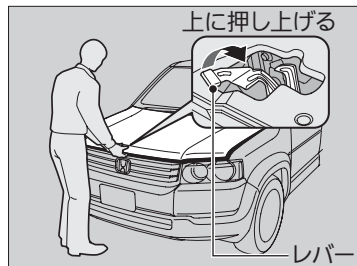
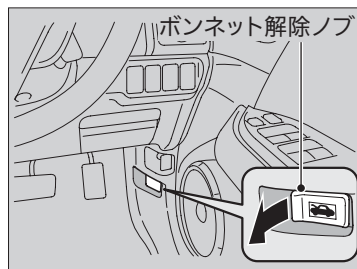
ボンネット内のメンテナンス

ボンネット内のメンテナンス項目



※:点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。

ボンネットを開ける



1. 車を止め、パーキングブレーキをかける。
2. 運転席足元にある、ボンネット解除ノブを引く。

▶ ボンネットが少し浮き上がります。

3. ボンネット中央のレバーを上押し、ロック機構を解除し、ボンネットを開ける。

4. グリップを持ってステーをクランプから取り外し、ステーをボンネットにかける。

閉めるときは、ステーを外しクランプに納めてからボンネットを静かに下げて、約 30cm の高さから手を離します。

☒ ボンネットを開ける

ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。

ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷することがあります。

ボンネットを閉めたときは、ボンネットが確実にロックされていることを確認してください。

⚠ 注意

ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意する。

推奨エンジンオイル

エンジンオイルは、量が少なかったり劣化したものを使用していると、エンジンの不調や破損につながる場合があります。



推奨エンジンオイル:

Honda純正エンジンオイル

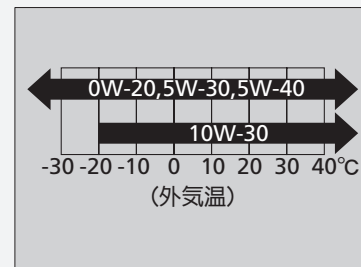
▶Honda純正エンジンオイル P.214、215

API SM級以上かオイル缶にAPI CERTIFICATION (エーピーアイサーティフィケーション) マークの入ったエンジンオイル

▶▶ 推奨エンジンオイル

市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものをご使用ください。

▶Honda純正エンジンオイル P.214、215



冬期はエンジンオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、市街地を運転する場合は、早めに交換してください。

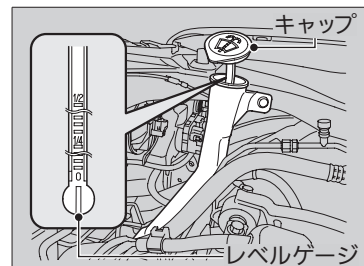
▶▶ ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液以外の液体を、タンクに入れないでください。

冬期はウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



減っていた場合は、ウォッシャー液キャップを外し、ウォッシャータンクに補給します。

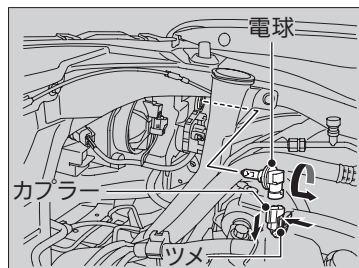
電球の交換

ヘッドライト電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

ロービームヘッドライト (ハロゲンヘッドライト)	: 12V-55W
ロービームヘッドライト (ディスチャージヘッドライト)	: 12V-35W
ハイビームヘッドライト	: 12V-60W

■ ロービームヘッドライト (ハロゲンヘッドライト) *



1. カプラーを外す。
▶ カプラーは、ツメを押しながら外します。
2. 古い電球を左に回し、抜き取る。
3. 新しい電球を右に回して固定する。
4. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

■ ロービームヘッドライト (ディスチャージヘッドライト) *

電球の点検や交換は必ず Honda 販売店に依頼してください。

※ ヘッドライト電球

知識

ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などによりレンズ内面が一時的に曇ることがありますが、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水滴が付いていたり、水がたまっていたりしている場合はHonda販売店で点検を受けてください。

※ ロービームヘッドライト (ハロゲンヘッドライト)

扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱いときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

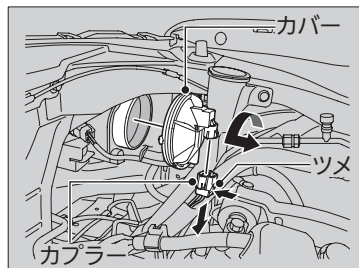
※ ロービームヘッドライト (ディスチャージヘッドライト)

⚠ 注意

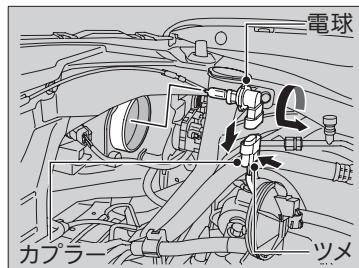
ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しています。

不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

■ ハイビームヘッドライト



1. カプラーを外す。
▶ カプラーは、ツメを押しながら外します。
2. カバーを左に回して外す。

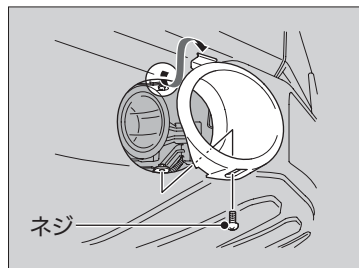


3. 古い電球を左に回し、抜き取る。
4. カプラーを外す。
▶ カプラーは、ツメを押しながら外します。
5. 新しい電球を右に回して固定する。
6. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

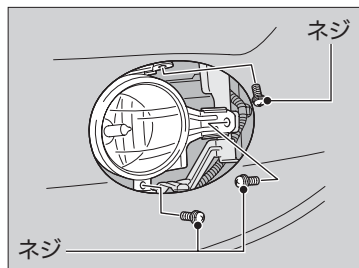
フォグライト電球*

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

フォグライト：12V-55W



1. ネジを外してカバーを外す。



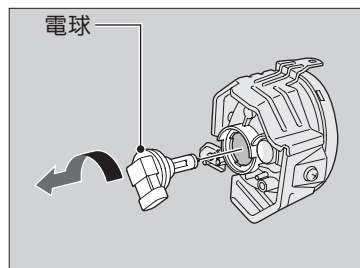
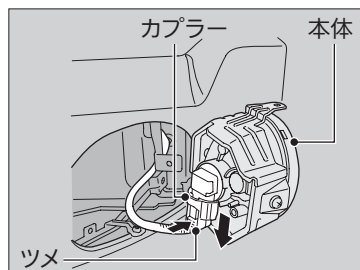
2. ネジを外す。

☒ フォグライト電球

フォグライトはハロゲン球です。

扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。

ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。



3. フォグライト本体を外す。
4. カプラーを外す。
▶ カプラーは、ツメを押しながら外します。
5. 古い電球を左に回して抜き取る。
6. 新しい電球を右に回して固定する。
7. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

※ フォグライト電球

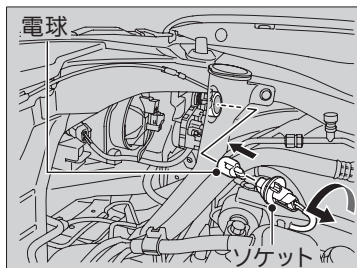
アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

前面方向指示器/前面非常点滅表示灯: 12V-21W

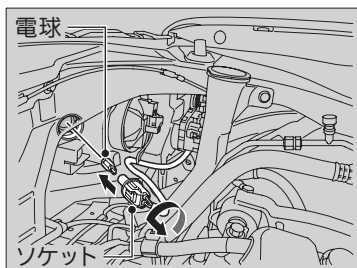


1. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
2. 新しい電球を差し込む。

車幅灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

車幅灯: 12V-5W



1. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
2. 新しい電球を差し込む。

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯電球

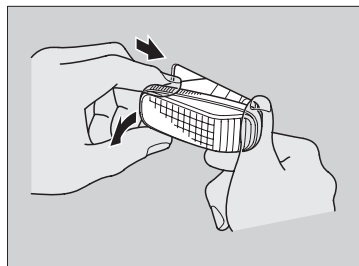
ドアミラーウィンカー装備車

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯は LED を使用しています。電球の点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

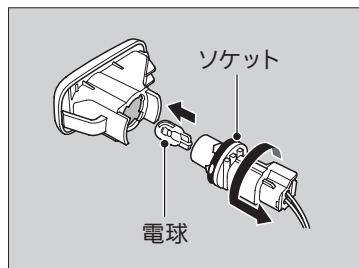
ドアミラーウィンカー非装備車

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

側面方向指示器/側面非常点滅表示灯: 12V-5W



1. ランプ本体を後方にずらして取り外す。



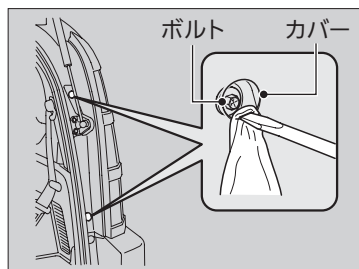
2. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。

3. 新しい電球を差し込む。

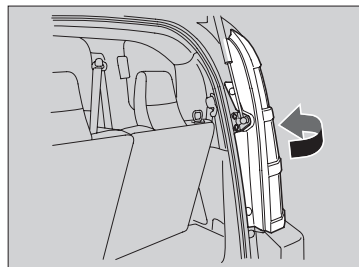
制動灯 / 尾灯、後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯、後退灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

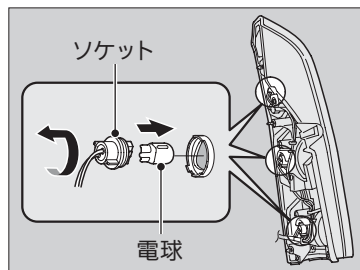
制動灯/尾灯	:12V-21/5W
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯	:12V-21W
後退灯	:12V-21W



1. カバーの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、カバーを取り外す。
▶ カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。
2. ボルトを外す。



3. ランプ本体を外す。



4. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
5. 新しい電球を差し込む。

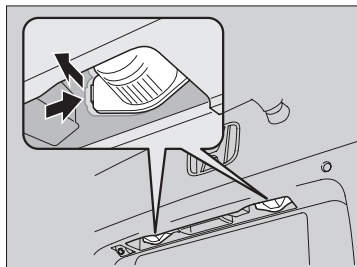
ハイマウントストップランプ電球

ハイマウントストップランプはLED を使用しています。電球の点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

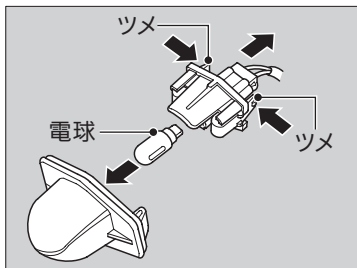
番号灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

番号灯: 12V-5W



1. レンズの側面を押してランプ本体を外す。



2. ツメを押してカバーを外す。

3. 古い電球を抜き取る。

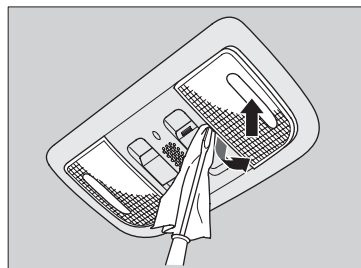
4. 新しい電球を差し込む。

その他の電球

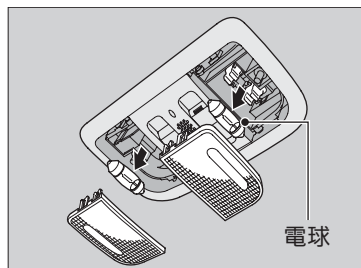
■ フロントシート室内灯 / マップランプ* 電球

下記の電球をご使用ください。

フロントシート室内灯/マップランプ* : 12V-8W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

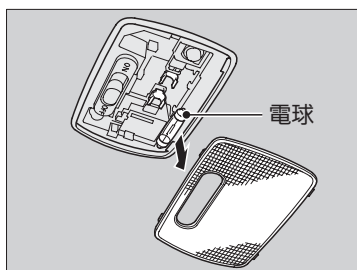
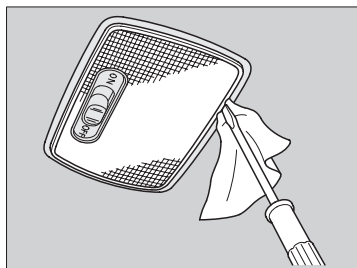


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

■ セカンドシート室内灯*、サードシート室内灯電球

下記の電球をご使用ください。

セカンドシート室内灯*、サードシート室内灯：12V-8W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。

▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

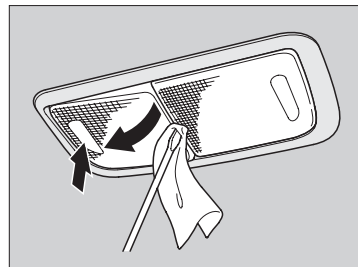
2. 古い電球を抜き取る。

3. 新しい電球を差し込む。

■ マップランプ電球*

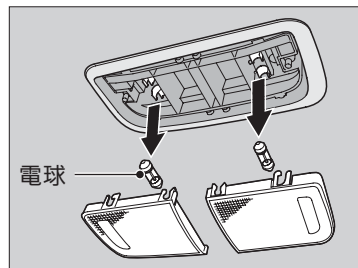
下記の電球をご使用ください。

マップランプ*：12V-8W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。

▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



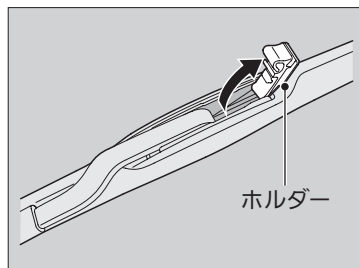
2. 古い電球を抜き取る。

3. 新しい電球を差し込む。

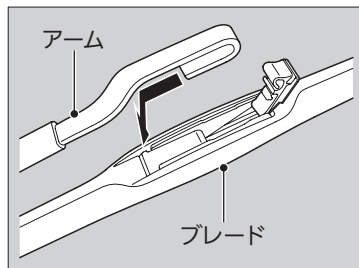
ワイパーブレードラバーの点検

ワイパーブレードラバーが傷んでいると、拭きムラになったり、ウィンドーガラスを傷つけたりします。定期的にワイパーブレードの状態を点検し、傷んでいる場合は交換してください。

フロントワイパーブレードラバーの交換



1. 運転席側、助手席側の順にワイパーアームを起す。
2. ホルダーを起す。

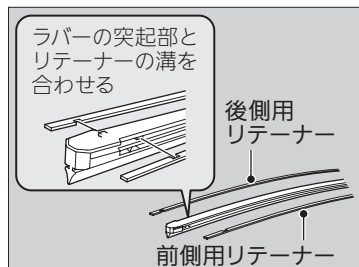
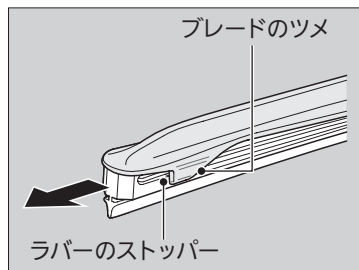


3. ブレードをスライドさせ、ワイパーアームから取り外す。

※ フロントワイパーブレードラバーの交換

アドバイス

ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けたりワイパーを作動させたりすると、ボンネットとワイパーアームを損傷します。



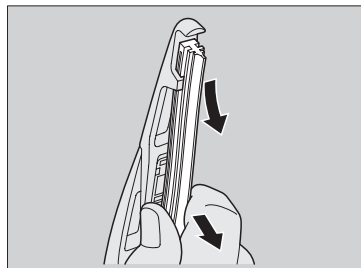
4. ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜く。

5. 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける。

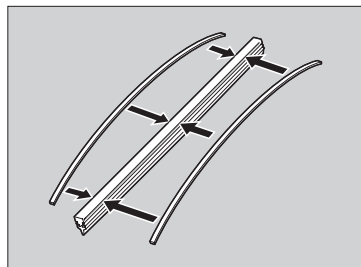
6. ラバーをブレードの端から差し込む。

▶ 正しく固定されているか確認してください。その後、ブレードをワイパーアームに取り付けてホルダーを閉じます。

リヤワイパーブレードラバー*の交換



1. ラバーを引いて先端部をブレードのツメから外す。
2. ラバーをブレードから引き抜く。



3. 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける



4. ブレード中央部のツメからラバーを挿入し、ブレード両端のツメにラバーを通す。

タイヤの点検

■ タイヤの点検について

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができないばかりか乗り心地も損なわれます。

安全な走行のために求められるタイヤの条件は下記のとおりです。

- 種類とサイズが適正であること
- 接地面の状態が良好であること
- 空気圧が適正であること
- 摩耗、傷、亀裂、異物などがないこと

これらの条件を満たすために下記の点検を行い、常にタイヤを最適な状態に保ってください。

■ 日常的な点検

乗車前に必ず行う点検です。下記の項目を確認し、状況によってはメンテナンスをしてください。

- タイヤがつぶれているように見えないか？
 - ▶ つぶれているように見えたら、すぐに空気圧をチェックしてください。
- 激しい摩耗、傷、亀裂、異物はないか？
 - ▶ 状況に応じて、タイヤを交換してください。

☒ タイヤの点検について



警告

摩耗が激しいタイヤ、空気圧が適正でないタイヤを使用しない。

不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

必ず、サイズと種類が適切なタイヤを使用する。

不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

標準タイヤの仕様

サイズ	空気圧
215/65R16 98S	210kPa(2.1kgf/cm ²)
215/60R17 96H	210kPa(2.1kgf/cm ²)

■ 空気圧測定器による点検

すべてのタイヤの空気圧を測定してください。空気圧が下がっている場合は、パンクを入念に調べます。

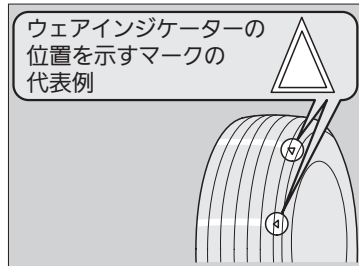
タイヤの指定空気圧は、巻末の資料を参照してください。

■仕様 P.214、215

■ 損傷、異物、摩擦の点検

下記の項目を点検してください。

- タイヤの接地面と側面の突起、膨らみが正常か？
▶ 異常が見られた場合は、タイヤを交換する必要があります。
- タイヤ側面に、裂け目、亀裂がないか？
▶ 裂け目や亀裂がある場合は、タイヤを交換する必要があります。
- 接地面とウェアインジケーターが同じ高さになっていないか？



ウェアインジケーター（摩耗限界表示）

ウェアインジケーターはタイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm 浅くなっています。接地面が摩耗して、ウェアインジケーターと同じ高さになったら、タイヤを交換してください。

※ タイヤの点検について

タイヤの空気圧は、タイヤ温度が低いときに測定してください。

必要な場合は、指定空気圧になるまで空気を注入または排出してください。

タイヤが高温のときに空気圧を測っても、低温のときより高めになるため正しく測定できません。

指定空気圧は、運転席横の車体に貼ってあるラベルにも記載されています。

この取扱説明書が手元がない場合は、車のラベルをご覧ください。

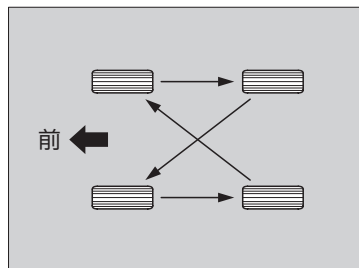
タイヤは、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。

サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、ABS、VSA^{*}、4WD^{*}、CMBS^{*}、IHCC^{*}などが正常に機能しなくなり、動力伝達装置に悪影響を与えたりします。

タイヤのローテーション

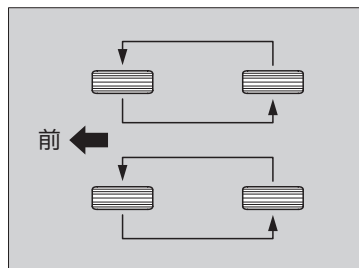
5,000km 走行したごとにタイヤローテーションをしてください。
タイヤローテーションを行うのは、特定のタイヤが摩耗するのを防ぐためです。

■ 回転指示マークがないタイヤの場合



左図のように、タイヤをローテーションさせます。

■ 回転指示マークがあるタイヤの場合

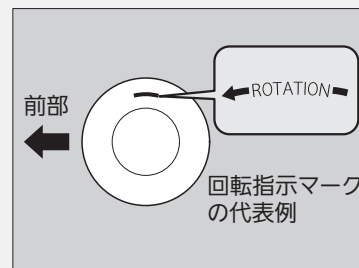


左図のように、タイヤをローテーションさせます。

※ タイヤのローテーション

タイヤ回転方向が指定されているタイヤには、
タイヤ回転指示マークがあります。

下図のように回転指示マークが前へ向くように
取り付けてください。



冬期のタイヤ

雪道や凍結した道路を走行する場合は、スノータイヤやタイヤチェーンを装着し、速度を落として十分に車間距離をとって運転してください。

また、横滑りの原因となりますのでハンドルやブレーキの操作は、特に慎重に行ってください。

タイヤチェーンおよびスノータイヤは、走行条件や法令により装着が必要とされた場合に使用します。

装着する場合は、下記のポイントを参照してください。

■ スノータイヤ

- 四輪とも同じ種類のタイヤを選ぶ
- 四輪すべてにスノータイヤを装着する

■ タイヤチェーン

- Honda 純正スチールチェーンを、付属の取扱説明書にしたがって前輪に装着する
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着する
- ブレーキラインやサスペンションと接触していないか確認する
- ゆっくり走行する

※ 冬期のタイヤ

アドバイス

サイズが不適切なチェーンを装着したり、装着のしかたが不適切だと、車のブレーキライン、サスペンション、ボディー、ホイールを損傷するおそれがあります。

チェーンが車のどこかに当たる場合、ただちに走行をやめてください。

タイヤチェーンは、2WD車、4WD車ともに前輪に装着します。

後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンを装着したときは、30km/h以下の速度で走行してください。

なお、乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したまま走行するのは避けてください。タイヤチェーンの摩耗を早めます。

キーレスエントリー一体キー /Honda スマートキーの取り扱いと電池交換

■ お取り扱いについて

キーレスエントリー一体キー /Honda スマートキーのお取扱いは、下記の点に注意してください。

- 発信器を落としたり投げたりしない
- 温度が極端に高い / 低い場所に置かない
- 液体にひたさない

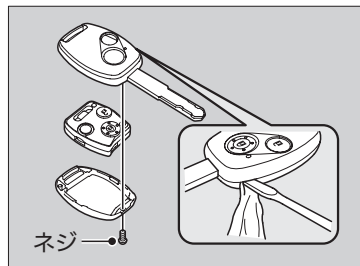
☒ お取り扱いについて

キーレスエントリー一体キー/Honda スマートキーをなくした場合は、Honda 販売店へご連絡ください。

■ 電池交換のしかた

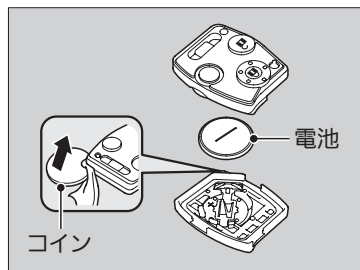
ボタンを押したときにインジケータが点灯しない場合は、電池を交換してください。

■ キーレスエントリー一体キー*



ボタン電池CR1616

1. 発信器下部のネジを外し、カバーを開く。
▶ カバーに傷が付かないように、マイナスドライバーに布などを巻いてカバーを取り外します。



2. ケースを開ける。
▶ ケースに傷が付かないように、コインに布などを巻いてケースを開けます。
3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。
▶ 交換後、もとのように組み立てネジをしっかり締めてください。

▶▶ 電池交換のしかた

アドバイス

電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda販売店ででの交換をおすすめします。

電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。

確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

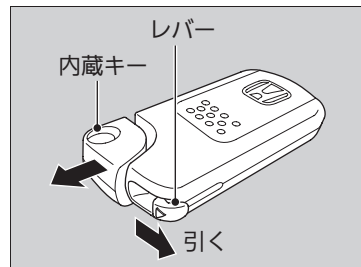
知識

電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

⚠ 注意

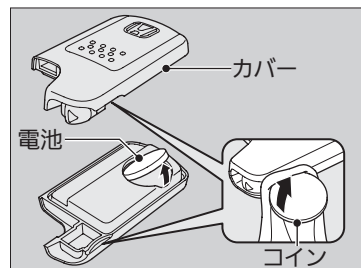
電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。
飲み込むと傷害を受けるおそれがあります。

■Honda スマートキー*



ボタン電池CR2032

1. レバーを引きながら、内蔵キーを取り出す。



2. カバーを外す。

▶ カバーに傷が付かないように、コインに布などを巻いてカバーを取り外します。

3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。

日常のお手入れ

走行後のお手入れ

走行後は、塗装面に付着したほこりなどを毛はたきなどで払い落としてください。飛び石などによる塗装面の傷は錆の原因になります。見つけたら早めに補修してください。

洗車について

月に一度は洗車をするようにしてください。

以下の場合、必ず洗車をしてください。

- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- 海岸地帯を走行したとき
- コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などが付いたとき

車内の清掃

内装の清掃は、ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものを柔らかい布に軽く含ませ、固く絞って汚れを落とします。その後、真水を含ませたきれいな布で、洗剤分をきれいに落としてください。

シートベルトの清掃

ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものをブラシにつけて清掃し、その後空気乾燥させます。

※洗車について

凍結防止剤を散布した道路や、海岸地帯を走行したときの洗車は、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。

※車内の清掃

室内に水をかけないでください。

オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。

オーディオ、スイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。

故障や車両火災の原因となるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda販売店にご相談ください。

ケミカル類、液体芳香剤は成分により、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れなどを起すことがあります。

ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤、酸、アルカリ性の溶剤は使用しないでください。

ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。

使用した布をそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

液体芳香剤は、こぼさないよう確実に固定してください。

固形タイプの芳香剤のご使用をおすすめします。

車外の清掃

洗車は、十分に水をかけながら、下回り、足回りの汚れを落とします。塗装面は、屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム革のような柔らかいもので洗います。

汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い、水で完全に洗剤を落としてから水が乾かないうちに拭き取ります。

■ 自動洗車機を使うとき

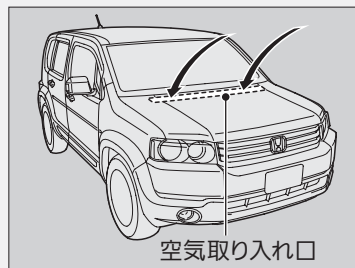
- ドアミラーを格納する。
- ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わない。
- マイクロアンテナを取り外す。

■ 高圧洗浄機を使うとき

- 洗車ノズルと車体の距離を十分に離す。
- ウィンドーまわりは、近づけすぎると室内に水が入ることがあるため、特に注意して行う。
- エンジンルームには水をかけない。

※ 車外の清掃

故意に空気取り入れ口や、エンジンルームに水をかけないでください。故障の原因になります。



■ ワックスをかけるとき

ワックスは、月に 1 回程度または水をはじかなくなったときにかけてください。洗車した後や、車体表面が体温以下に下がっているときにかけるようにしてください。

■ バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品に、ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着するとしみや塗膜はがれの原因となります。付着した場合は、すぐに柔らかい布で拭き取ってください。

※ワックスをかけるとき

みがき粉（コンパウンド）入りのワックスは、使わないでください。塗装面に細かい傷が残ることがあります。

ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

※バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品の補修をする場合は、Honda販売店にご相談ください。不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

■ ガラスのお手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーなどで拭いてください。

■ はっ水ガラス* について

前席ウィンドー（ドアガラス）にはっ水膜コーティングがしてあり、水滴をはじきます。水洗いするか、柔らかい湿った布などで、拭き取ってください。

ガラスクリーナーを使うと一時的に水はじきが悪くなることがありますが、水洗いをすれば元に戻ります。水はじきが悪くなったときは、Honda 販売店にご相談ください。

■ アルミホイール* のお手入れ

アルミは塩分や汚れを嫌います。道路凍結防止剤や海水が付いたときは、スポンジに中性洗剤を含ませ汚れを早めに落としてください。

☒ ガラスのお手入れ

リヤガラスは、ガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されています。傷付けないよう、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

■ はっ水ガラス装備車

水滴をはじく効果の持続時間には限りがあります。長持ちさせるために次のことをお守りください。

- 泥などの汚れがひどいときは、開閉をなるべく行わない
- みがき粉（コンパウンド）入りガラスクリーナーやワックス、洗剤等は使わない
- 金属製のもので霜取などを行わない
- 自動車洗車機を使うときは、先に泥などの汚れを落とす

☒ アルミホイールのお手入れ

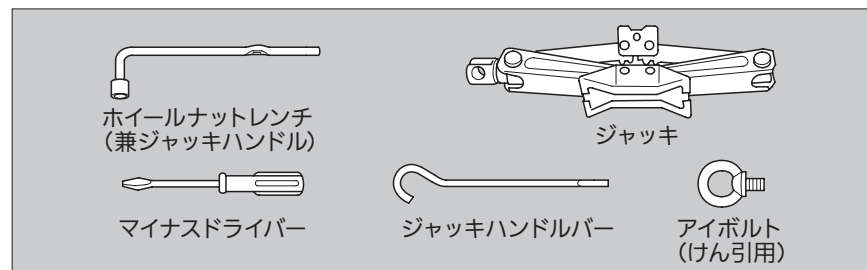
この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換は、Honda販売店にご相談ください。

万一の場合には

この章では、万一の場合の対応方法について記載しています。

工具、発炎筒.....	186	ヒューズの点検と交換.....	208
パンクしたとき.....	187	けん引.....	209
ジャッキの取り扱い		テールゲートが開かないとき.....	212
ジャッキのかけかた.....	194		
エンジンが始動しない			
エンジンの状態の確認.....	196		
内蔵キーの差し込みかた.....	197		
ジャンプスタート.....	198		
セレクトレバーが動かない.....	200		
オーバーヒート.....	201		
警告灯の点灯/点滅.....	202		
ヒューズ			
ヒューズの設置場所.....	205		

工具の種類



発炎筒

高速道路や踏切などの危険な場所で故障したときに使います。
発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- 使いかた
- 使用上の注意
- 発炎時間
- 有効期限

工具の種類

■ジャッキのかけかた P.194

発炎筒

警告

ガソリンなどの燃えやすいもののそばで使わない。

火災や爆発のおそれがあります。

注意

発炎筒を使うときは、以下のことに注意する。

- お子さまにさわらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 顔や身体に向けないでください。思わぬ事故ややけどの原因になります。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

パンクしたとき

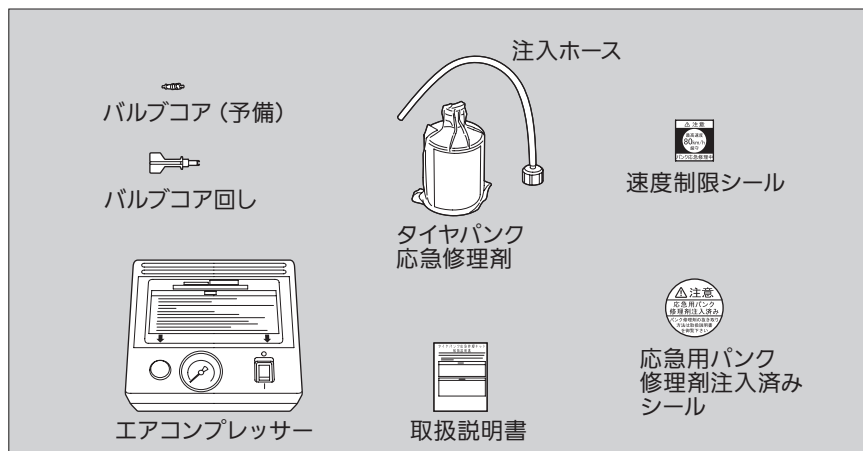
パンクしたタイヤの応急修理

運転中にタイヤがパンクしたときは、ハンドルをしっかり握り徐々にブレーキをかけてスピードを落とし安全な場所に停車してください。その後、特殊な薬剤でタイヤの内側から損傷を一時的に補修するタイヤパンク応急修理キットで応急修理をします。

■ 走行中、パンクに気がついたときは

1. 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。
2. セレクトレバーを[P]に入れる。
3. パーキングブレーキをかける。
4. 非常点滅表示灯を点滅させ、エンジンスイッチを[0]にする。

■ タイヤ修理の準備



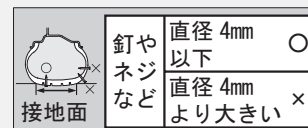
▶ パンクしたタイヤの応急修理

以下のような場合、タイヤパンク応急修理キットは使用できません。Honda販売店またはロードサービスにご連絡ください。

- 応急修理剤の有効期限が切れているとき（梱包のアルミ袋が破れている場合、有効期限は通常より最大2年短くなります）



- タイヤが2本以上パンクしているとき
- 約4mm以上の切り傷や刺し傷によるパンク
のとき
- 路面接地部以外が損傷を受けパンクしたとき



- ほとんど空気が抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールから外れているとき
- ホイールが破損しているとき

アドバイス

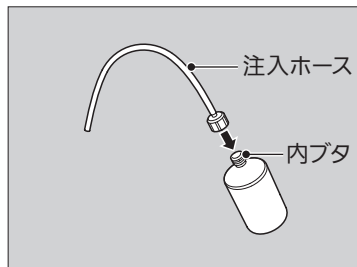
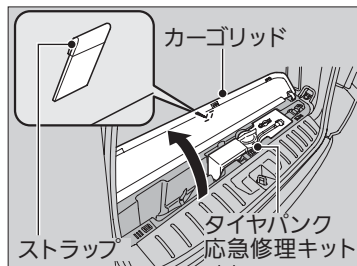
タイヤに刺さったクギなどは抜かないでください。

抜いてしまうと、タイヤパンクの応急修理キットでは応急修理が不可能になる場合があります。

次ページに続く

万
一
の
場
合
に
は

応急修理剤の注入



1. ストラップを引きながらカーゴリッドを開けて、タイヤパンク応急修理キットを取り出す。

2. アルミ袋を破って、応急修理剤のボトルを取り出す。

3. 応急修理剤のボトルをよく振る。

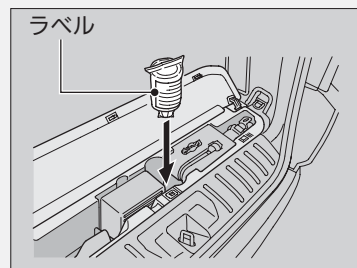
4. 応急修理剤の内ブタを付けたままの状態、ボトルに注入ホースを取り付ける。

▶ 注入ホースをねじ込むと、内ブタが破れます。

タイヤ修理の準備

知識

タイヤパンク応急修理剤はラベル面を手前（テールゲート側）にして収納してください。カーゴリッドにはさまれて、アルミ袋が破れるおそれがあります。



応急修理剤の注入

知識

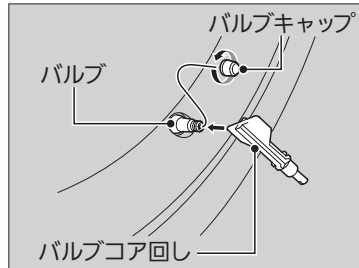
応急修理をスムーズに行うため、タイヤパンク応急修理キットに付属の説明書をお読みください。

応急修理剤が衣類などに付着すると、落ちないおそれがありますのでご注意ください。

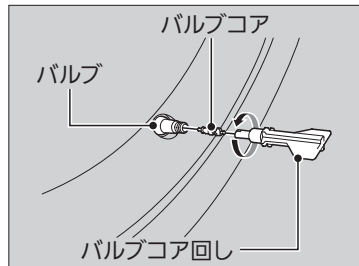
⚠ 注意

タイヤの空気は完全に抜く。

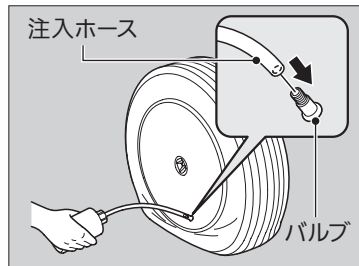
タイヤに空気が残っていると、バルブコアが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。



5. バルブからバルブキャップを取り外す。
6. バルブコア回しの角をバルブに押し当てて、タイヤの空気を完全に抜く。



7. バルブコア回しで、バルブコアを回して外す。
▶ 外したバルブコアは、汚れないようきれいなところに保管します。



8. 注入ホースをバルブに差し込む。

☒ 応急修理剤の注入

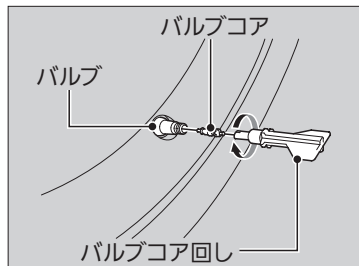
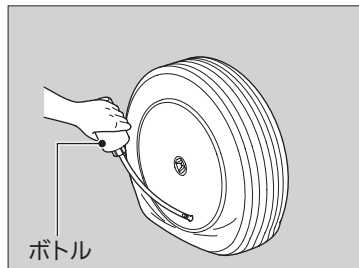
⚠ 注意

応急修理剤の取り扱いに注意する。

- 誤って飲用した場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり皮膚に付いた場合は、水でよく洗い流してください。異常を感じたときはただちに医師の診察を受けてください。
- お子さまが誤って手を触れないよう、保管、取り扱いに注意してください。

注入ホースを取り付けたあと、応急修理剤のボトルを振らない。

修理剤が注入ホースから飛び出るおそれがあります。



9. 応急修理剤のボトルを逆さまに持ち、ボトル内の修理剤を全てタイヤの中に注入する。

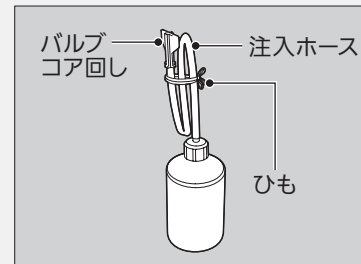
▶ 全ての修理剤がタイヤの中に入るよう、手でボトルを何回も圧迫してください。

10. 注入後、注入ホースをバルブから引き抜く。

11. バルブコアをバルブに取り付け、バルブコア回しで右に回し、しっかりねじ込む。

☒ 応急修理剤の注入

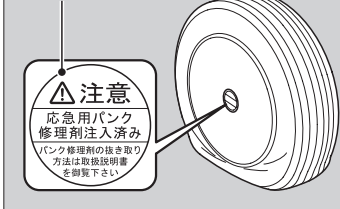
注入が終わった空ボトルから修理剤がもれないよう、バルブコア回しで注入ホースに栓をして、ひもなどで束ねてください。



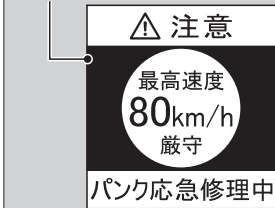
注入後の空ボトルは、タイヤ修理時に使用済み応急修理剤の回収に使用します。捨てずに、Honda販売店か専門修理工場までお持ちください。

■ シールの貼り付け

応急用パンク修理剤注入
済みシール



速度制限シール



1. 修理が完了したタイヤに、応急用パンク修理剤注入済みシールを貼る。
▶ タイヤのホイールの平らな部分に貼ってください。
2. 速度制限シールを、運転者のよく見える位置に貼る。

※ シールの貼り付け

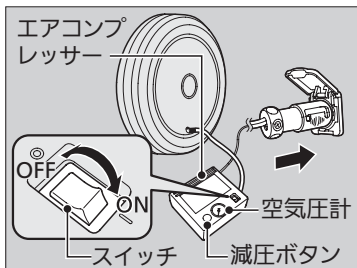
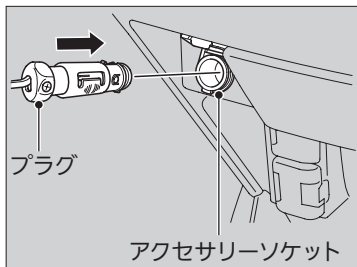
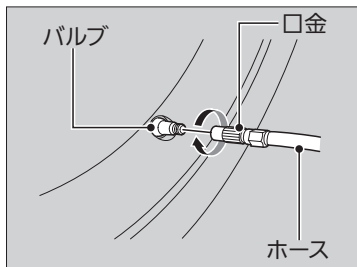
注意

ハンドルのパッドにシールを貼らない。
SRS エアバッグが正常に機能しなくなります。

警告灯やスピードメーターが見えない位置に貼らない。
安全運転の妨げとなります。

万一の場合には

■エアの注入



1. エアコンプレッサーを準備する。
2. バルブにエアコンプレッサーのホースを確実に取り付ける。

3. エアコンプレッサーの電源コードのプラグを、アクセサリースocketに差し込む。
4. エンジンスイッチを **I** にする。

5. エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、指定の空気圧まで高める。

■指定空気圧 P.214、215

- ▶ エアコンプレッサーに付属の空気圧計で、空気圧を点検、調整します。
- ▶ 空気を入れすぎたときは、減圧ボタンを押して空気を抜きます。

6. エアコンプレッサーの電源を OFF にする。

■エアの注入

タイヤの空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーの電源をOFFにしてください。

10分以内に指定空気圧にならないときは、応急修理剤による応急修理はできません。Honda販売店やロードサービスに連絡してください。

知識

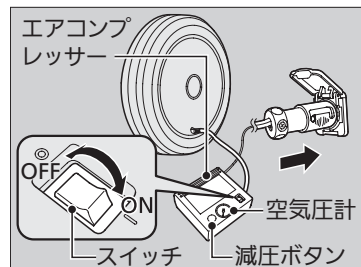
備え付けのコンプレッサーは、乗用車タイプの空気充填用です。お取り扱いの際には、以下の点にご注意ください。

- エアコンプレッサーの電源は自動車用12V専用です。他の電源は使用しないでください。
- 使用中、エアコンプレッサーの表面が熱くなります。15分以上は連続して使用しないでください。また、再使用する場合は、エアコンプレッサーが冷えてからお使いください。

■点検走行

応急修理剤および空気の注入後も、しばらくの間はパンク穴から空気が漏れています。法定速度を守って注意深く運転しながら空気圧を点検し、応急修理を完了させます。

なお、応急修理は特殊な薬剤でタイヤの内側から損傷を一時的に補修したものです。応急修理完了後も慎重に運転し、できるだけ早く Honda 販売店または専門修理工場で、タイヤの修理、交換を行ってください。



1. 点検走行を開始する。
▶ 法定速度を守ってください。高速道路では 80km/h 以下を厳守してください。
2. 10 分または 5km 走行したあと安全な場所に車を停める。
3. エアコンプレッサーに付属の空気圧計で空気圧を点検する。
4. 空気圧が低下していたら、エアコンプレッサーを使って指定の空気圧まで高める。
5. さらに 10 分または 5km 走行して、同様の点検を繰り返す。
▶ 空気圧の低下が見られなければ、応急修理は完了です。
▶ このときにタイヤの空気圧が指定空気圧より低下していた場合は、運転を中止して Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

※点検走行

走行前に、エアコンプレッサー、空ボトルなどの積み忘れがないか、しっかりと確認してください。

⚠注意

走行中異常を感じたら、ただちに運転を中止する。

応急修理剤での補修が不完全な場合、空気圧が低下して安定性を損なうおそれがあります。運転をやめ、Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

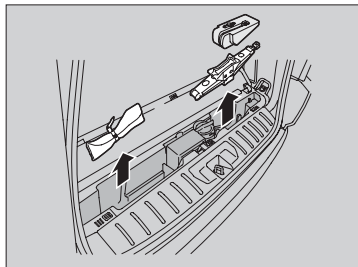
空気圧点検時は、最小空気圧に注意する。

空気圧が最小空気圧※より低くなっていたら、応急修理剤では修理できません。Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

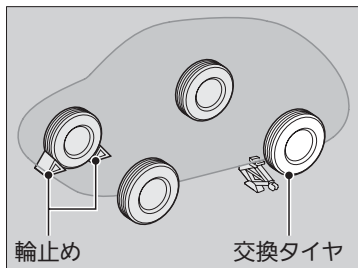
※最小空気圧 = 130kPa (1.3kgf/cm²)

ジャッキの取り扱い

ジャッキのかけかた



1. カーゴリッドを開けて、ジャッキ、ジャッキハンドルパー、ジャッキハンドルを取り出す。
2. パーキングブレーキをかける。



3. 交換するタイヤの対角線上にあるタイヤの前後に、石などで輪止めをする。
4. 交換するタイヤに最も近いジャッキポイントの下にジャッキを置く。

※ジャッキのかけかた

⚠ 警告

車がジャッキだけで支えられているときは、車の下に入らない。

車がジャッキから外れて、車の下にいる人が重大な傷害を負うおそれがあります。

⚠ 注意

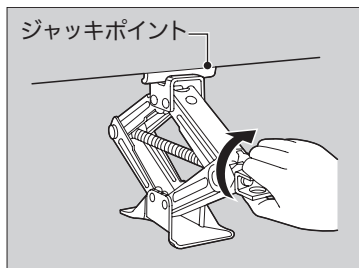
ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守る。

- エンジンをつけたままにしない
- 地面が固い平らなところ以外では使用しない
- ジャッキポイント以外にかけない
- 人や荷物を乗せたままにしない
- ジャッキ使用中に車内に入らない
- ジャッキの上や下にもものを入れたりしない

知識

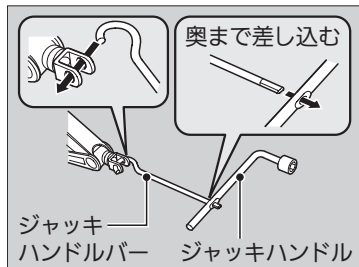
この車に搭載されているジャッキをお使いください。

他のジャッキでは支えられる重量（呼荷重）が不足したり、形状が合わないことがあります。



5. ジャッキの上部がジャッキポイントに接触するまで図の部分を実印の方向に回す。

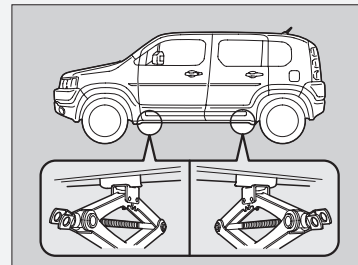
▶ ジャッキの溝にジャッキポイントがはまったことを確認します。



6. ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤが地面から離れるまで車体を上げる。

■ ジャッキのかけかた

ジャッキをかける位置は、下記の通りです。



エンジンが始動しない

エンジンの状態の確認

エンジンが始動しない場合、エンジンスイッチを[III]にして、スターターの状態を確認してください。

ⓘ エンジンの状態の確認

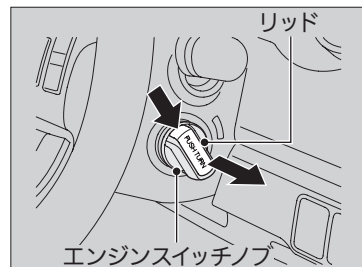
すぐに車を動かす必要がある場合は、ブースターバッテリーを利用してジャンプスタートさせます。

❏ ジャンプスタートの方法 P.198

スターターの状態	確認項目
スターターが全く回らない！ スターターの回転が非常に遅い！	室内灯などの明るさを確認する 室内灯などを点灯し、明るさを確認します。 - 室内灯などが非常に暗い、または全く点灯しない場合 - 室内灯などの明るさに問題がない場合 ⓘ ヒューズの点検と交換 P.208
バッテリーがあがっていることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	
スターターは正常に回るが…	エンジン始動の手順を実行する もう一度、正しいエンジン始動操作をしてみてください。 ⓘ エンジンの始動 P.132
ヒューズに問題があることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	イモビライザーシステム表示灯を確認する イモビライザーシステム表示灯が点滅しているときは、エンジンの始動ができません。 ❏ イモビライザーシステム P.77
	燃料の量を点検する 燃料が入っているか確認してください。 ⓘ 燃料計 P.59
	ヒューズを点検する 全てのヒューズを確認してください。ヒューズに問題がない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。 ⓘ ヒューズの点検と交換 P.208

内蔵キーの差し込みかた

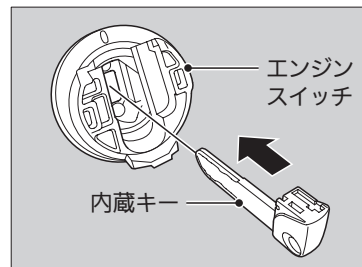
Honda スマートキーによるエンジンスイッチの操作や始動ができない場合、内蔵キーを使ってください。



1. エンジンスイッチノブのリッドを外す。
▶ リッド上端を押しながらリッドを外します。



2. エンジンスイッチノブを外す。
▶ 内側のツメを、内蔵キーの先端で押して外します。



3. エンジンスイッチに内蔵キーを差し込む。

ジャンプスタートの方法

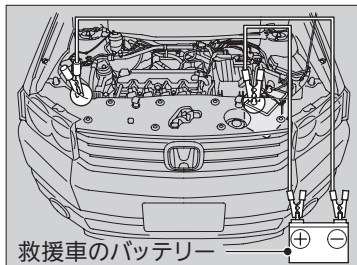
ジャンプスタートとは、他の車のバッテリーなどとブースターケーブルでつなぐことで電気を一時的に供給しエンジンをスタートさせる方法です。

処置のしかた

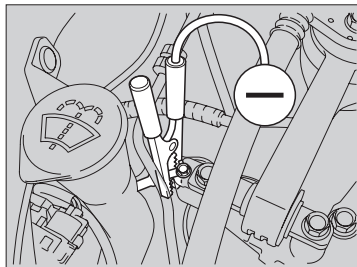
まず、ボンネットを開け、バッテリーの状態を確認します。バッテリー液が凍っている場合はバッテリー液が溶けるまでジャンプスタートはできません。

次に、オーディオやライトなどの電源を OFF にしてください。

ブースターケーブルのクリップは、エンジンの振動などで外れないように確実に固定してください。また、ケーブルの巻き込みに注意してください。



救援車のバッテリー



1. ブースターケーブルを、自車のバッテリーの ⊕ 端子に接続する。
2. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの ⊕ 端子に接続する。
▶ 救援車には、12V のバッテリーを装着している車を使用してください。
3. もう 1 本のブースターケーブルを、救援車のバッテリーの ⊖ 端子に接続する。
4. ケーブルの反対側を、自車のエンジンのアース端子に接続する。
5. 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにする。
6. 自車のエンジンをかける。

ジャンプスタートの方法

警告

ジャンプスタートは、正しい手順で慎重に行う。

ジャンプスタートの操作を間違えると、バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

タバコの火、火花、炎をバッテリーから遠ざけ、正しい手順で行ってください。

寒冷時は、バッテリーの性能が低下します。

エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

アドバイス

金属どうしがきちんと接続されているか確認してください。ケーブルをエンジンのアース以外の端子に接続しないでください。

バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。

気温が極端に低い場所にバッテリーを長時間にわたって置くと、内部のバッテリー液が凍結するおそれがあります。バッテリー液が凍結したバッテリーでジャンプスタートすると、バッテリーが壊れることがあります。

■ エンジン始動後の作業

自車のエンジンが始動したら、下記の手順でブースターケーブルを取り外します。

1. 自車のエンジンのアース端子からケーブルを外す。
2. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊖端子から外す。
3. 自車のバッテリーの⊕端子からケーブルを外す。
4. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊕端子から外す。

Honda 販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

※ エンジン始動後の作業

ブースターケーブルの端子どうしが接触しないよう注意してください。



警告

バッテリーを扱うときは、火気を近づけない。

バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると、バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。

バッテリーを扱うときは、保護衣・保護面を着用するか、Honda 販売店でバッテリーのメンテナンスを受けてください。

バッテリー液の取り扱いに注意する。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。

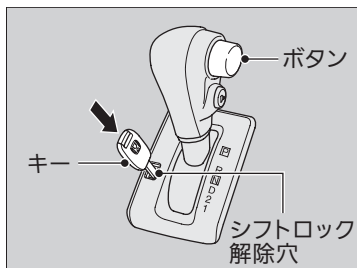
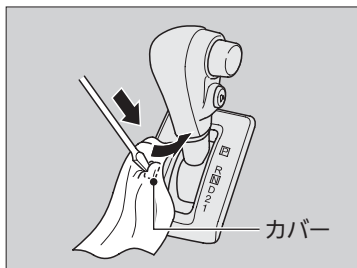
- 万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも5分間以上洗浄する
- 飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲む

応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

セレクトレバーが動かない

セレクトレバーが、**P**の位置でロックされて動かなくなったら、下記の方法で解除してください。

■ ロックを解除する



1. パーキングブレーキをかける。
2. エンジンスイッチからキーを抜く。
▶ Honda スマートキー装備車はエンジンスイッチを**0** (プッシュオフ)にします。
3. 細いマイナスドライバーの先端に布を巻き、シフトロック解除穴のカバーを外す。
▶ マイナスドライバーの先端を、図のように切り欠きに入れて外します。
4. シフトロック解除穴にキーを差し込む。
▶ Honda スマートキー装備車は内蔵キーを差し込みます。
5. キーを押しながらセレクトレバーのボタンを押し、セレクトレバーを**N**に入れる。
▶ ロックが解除されました。Honda 販売店で、早めに点検を受けてください。

オーバーヒートしたときの対処方法

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 高水温警告灯が点灯したり、エンジンの力が急に落ちる
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

■最初にすること

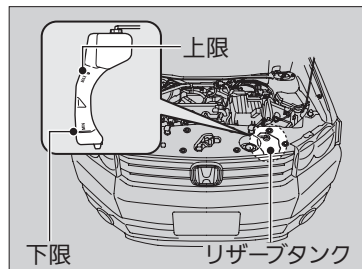
1. ただちに車を安全な場所に停める。

- ▶ セレクトレバーを[P]に入れ、パーキングブレーキをかけます。すべてのアクセサリーの電源を切り、非常点滅表示灯を点滅させます。

2. 蒸気が出ていない場合：エンジンをかけたままボンネットを開ける。

蒸気が出ている場合：エンジンを止め、蒸気が出なくなってからボンネットを開ける。

■次にすること



1. 冷却ファンの作動を確認し、高水温警告灯が消灯してからエンジンを止める。
 - ▶ 冷却ファンが作動していない場合は、すぐにエンジンを止めます。
2. エンジンが冷えてから冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検する。
 - ▶ 冷却水量が不足していたら、ラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

■最後にすること

- 十分にエンジンが冷えたら、エンジンを始動し高水温警告灯を確認する。警告灯が消灯している場合は、運転を再開します。点灯しているときは、Honda 販売店に修理を依頼します。

※ オーバーヒートしたときの対処方法



警告

オーバーヒートしたエンジンは、冷えるまでボンネットを開けない。

ラジエーターから噴き出る蒸気や熱湯に触れると、重大な傷害を受けるおそれがあります。

エンジンが熱いうちにラジエーターキャップを外さない。

冷却水が噴き出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずラジエーターが十分に冷えてからキャップを外してください。

アドバイス

高水温警告灯が点灯した状態で運転すると、エンジンを著しく損傷するおそれがあります。

冷却水がもれている場合は、Honda販売店に修理を依頼してください。

油圧警告灯が点灯した



■点灯の理由

エンジン内部を潤滑しているオイルの油圧が低下すると点灯します。

■点灯したらすぐすること

1. ただちに車を安全な場所に停車する。
2. 非常点滅表示灯を点滅させる。

■車を停車してからすること

1. エンジンを止め、1 分間ほど放置する。
2. ボンネットを開け、エンジンオイルの量を確認する。
 - ▶ 必要に応じて、エンジンオイルを補給してください。
3. エンジンを始動し、油圧警告灯を確認する。
 - ▶ **消灯した**：運転を再開してください。
 - ▶ **10 秒以内に消灯しない**：エンジンを止めて、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

充電警告灯が点灯した



■点灯の理由

バッテリーが充電されていないと点灯します。

■点灯したらすること

電気の消費を減らすため、エアコン、リヤデフロスターなどを OFF にして、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

※油圧警告灯が点灯した

アドバイス

油圧が低い状態でエンジンを回転させると、エンジンが破損するおそれがあります。

※充電警告灯が点灯した

アドバイス

一時的に停車する場合は、エンジンを止めないでください。エンジンを始動すると、バッテリーが急速に放電します。

PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した



■点灯 / 点滅の理由

エンジンの排気ガス制御システムが異常のとき点灯します。エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

■点灯したときは

高速走行を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

■点滅したときは

枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを止めて冷えるまでお待ちください。

ブレーキ警告灯が点灯した



■点灯の理由

- ブレーキ液が減っているときに点灯します。
- ブレーキ配分機能が異常のときに点灯します。

■走行中に点灯したらすること

- ブレーキペダルを軽く踏んで、ペダルの圧力を確認する。
- ブレーキ液量を確認する。

※PGM-FI警告灯が点灯/点滅した

アドバイス

PGM-FI警告灯が点灯したまま運転すると、排気ガス制御システムとエンジンを損傷する場合があります。

エンジン再始動後、警告灯が消灯しないときや再び点滅するときは、50km/h以下の速度で最寄りのHonda販売店まで走行し点検を受けてください。

※ブレーキ警告灯が点灯した

ただちに、Honda販売店に修理を依頼してください。

ブレーキ液が減っている状態で運転することは危険です。

ブレーキペダルに抵抗がない場合は、ただちに安全な場所に車を停めてください。必要に応じて、ギヤを落とします。

ABS警告灯と同時に点灯した場合は、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けてください。ただちに、Honda販売店に修理を依頼してください。

EPS 警告灯が点灯した



■点灯の理由

- EPS が異常のときに点灯します。
- 停車中にエンジンの空ぶかしを行うと点灯し、ハンドルが重くなる場合があります。

■点灯したらすること

- 安全な場所に停車し、エンジンを再始動する。

その後も走行中に点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

※EPS警告灯が点灯した

アドバイス

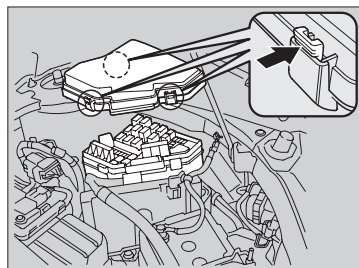
停車中や極低速のときハンドル操作を繰り返すなどしてシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。システムの温度が下がると復帰しますが、システム保護がはたらくような使いかたを断続的に繰り返すと、システム破損の原因となります。

ヒューズの設置場所

電気装置が作動しない場合、エンジンスイッチを $\boxed{0}$ にして、ヒューズが切れていないか確認します。ヒューズは、2つのヒューズボックスに入っています。

■ ボンネット内のヒューズボックス

ボンネット内の助手席側に付いているエアクリーナーボックスの隣にあります。タブを押して開けてください。



■ 各ヒューズの装備と容量

表示	装備	容量
1	バッテリー	100A
	EPS	70A
2	オプション (メイン)	80A
	イグニッション	50A
3	ABS モーター	30A
	ABS ソレノイド	30A
4	ヘッドライト (メイン)	50A
	パワーウィンドー (メイン)	50A

表示	装備	容量
5 —	—	—
6	ファンモーター (サブ)	20A
7	ファンモーター (メイン)	20A
8	リヤデフロスター	20A
9	ヒーターモーター	40A
10	非常点滅表示灯	10A
11	LAF センサー	15A
12	ホーン / 制動灯	15A
13 —	—	—
14 —	—	—
15	コンデンサーファン モーター	7.5A
16	運転席 E-プリテンショナー	30A ※1
17	助手席 E-プリテンショナー	30A ※1
18	イグニッションコイル	15A
19	PGM-FI メイン	15A
20	MG クラッチ	7.5A

※ ヒューズの設置場所

ヒューズボックスのフタに、ヒューズの場所が表示してあります。

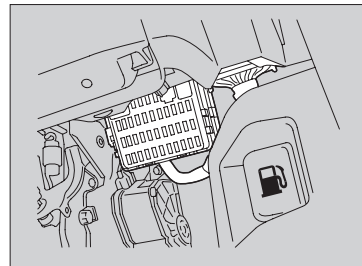
ヒューズ番号とフタの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

表示	装備	容量
21	ドライブバイワイヤ	15A
22	室内灯	7.5A
23	バックアップ	10A

※1 : IHCC装備車

■ 室内のヒューズボックス

アクセルペダルの上にあります。



■ 各ヒューズの装備と容量

表示	装備	容量
1	パワーウィンドー	7.5A
2	フューエルポンプ	15A
3	発電機	10A
4	ABS ユニット	7.5A
5	フロントデフロスター	15A
6	フォグライト	20A ※1
7 —	—	—
8	リヤワイパー	7.5A ※2
9	乗員姿勢検知システム	7.5A ※3
10	メーター	7.5A
11	SRS エアバッグシステム	10A

■ ヒューズの設置場所

ヒューズボックスの下に、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

表示	装備	容量
12	右側ヘッドライト ハイビーム	10A
13	左側ヘッドライト ハイビーム	10A
14	スモールライト (室内)	7.5A
15	スモールライト (車幅灯 / 尾灯)	7.5A
16	右側ヘッドライト ロービーム	15A
17	左側ヘッドライト ロービーム	15A
18	ヘッドライトハイビーム (メイン)	20A
19	スモールライトメイン	15A
20 —	—	—
21	ヘッドライトロービーム (メイン)	30A
22 —	—	—

表示	装備	容量
23 —	—	—
24	サンルーフ	20A ※4
25	ドアロック	20A
26	運転席 パワーウィンドー	20A
27 —	—	—
28	シートヒーター	15A ※5

※1 : フォグライト装備車

※2 : リヤワイパー装備車

※3 : サイドエアバッグ装備車

※4 : サンルーフ装備車

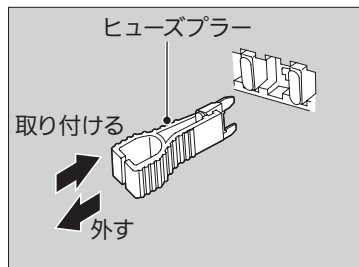
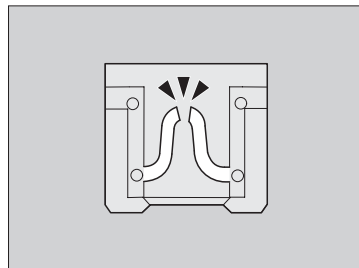
※5 : シートヒーター装備車

■各ヒューズの装備と容量

表示	装備	容量
29 	アクセサリソケット	20A
30 	助手席 パワーウィンドー	20A
31 —	—	—
32 	後席右側 パワーウィンドー	20A
33 	後席左側 パワーウィンドー	20A
34 —	—	—
35 	オーディオ	7.5A ※6
36 	エアコン	10A
37 —	—	—
38 	ワイパー	30A

※6 : Hondaインターナビ装備車

ヒューズの点検と交換



1. エンジンスイッチを **0** にし、ヘッドライトとすべてのアクセサリを OFF にする。
2. ヒューズボックスのフタを取り外す。
3. エンジンルーム内と、室内の小さいヒューズを点検する。
 - ▶ 切れているヒューズがあったら、ヒューズプラーで引き抜き、新しいものと交換してください。

ヒューズの点検と交換

ヒューズは同じ規定容量のヒューズと交換してください。

規定容量はP.205～P.207の一覧で確認してください。

アドバイス

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。同じ規定容量のヒューズがない場合は、規定容量の小さいヒューズに交換してください。

交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda販売店で点検を受けてください。

エンジンルーム内のヒューズボックスには、フタの裏にヒューズプラーがついています。

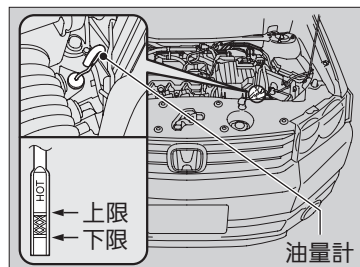
ヒューズプラーは、切れている小さいヒューズを引き抜くときに使います。

非常時のけん引

けん引は専門業者に依頼して 2WD 車は四輪または前輪、4WD 車は四輪を持ち上げて行ってください。

■ やむをえずけん引される場合

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合、次の方法で行ってください。



1. トランスミッションフルードの量が、油量計の目盛りの上限と下限の間にあることを確認する。
 - ▶ 下限より下がっている場合は、四輪または前輪を接地させてのけん引は行わないでください。

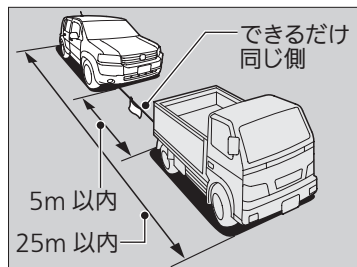
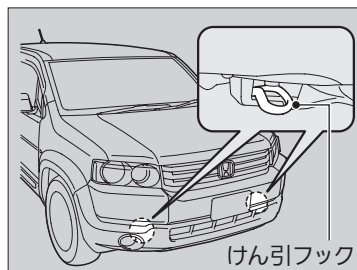
※ 非常時のけん引

アドバイス

車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、2WD車は四輪または前輪、4WD車は四輪を持ち上げてけん引してください。

ロープやチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体に当たる部分に布を巻いてください。そのままけん引されると、車体に傷が付くことがあります。

バンパーで車を持ち上げたり、けん引すると、バンパーがいちじるしく損傷します。バンパーは車の重量を支えるようにはできていません。



2. ロープをけん引フックにかける。

3. ロープ中央部に白い布 (0.3m 平方以上) を付ける。

4. エンジンをかけてセレクトレバーを **D** にし、約 5 秒間エンジンをまわす。

▶ エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを **I** または **II** にします。

5. セレクトレバーを **N** にする。

6. パーキングブレーキを解除する。

7. 速度 30km/h 以下、走行距離 80km 以内にけん引する。

▶ けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

※非常時のけん引

エンジンが停止している状態でのけん引は、以下のことに注意してください。

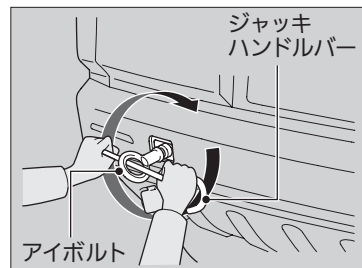
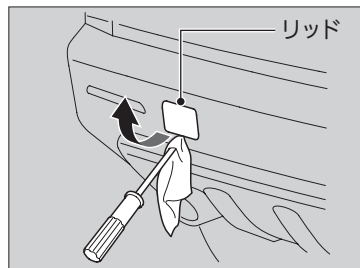
- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

知識

長い下り坂では、ブレーキの温度が上がりブレーキが効かなくなるおそれがありますので、レッカー車にけん引してもらってください。

■ やむをえず他車をけん引する場合

やむをえず他車のけん引を行う場合、次の方法で行ってください。



1. カーゴリッドを開け、ジャッキハンドルバー、マイナスドライバー、アイボルトを取り出す。
2. マイナスドライバーの先でリッドを開ける。
▶ バンパーが傷付かないよう、マイナスドライバーの先に布などを巻き付けてください。
3. アイボルトがガタつかない程度まで手で締め付けてから、ジャッキハンドルバーで確実に締め付ける。

※ やむをえず他車をけん引する場合

アイボルト以外のところにロープをかけないでください。

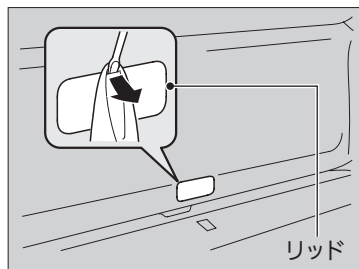
車体が破損、変形する場合があります。

自車より重い車のけん引は避けてください。

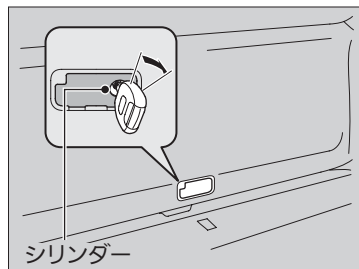
テールゲートが開かないとき

開かないときの対処方法

万一、テールゲートを開けることができなくなったときは、応急処置として次の方法で開けてください。



1. テールゲートのリッドに、マイナスドライバーの先端を差し込み、外す。
▶ カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. シリンダーにキーなどを差し込み、右方向に回してテールゲートを解錠する。

開かないときの対処方法

アドバイス

応急処置後は、Honda販売店で点検を受けてください。

⚠ 注意

テールゲートを内側から開けるときは、周囲の安全と車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認する。

人やものにぶつかり思わぬけがをするおそれがあります。

資料

この章には、仕様に関する情報が記載されています。

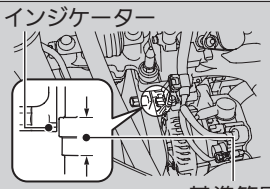
仕様：18L/18X.....	214
仕様：20X/20Xi.....	215

仕様：18L/18X

■仕様

名称	クロスロード
排気量	1,799 cm ³
車体形状	4ドアステーションワゴン
乗車定員	7名

■調整

ベルトの たわみ量		
点火プラグ	NGK	ZFR6K11S
	DENSO	KJ20DR-M11S
電極のすき間	基準値	1.0-1.1mm

■確認

ブレーキペダル	遊び	1-5mm
	床板とのすき間	101mm以上※1 100mm以上※2 (約196N (20kgf) の力)
	カーペットとの すき間(参考値)	89mm以上※1 88mm以上※2 (約196N (20kgf) の力)
パーキング ブレーキ	踏みしろ	7~8ノッチ (約1294N (30kgf) の力)

■燃料

燃料種類	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	55ℓ※3 50ℓ※4

※1：215/65R16 98S タイヤ装備車
 ※2：215/60R17 96H タイヤ装備車
 ※3：2WD車
 ※4：4WD車

■バッテリー

容量/タイプ	32AH(5)/44B19L※3,※5 36AH(5)/46B24L※3,※6 36AH(5)/55B24L※4,※7
--------	---

※5：Hondaインターナビシステム非装備車
 ※6：Hondaインターナビシステム装備車
 ※7：フロントガラス熱線装備車

■ウォッシャー液

タンク容量	2.5ℓ
-------	------

■電球

ヘッドライト(ロービーム)	12V-35W※8
	12V-55W※9
ヘッドライト(ハイビーム)	12V-60W
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯	12V-21W
車幅灯	12V-5W
側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯	12V-5W
制動灯/尾灯	12V-21/5W
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯	12V-21W
後退灯	12V-21W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
フロントシート室内灯/ マップランプ	12V-8W※10
マップランプ	12V-8W※11
セカンドシート室内灯	12V-8W※11
サードシート室内灯	12V-8W

※8：ディスチャージヘッドライト
 ※9：ハロゲンバルブ
 ※10：サンルーフ装備車
 ※11：サンルーフ非装備車

■デファレンシャルオイル 4WD車のみ

指定液	Honda純正ウルトラDPSF-II
規定量	1.2ℓ(交換時)

■エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式
-----	----

■ブレーキフルード

フルード	Honda純正ウルトラブレーキフルード DOT3/DOT4
------	----------------------------------

■トランスミッションフルード

フルード	Honda純正 ウルトラATF-Z1	2.4ℓ(交換時)※3 2.5ℓ(交換時)※4
------	-----------------------	----------------------------

■推奨エンジンオイル

Honda純正 エンジンオイル	ウルトラLEO SM	API SM/GF4級 SAE 0W-20
	ウルトラLTD SM	API SM/GF4級 SAE 5W-30
	ウルトラGOLD SM	API SM級 SAE 5W-40
	ウルトラMILD SM	API SM/GF4級 SAE 10W-30
規定量	オイル交換時	3.5ℓ
	オイル、オイルフィ ルター同時交換時	3.7ℓ

■冷却水

指定液	Honda純正ウルトラクーラント
規定濃度	50%
規定量	5.2ℓ(交換時：リザーブタンク0.6ℓ含む)

■タイヤ

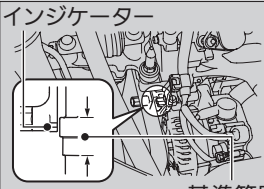
サイズ	215/65R16 98S※1 215/60R17 96H※2
空気圧 (kPa[kgf/cm ²])	210[2.1]
リムサイズ	スチールホイール 16×6 1/2J※1 アルミホイール 17×6 1/2J※2

仕様: 20X/20Xi

■仕様

名称	クロスロード
排気量	1,997 cm ³
車体形状	4ドアステーションワゴン
乗車定員	7名

■調整

ベルトの たわみ量	インジケーター	
		
	基準範囲	
点火プラグ	NGK	ZFR6K11S
	DENSO	KJ20DR-M11S
電極のすき間	基準値	1.0-1.1mm

■確認

ブレーキペダル	遊び	1-5mm
	床板とのすき間	100mm以上 {約196N (20kgf) の力}
	カーペットとの すき間 (参考値)	88mm以上 {約196N (20kgf) の力}
パーキング ブレーキ	踏みしろ	7~8ノッチ {約294N (30kgf) の力}

■燃料

燃料種類	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	55ℓ ^{※1}
	50ℓ ^{※2}

※1: 2WD車
※2: 4WD車

■バッテリー

容量/タイプ	36AH(5)/46B24L
--------	----------------

■ウォッシャー液

タンク容量	2.5ℓ
-------	------

■電球

ヘッドライト(ロービーム)	12V-35W ^{※3}
	12V-55W ^{※4}
ヘッドライト(ハイビーム)	12V-60W
フォグライト	12V-55W ^{※4}
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯	12V-21W
車幅灯	12V-5W
側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯	LED ^{※5}
	12V-5W ^{※6}
制動灯/尾灯	12V-21/5W
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯	12V-21W
後退灯	12V-21W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
フロントシート室内灯/ マップランプ	12V-8W ^{※7}
マップランプ	12V-8W ^{※8}
セカンドシート室内灯	12V-8W ^{※8}
サードシート室内灯	12V-8W

※3: ディスチャージヘッドライト
※4: ハロゲンバルブ
※5: ドアミラーウィンカー装備車
※6: ドアミラーウィンカー非装備車
※7: サンルーフ装備車
※8: サンルーフ非装備車

■デファレンシャルオイル 4WD車のみ

指定液	Honda純正ウルトラDPSF-II
規定量	1.2ℓ(交換時)

■エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式
-----	----

■ブレーキフルード

フルード	Honda純正ウルトラブレーキフルード DOT3/DOT4
------	----------------------------------

■トランスミッションフルード

フルード	Honda純正 ウルトラATF-Z1	2.6ℓ(交換時) ^{※1}
		2.5ℓ(交換時) ^{※2}

■推奨エンジンオイル

Honda純正 エンジンオイル	ウルトラLEO SM	API SM/GF4級 SAE 0W-20
	ウルトラLTD SM	API SM/GF4級 SAE 5W-30
	ウルトラGOLD SM	API SM級 SAE 5W-40
	ウルトラMILD SM	API SM/GF4級 SAE 10W-30
規定量	オイル交換時	3.5ℓ
	オイル、オイルフィ ルター同時交換時	3.7ℓ

■冷却水

指定液	Honda純正ウルトラクーラント
規定濃度	50%
規定量	5.2ℓ(交換時: リザーブタンク0.6ℓ含む)

■タイヤ

サイズ	215/60R17 96H
空気圧 (kPa[kgf/cm ²])	210[2.1]
リムサイズ	アルミホイール 17×6 1/2J

数字

4WD (四輪駆動機構) 140

A

ABS (アンチロックブレーキシステム) 143

ABS警告灯 53,143

A/C (エアコン) 115

AT (オートマチック

トランスミッション) 136

AVG (平均燃費表示) 62

AV入力端子 別冊

C

CMBS (追突軽減ブレーキ) 144

CMBS警告灯 55

D

D3スイッチ 137

E

EPS警告灯 54,204

H

Hondaインターナビシステム 別冊

Hondaスマートキー 65,67

Hondaスマートキーシステム警告灯 53

Hondaスマートキー電池消耗警告 86

Hondaスマートキー持ち取り警告 85

エンジンスイッチ 84

電池交換のしかた 180

I

IHCC (インテリジェントハイウェイクルーズ
コントロール) 警告灯 55

ISOFIX 43

M

MIST 89

P

PGM-FI警告灯 52,203

S

SRSエアバッグ 29

エアバッグシステム警告灯 54

V

VSA (ビークルスタビリティアシスト) 139

VSA OFFスイッチ 140

VSA警告灯 55

VSA作動表示灯 58,139

W

W (ワット) 数 214,215

ア

アイボルト 186,211

アクアクリンミラー 96

アクセサリ 153

アクセサリソケット 110

アッパーボード 114

安全に関する表示 17

安全のための確認事項 21

アンチロックブレーキシステム (ABS) 143

ABS警告灯 53,143

イ

一酸化炭素の危険性 50

イモビライザーシステム 77

イモビライザーシステム表示灯 57

イルミネーションコントロールノブ 92

インフォメーションディスプレイ 60

ウ

ウィンカースイッチ (方向指示器) 86

ウィンドーの開閉 79

ウィンドウォッシャー

ウィンドウォッシャースイッチ 89,90

ウィンドウォッシャー液の補給 159

ウェアインジケーター 175

運転

エンジンの始動 132

シフト操作 137

ブレーキ操作 141

エ

エアコン 115

エアクリンフィルター 116

エアコンの使いかた 118

窓の曇りや霜の取りかた 119

モード切り換えダイヤル 118

エアバッグ 29

SRSエアバッグ	29
エアバッグシステム警告灯/表示灯	36
エアバッグシステム故障診断記録装置	17
エアバッグのお手入れ	38
サイドエアバッグ	32
サイドエアバッグ自動停止システム	34
サイドカーテンエアバッグ	35
エンジンオイル	159
推奨エンジンオイル	159, 214, 215
油圧警告灯	52, 202
エンジンスイッチ	83, 84
エンジンスイッチ警告ブザー	85
エンジンの始動	132
エンジンが始動しない	196
ジャンプスタート	198
エンジン冷却水	214, 215

オ

追越合図(パッシング)	87
応急修理剤(タイヤパンク)	187
オーディオ装置	123
オーディオリモートコントロールスイッチ	124
オートライトコントロール警告灯	55
オーバーヒート	201
オドメーター	61
温度センサー	61

カ

カーゴフック	112
外気温表示	61
鍵(かぎ)	65

ガソリン	150, 214, 215
カップホルダー	109

キ

キー	
Hondaスマートキー	65
キーが 0 から 1 に回らない	15
キーが 1 から 0 に回らない	15
キー閉じ込み防止装置	71
キーナンバータグ	66
キーの種類と機能	65
キーレスエントリー	65, 68
キーレスエントリー一体キー	65
キーレスエントリーでドアが開かない	16
後席ドアが開かない	15
電池交換のしかた	179
内蔵キー	66, 197
キー閉じ込み防止装置	71
キーナンバータグ	66
キーレスエントリー	65, 68
電池交換のしかた	179
キックダウン	136
給油	150
給油のしかた	150
指定燃料	150, 214, 215
燃料計	59
燃料残量警告灯	53

ク

空気圧	174, 214, 215
グラブレード	5

クリーブ現象	136
車の改造	153
グローブボックス	108

ケ

計器	51
警告灯	52
ABS警告灯	53, 143
CMBS警告灯	55, 145
EPS警告灯	54, 204
Hondaスマートキーシステム警告灯	53
IHCC警告灯	55
PGM-FI警告灯	52, 203
VSA警告灯	55
エアバッグシステム警告灯	54
オートライトコントロール警告灯	55
高水温警告灯	54
シートベルト非着用警告灯	53
充電警告灯	52, 202
テールゲート開閉警告灯	54
ドア開閉警告灯	54
トランスミッション警告灯	53
燃料残量警告灯	53
ブレーキ警告灯	52, 203
油圧警告灯	52, 202
携帯電話接続端子	別冊
けん引	209

コ

コートフック 111

交換

後退灯電球 166
 後面方向指示器/
 後面非常点滅表示灯電球 166
 サードシート室内灯電球 170
 車幅灯電球 164
 制動灯/尾灯電球 166
 セカンドシート室内灯電球 170
 前面方向指示器/
 前面非常点滅表示灯電球 164
 側面方向指示器/
 側面非常点滅表示灯電球 165
 ハイマウントストップランプ電球 167
 番号灯電球 168
 フォグライト電球 162
 フロントシート室内灯/マップランプ電球 169
 ヘッドライト電球 160
 マップランプ電球 170
 ワイパーブレードラバー 171

工具 186

高水温警告灯 54

サ

サービス診断記録装置 17
 データの開示について 18
 サイドエアバッグ 32
 サイドエアバッグ自動停止表示灯 37,56
 サイドエアバッグ自動停止システム 34
 サイドカーテンエアバッグ 35

サンバイザー 5

シ

シートの調節 98
 アームレスト 105
 サードシート 102
 セカンドシート 100
 フロントシート 98
 ヘッドレスト 104
 シートヒーター 113
 シートベルト 22
 E-プリテンショナー 24
 シートベルトの着用 24
 シートベルトの点検 28
 シートベルト非着用警告灯 23
 シートベルトプリテンショナー 23
 シートベルトリマインダー 23
 妊娠中のかたのシートベルトの
 着用のしかた 27
 時刻の設定 64
 室内装備品 108
 室内灯 106
 シフト操作 137
 ジャッキ 186,194
 ジャッキハンドル
 (ホイールナットレンチ) 186,195
 ジャッキハンドルラバー 186,195
 車外の清掃 182
 車内の清掃 181
 車幅灯 164
 車両限定型ISOFIXチャイルドシート 43

ジャンプスタート 198

充電警告灯 52,202

仕様 214,215

助手席アッパーボックス 108

ショルダーアンカー 25

ス

スイッチ操作

イルミネーションコントロールノブ 92
 エンジンスイッチ 83,84
 フォグライトスイッチ 88
 フロントガラス熱線スイッチ 93
 方向指示器 (ウィンカースイッチ) 86
 ライトスイッチ 87
 リヤデフロスタースイッチ 93
 ワイパー/ウォッシャー 89

ステアリング 94

スノータイヤ 177

スパークプラグ 214,215

スピードメーター 59

セ

清掃 181

制動灯 166

セキュリティシステム 77

イモビライザーシステム 77

セキュリティアラームシステム 77

セレクトポジション 137

セレクトポジション表示灯 138

セレクトレバー

セレクトレバーが動かない 200

セレクトレバーの操作 138

ソ

側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯電球	165
-------------------------	-----

タ

タイヤ	174
ウェアインジケータ	175
指定空気圧	174,214,215
タイヤの点検	174
タイヤのローテーション	176
タイヤパンク応急修理キット	187
冬期のタイヤ	177
パンク	187
タイヤチェーン	177
タコメーター	59

チ

チェーン	177
チャイルドシート	39
ジュニアシート	49
乳児のチャイルドシート	40
幼児のチャイルドシート	41
チャイルドブルーフ	73
駐停車操作	148

ツ

追突軽減ブレーキ (CMBS)	144
CMBS警告灯	55,145

テ

テールゲートの開閉	9,75
-----------	------

テールゲート開閉警告灯	21,54
テールゲートが開かないとき	212
低水温表示灯	56
デフロスター	119
リヤデフロスタースイッチ	93
点火プラグ	214,215
電池交換	178

ト

ドアの施錠と解錠	65
Hondaスマートキー	65
キー閉じ込み防止装置	71
キーナンバータグ	66
キーの種類と機能	65
キーレスエントリー	68
キーレスエントリー一体キー	65
キーレスエントリーでドアが開かない	16
後席ドアが開かない	15
車外でのドアの施錠/解錠	68
車内での施錠/解錠	72
チャイルドブルーフ	73
ドア開閉警告灯	21,54
ドアミラー	95
プリズムアンダーミラー	97
冬期のタイヤ	177
スノータイヤ	177
タイヤチェーン	177
時計	64
トップテザーアンカレッジ	47
トップテザーストラップ	47
ドライバー	186

トラブルシューティング

運転席ドアを開けるとブザーが鳴る	16
エンジンが始動しない	196
オーバーヒートした	201
キーが 0 から 1 に回らない	15
キーが 1 から 0 に回らない	15
キーレスエントリーでドアが開かない	16
警告灯が点灯/点滅した	202
けん引してもらいたい	209
後席ドアが開かない	15
ジャンプスタートしたい	198
セレクトレバーが動かない	200
走行するとブザーが鳴る	16
ハイオクガソリンは使える?	16
パンクした	187
ヒューズが切れた	205
ブレーキを踏むと音がする	16
ブレーキを踏むと振動する	15
トランスミッションフルード	214,215
トランスミッション警告灯	53
トリップメーター	61

ナ

内蔵キー	66,197
------	--------

ネ

燃料	150,214,215
燃料計	59
燃料残量警告灯	53

ハ

パーキングブレーキ	141
排気ガスの危険性	50
ハイビーム	87
電球の交換	161
ハイビーム表示灯	7,56
ハイマウントストップランプ	167
ハザードスイッチ	表紙ウラ
発炎筒	186
パッシング	87
バッテリー	
ジャンプスタート	198
充電警告灯	52,202
容量	214,215
パニティミラー	5
パワーウィンドーの開閉	79
バンク	187
ハンドル	94
ハンドル位置調節レバー	94
ハンドルロック	83,84

ヒ

ヒータードアクミラー	96
非常点滅表示灯スイッチ	表紙ウラ
尾灯	166
ヒューズ	205
ヒューズの設置場所	205,206
ヒューズの点検と交換	208
表示灯	56
ECO表示灯	58
IHCC表示灯	58

D3 ON表示灯	57
VSA作動表示灯	58
イモビライザーシステム表示灯	57
サイドエアバッグ自動停止表示灯	56
セキュリティアラームシステム	
作動表示灯	57
セレクトポジション表示灯	138
低水温表示灯	56
ハイビーム表示灯	56
フォグライト点灯表示灯	56
方向指示器表示灯	56
ライト点灯表示灯	56
ヒルスタートアシスト	134

フ

ブースターケーブル	198
フォグライト	
電球の交換	162
フォグライトスイッチ	88
フォグライト点灯表示灯	56

ブザー

運転席ドアを開けるとブザーが鳴る	16
走行するとブザーが鳴る	16
フューエルリッドの開けかた	150
プリズムアンダーミラー	97
ブレーキシステム	141
ABS (アンチロックブレーキシステム)	143
CMBS (追突軽減ブレーキ)	144
パーキングブレーキ	141
フットブレーキ	142
ブレーキ警告灯	52,203

ブレーキを踏むと音がする	16
ブレーキを踏むと振動する	15
ブレーキ液	214,215
ブレーキ警告灯	52,203
フロントガラス熱線スイッチ	93
フロントシート	98
フロントシートアームレスト	105
フロントシートヘッドレスト	98,104

ヘ

平均燃費表示	62
ヘッドライト	87
追越合図 (パッシング)	87
電球の交換 (ハイビーム)	161
電球の交換 (ロービーム)	160
ハイビーム	87
ハイビーム表示灯	56
ヘッドライトレベリングダイヤル	91
ライト点灯表示灯	56
ロービーム	87

ヘッドレスト

フロントシート	98,104
セカンドシート	100,104
サードシート	102

ホ

ホーンスイッチ	表紙ウラ
ホイールサイズ	214,215
ホイールナットレンチ	
(ジャッキハンドル)	186,195

方向指示器 (ウィンカースイッチ)	86
方向指示器表示灯	56
ボンネット内のメンテナンス	157
ウィンドウォッシャー液の補給	159
推奨エンジンオイル	159, 214, 215
ボンネット内のメンテナンス項目	157
ボンネットを開ける	158
冷却水の点検と補給	201

マ

マイクロアンテナ	123
マスタードアロックスイッチ	72
マップランプ	107

ミ

ミラー	95
ドアミラー	95
バニティミラー	5
プリズムアンダーミラー	97
ルームミラー	95

メ

メーター	7, 59
インフォメーションディスプレイ	60
スピードメーター	59
タコメーター	59
燃料計	59
メンテナンス	154
キーレスエントリー一体キー/	
Hondaスマートキー	178
清掃	181

タイヤの点検と整備	174
ボンネット内のメンテナンス	157
メンテナンスに関する注意事項	156
メンテナンスを安全に行うために	156
ライト類の点検と整備	160
ワイパーブレードラバーの点検と整備	171

モ

モード切り換え (エアコン)	118
----------------	-----

ユ

油圧警告灯	52, 202
-------	---------

ヨ

四輪駆動機構 (4WD)	140
--------------	-----

ラ

ライトスイッチ	87
追越合図 (パッシング)	87
ハイビーム	87
ハイビーム表示灯	56
ライト点灯表示灯	56
ロービーム	87
ライト類の点検と整備	160
後退灯電球	166
後面方向指示器/	
後面非常点滅表示灯電球	166
サードシート室内灯電球	170
車幅灯電球	164
制動灯/尾灯電球	166
セカンドシート室内灯電球	170

前面方向指示器/	
前面非常点滅表示灯電球	164
側面方向指示器/	
側面非常点滅表示灯電球	165
ハイマウントストップランプ電球	167
番号灯電球	168
フォグライト電球	162
フロントシート室内灯/マップランプ電球	169
ヘッドライト電球	160
マップランプ電球	170
ラジエーター	201

リ

リザーブタンク	201
リヤカメラシステム	125
リヤデフロスタースイッチ	93

ル

ルームミラー	95
--------	----

レ

冷却水	201
オーバーヒート	201
補給	201

ロ

ロービーム	87
電球の交換	160
ロアアンカレッジ	46

ユ

ユーティリティボックス 111

ワ

ワイパー/ウォッシャー 89

ワイパーブレードラバー 171

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。

Honda ホームページ <http://www.honda.co.jp/>

(Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。

<http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/>

※：QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右の QR コードをご利用ください。

ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。



お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-^{イフレアイオ}112010

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日

② 車種名、タイプ名、走行距離 ③ ご購入年月日 ④ 販売店名



万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、Honda 販売店で点検整備を受けてください。

最新のHonda販売店情報は、携帯電話からも検索できます。
(検索方法は巻末をご覧ください)

Honda ホーム
ページにある
検索ボックス
に入力してく
ださい。

<http://www.honda.co.jp/manual/>

クルマ、およびインターナビシステム取扱説明書の最新情報
をお伝えしています。